

第2章 用途別実態把握

1. コスト情報とストック情報の把握

行政コストを削減しながら公共サービスのパフォーマンスを上げるためには、市の保有する公共施設を有効活用していくことが重要です。公共施設の現状を的確に把握して有効活用を図るためには、コスト情報とストック情報の両面から調査・分析を行う必要があります。

そこで、コスト情報の面では建物全体及びそこで行われている行政サービスの人件費や事業費、減価償却相当額も含め、全体でいくらかかっているかを把握します。ストック情報の面では、利用実態、運営実態を把握します。建物の老朽化状況等の物理的な状況は、「第3章 保全の実態把握」の章で詳細に把握します。

コスト情報、ストック情報の両面から公共施設及びそこで行われている行政サービスを把握することで、事務事業の問題点や課題を改めて浮き彫りにし、これらを基に公共施設の有効活用の方向性を明らかにしていくことで、香芝市公共施設マネジメント基本方針へとつなげていきます。

＜用途別実態把握一覧＞

(1) 市民文化系施設	1) 文化施設 2) 中央公民館
(2) 青少年センター	
(3) スポーツ・レクリエーション系施設	1) スポーツ施設 2) 野外活動センター
(4) 保健福祉施設	1) 保健センター 2) 総合福祉センター
(5) 子育て支援施設	1) 保育所・幼稚園 2) 学童保育所 3) 子育て支援センター
(6) 学校	
(7) 駐車場	
(8) 旧公民館(シルバー人材センター)	
(9) その他	

2. 公共施設の配置状況

香芝市
地域実態マップ【凡例】

赤枠は
築30年以上
(H26年度時点)

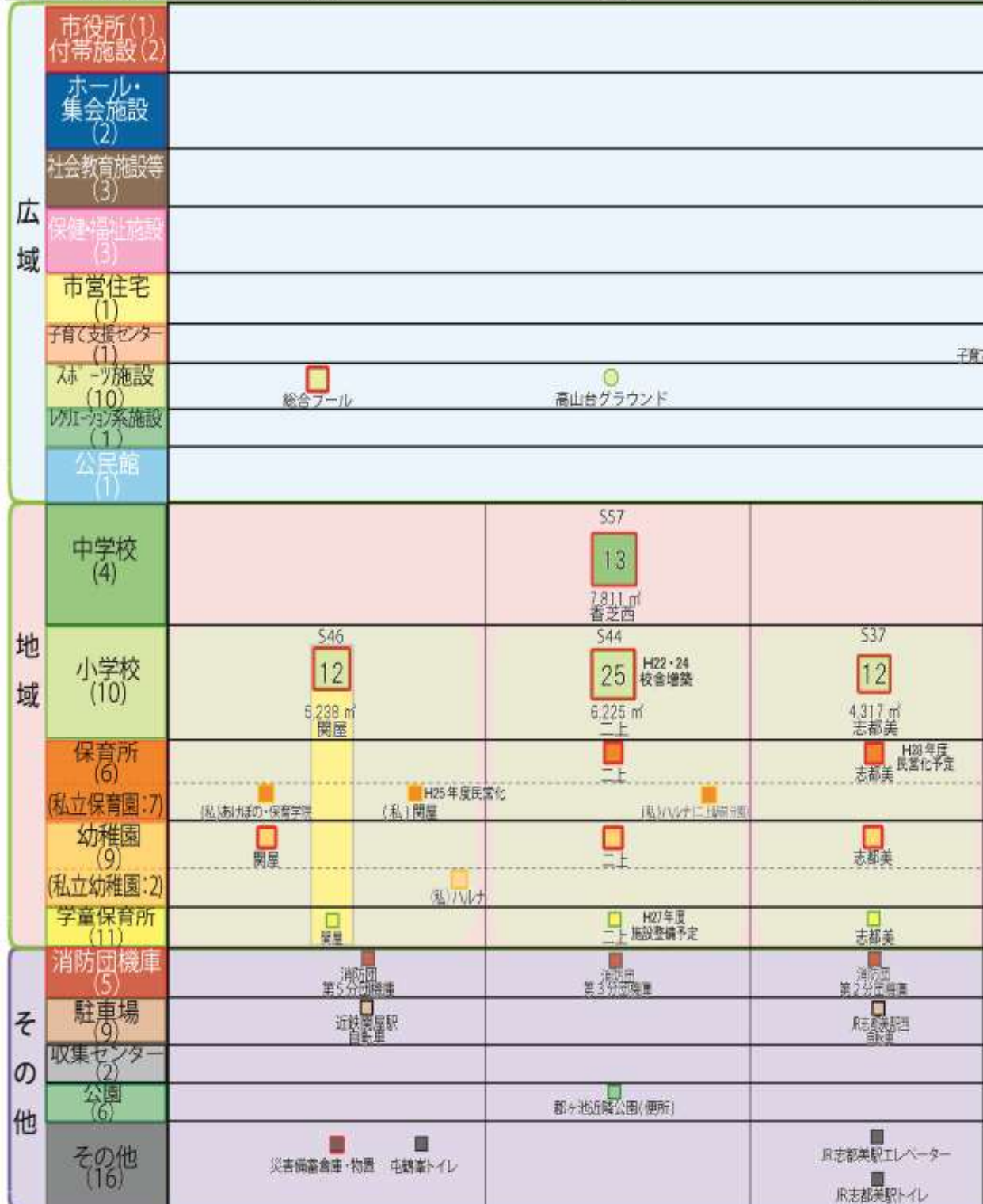
複合施設
を示す

<公民館等>ホール
部屋機能を
示す

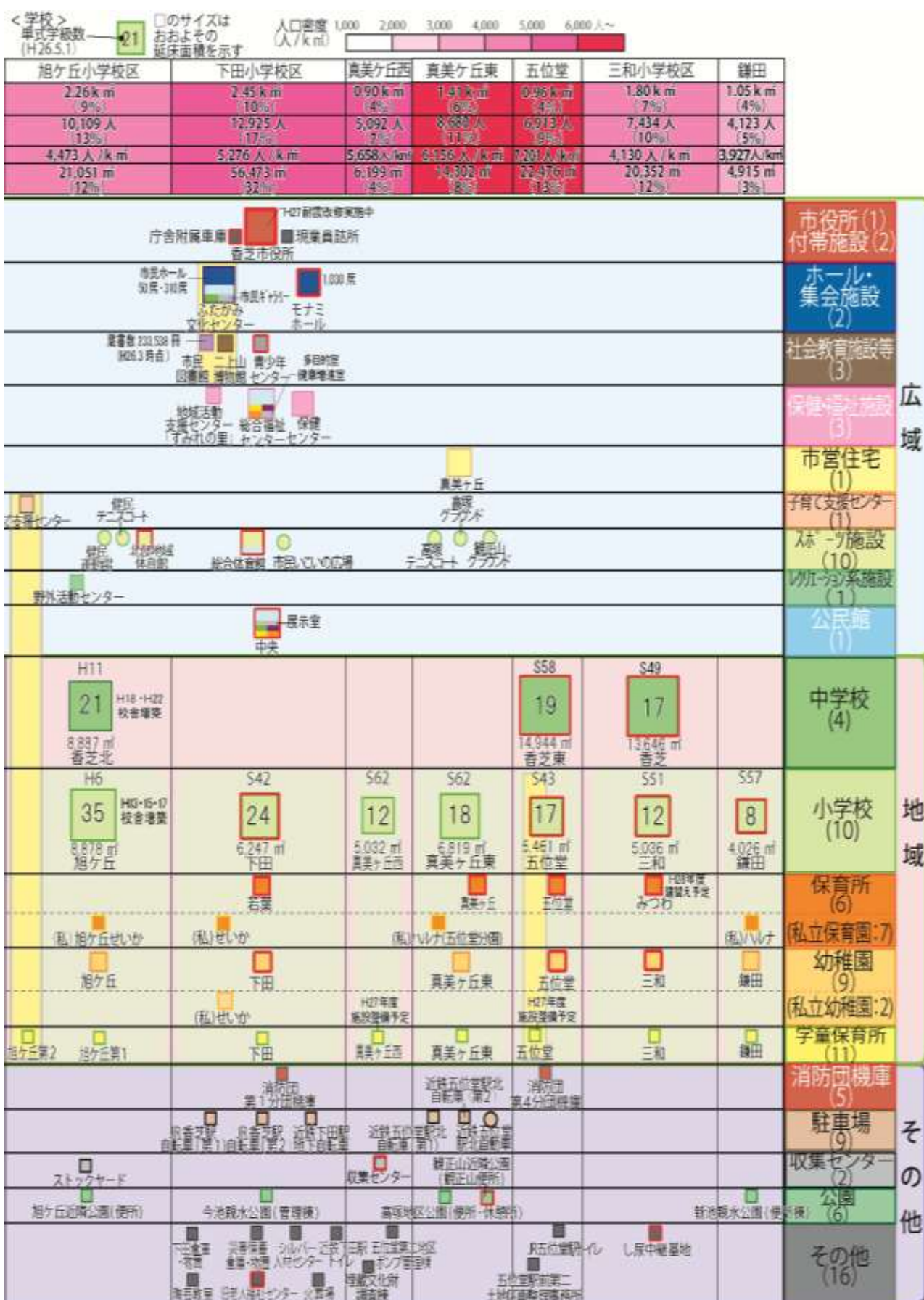
会議室
調理室

<スポーツ施設・駐車場>
建物のない施設
(グラウンド等)を示す

市全体		関屋小学校区	二上小学校区	志都美小学校区
24.23 k m ²	面積(%)	5.24 k m ² (22%)	4.37 k m ² (18%)	3.80 k m ² (16%)
77,667 人	人口 (H25.1時点)	7,498 人 (10%)	9,086 人 (12%)	5,807 人 (7%)
3,205 人/k m ²	人口密度	1,431 人/k m ²	2,079 人/k m ²	1,528 人/k m ²
175,751 m ²	施設延床面積 (平成26年度時点)	7,765 m ² (4%)	15,762 m ² (9%)	6,455 m ² (4%)



※公共建築物が対象（建物のない公園等は含まない。また、病院・水道の企業会計の施設、道路・橋梁等のインフラ施設などは除く）
 ※図表の数値は端数処理をしているため、100%または合計と一致しない場合がある。
 ※人口、面積等は小学校区別人口データの最新年度である H25.5.1 時点に記載している。なお、平成26年の面積から、計測方法の変更と



:計測の基礎となる地図の切り替えが行われた結果、市の面積は24.26k㎡に変更されている。

3. 用途別実態把握

(1) 市民文化系施設

1) 文化施設

①施設概要

市民の文化芸術活動及び生涯学習活動の促進に寄与するため、香芝市ではホール機能を持つ文化施設を2施設設置しています。2施設とも指定管理者が運営を行っています。

図表 施設一覧

小学校区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)	保有機能					複合施設	
						メインホール (席数)	サブホール	楽屋	会議室	和室		市民ギャラリー
下田	1 香芝市ふたかみ文化センター	藤山一丁目17番17号	8,502.3	平成3	RC	●(移動観覧席 310席)	●(50席)	●	●	●	●	・二上山博物館(1F) ・香芝市民図書館(3F)
下田	2 香芝市モナミホール	下田西三丁目7番18号	2,981.0	昭和54	RC	●(1,030席)		●				
合計			11,483.29									

※昭和 59：建築年度の赤字は築 30 年以上を示す

<開館時間等> (平成 24 年度)

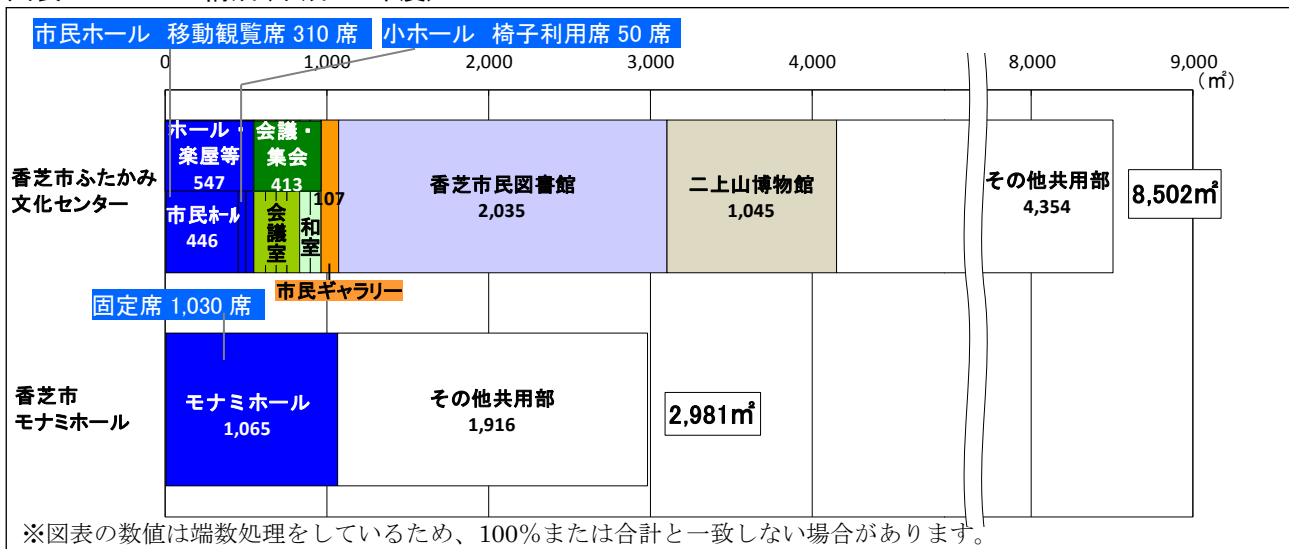
開館時間	休館日	開館日数
午前 9 時から午後 10 時 (窓口受付：午前 9 時から午後 8 時)	毎月第一月曜日	353 日

<スペース構成>

香芝市ふたかみ文化センターは延床面積 8,502 ㎡であり、そのうちホール面積が 547 ㎡ (移動観覧席 310 席、舞台、楽屋等) となっています。その他に会議・集会機能、市民ギャラリーを保有しており、香芝市民図書館や二上山博物館が併設されています。

香芝市モナミホールは延床面積 2,981 ㎡であり、ホールが 1,065 ㎡ (固定席 1,030 席) となっています。

図表 スペース構成 (平成 24 年度)



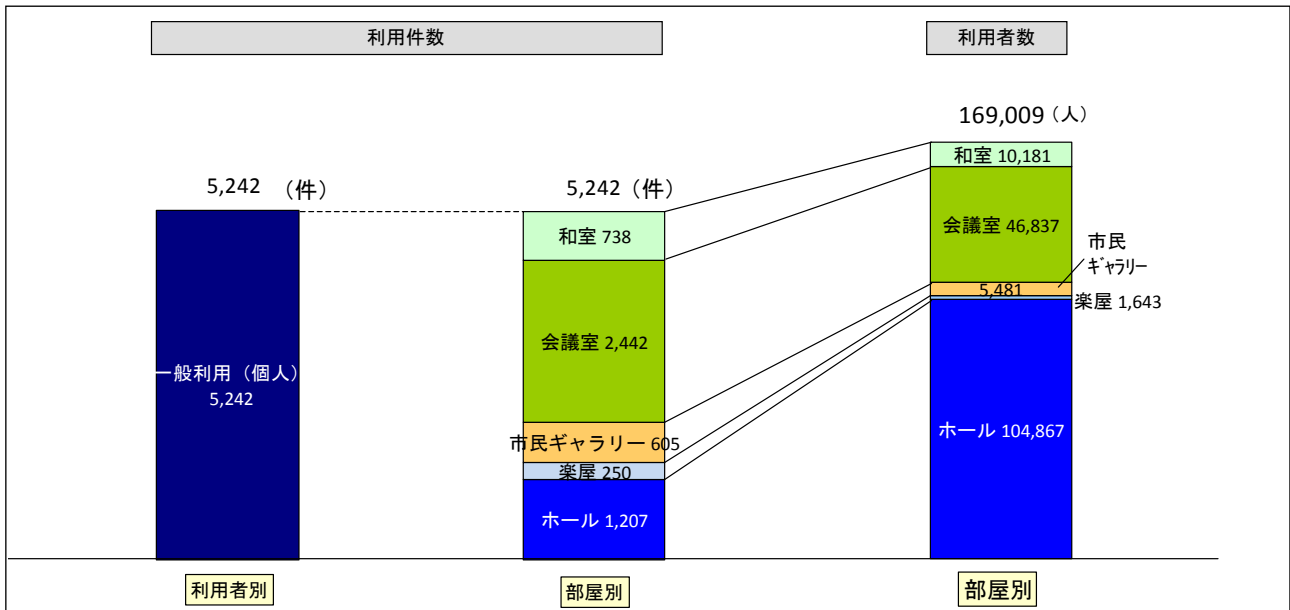
②利用状況

■ 年間利用件数・年間利用者数

年間利用件数は 5,242 件、利用者数は 16 万 9,009 人となっています。

利用目的は一般利用となっており、部屋別の利用者数の内訳をみると、ホールの利用が最も多く 10 万 4,867 人、次いで会議室の利用者が 4 万 6,837 人となっています。

図表 年間利用件数・年間利用者数（平成 24 年度）

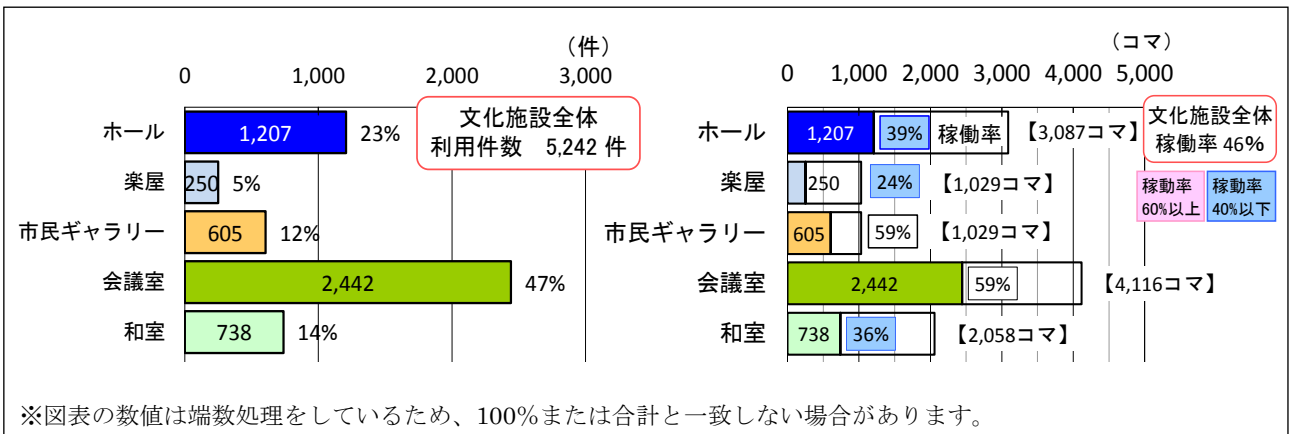


■ 部屋別の利用状況

文化施設全体の部屋別の利用件数をみると、会議室の利用が最も多く、2,442 件で全体の 47%、次いでホールの利用件数が 1,207 件で全体の 23%を占めています。

部屋別の稼働率をみると、会議室、市民ギャラリーの稼働率が最も高く 59%、次いでホールが 39%、和室が 36%となっています。全体の稼働率は 46%となっています。

図表 全体・部屋別利用件数及び稼働率（平成 24 年度）

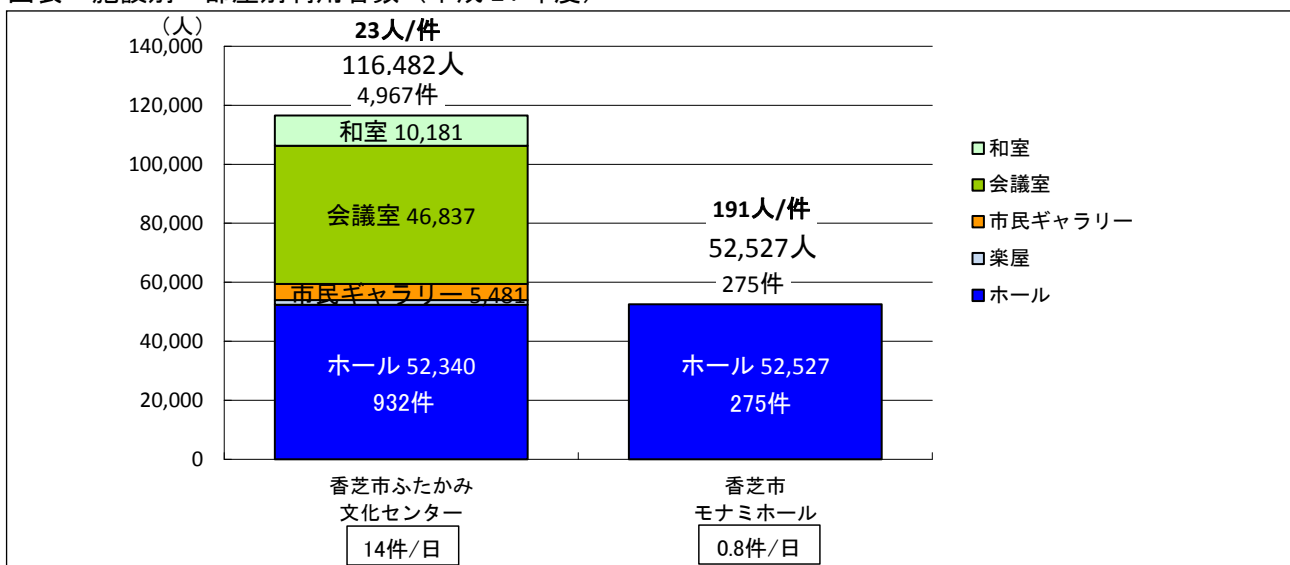


施設別に部屋別の利用者数をみると、香芝市ふたかみ文化センターはホール利用者数が最も多く5万2,340人、次いで会議室の利用者数が46,837人となっています。香芝市モナミホールのホール利用者数は5万2,527人となっています。利用件数をみると、香芝市ふたかみ文化センターは4,967件、利用1件当たりの人数は23人/件となっており、香芝市モナミホールの利用件数は275件、利用1件当たりの人数は191人/件となっています。

1日当たりの利用件数は、香芝市ふたかみ文化センターが14件/日、香芝市モナミホールが0.8件/日となっています。

ホール機能のみに注目すると、香芝市ふたかみ文化センターの利用件数932件は、香芝市モナミホールの利用件数275件の約3.4倍になっています。

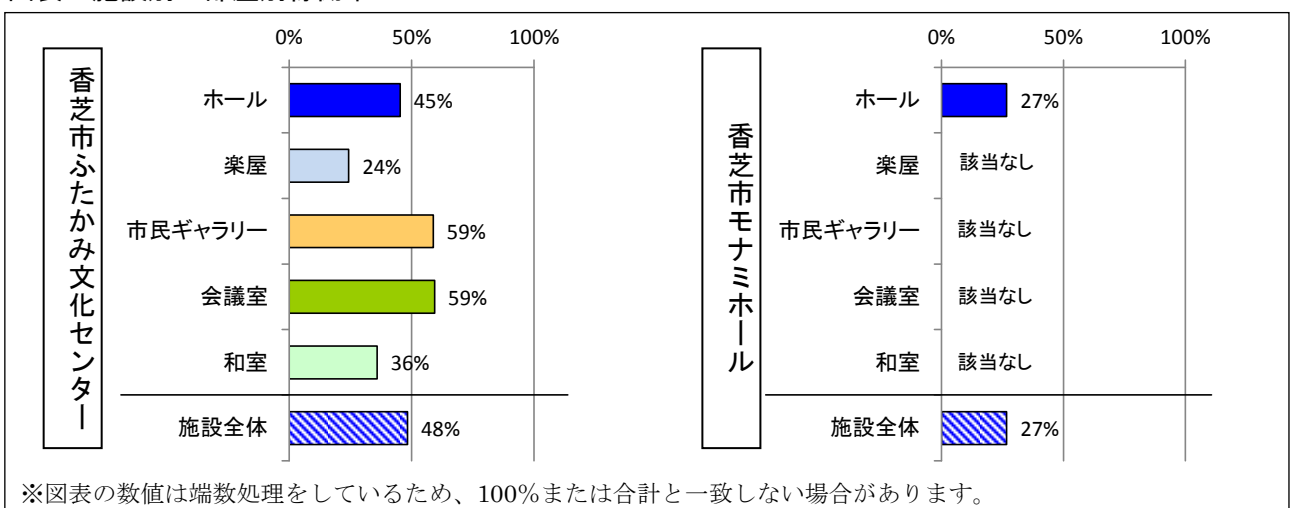
図表 施設別・部屋別利用者数（平成24年度）



施設別の部屋別稼働率をみると、香芝市ふたかみ文化センターの施設全体稼働率が48%となっているのに対し、香芝市モナミホールの施設全体の稼働率は27%となっています。

香芝市ふたかみ文化センターの部屋別稼働率は、市民ギャラリー、会議室が59%と最も高く、その他の部屋は稼働率50%以下となっています。

図表 施設別・部屋別稼働率



■ 利用推移

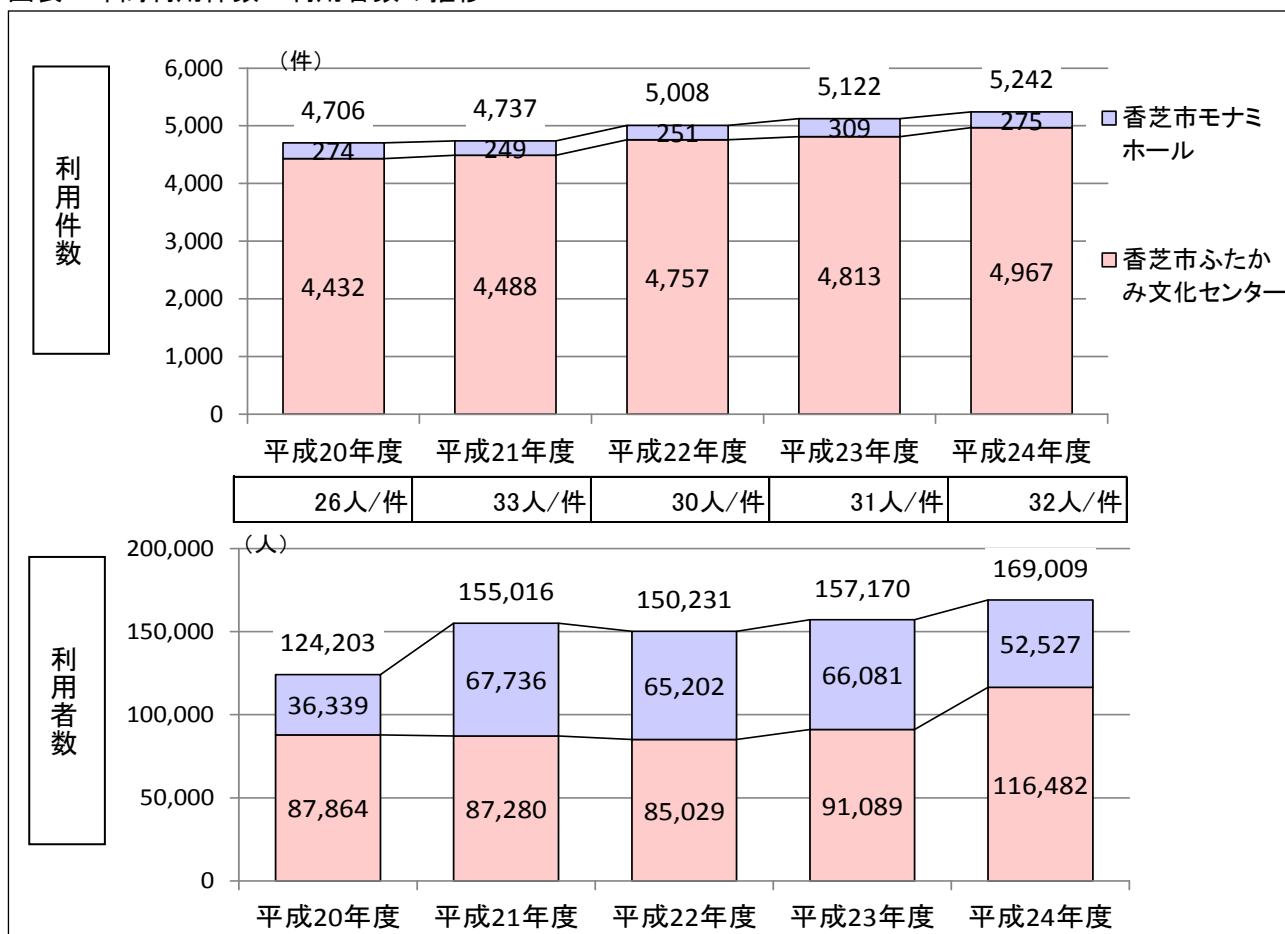
利用件数の推移をみると、平成 20 年度の 4,706 件から、平成 24 年度の 5,242 件へと増加しています。

利用者数は、平成 20 年度の約 12 万人から、平成 24 年度は約 17 万人へと増加しています。

利用 1 件当たりの利用者数は、平成 20 年度は平均 26 人/件でしたが、平成 21 年度以降は平均 30~33 人/件の間で推移しています。

施設別に推移をみると、香芝市モナミホールの利用件数はほぼ横ばいで推移しているのに対し、香芝市ふたかみ文化センターの利用件数は微増の傾向にあります。

図表 年間利用件数・利用者数の推移



③コスト状況

文化施設の年間総コストは、1億5,874万円です。

年間総コストのうち、維持管理費は123万円（1%）、指定管理料は9,200万円（58%）、減価償却額は6,551万円です。当該施設から年間183万円の収入があります。

図表 文化施設 施設経費計算書（平成24年度）

I. 現金収支を伴うもの
【コストの部】

		香芝市ふたかみ文化センター	香芝市モナミホール	合計
維持管理費	燃料費・光熱水費	0	0	0
	修繕料・役務費	0	0	0
	建物管理委託料	0	0	0
	使用料・賃借料	0	0	0
	工事請負費	0	0	0
	備品購入費その他	1,228,500	0	1,228,500
	維持管理費計	1,228,500	0	1,228,500
運営費	人件費	0	0	0
	その他事業運営費	0	0	0
	事業運営費計	0	0	0
指定管理料	68,117,297	23,882,703	92,000,000	
現金収支を伴うコスト計	69,345,797	23,882,703	93,228,500	

【収益の部】

収入		香芝市ふたかみ文化センター	香芝市モナミホール	合計
使用料	52,368	0	52,368	
その他	1,318,501	462,271	1,780,772	
収益計	1,370,869	462,271	1,833,140	

II. 現金収支を伴わないもの

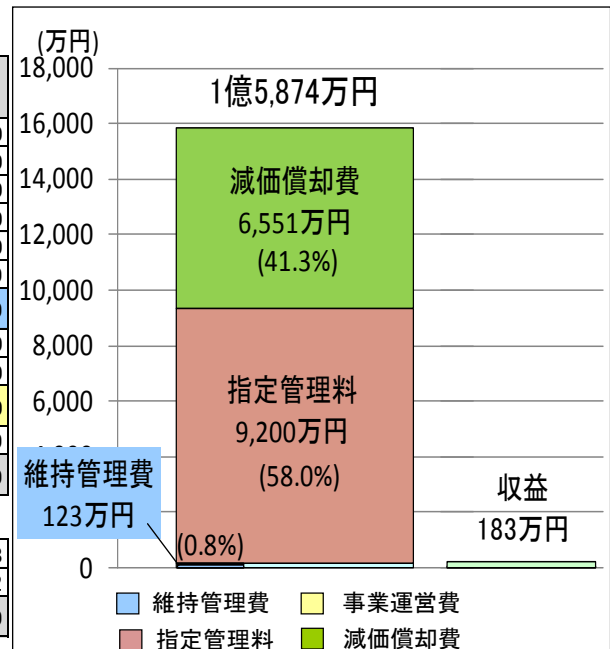
【コストの部】

コスト	香芝市ふたかみ文化センター	香芝市モナミホール	合計
減価償却費	37,028,522	28,485,000	65,513,522

III. 総括

項目	香芝市ふたかみ文化センター	香芝市モナミホール	合計
コストの部合計（総コスト）	106,374,319	52,367,703	158,742,022
収支差額	105,003,450	51,905,432	156,908,882

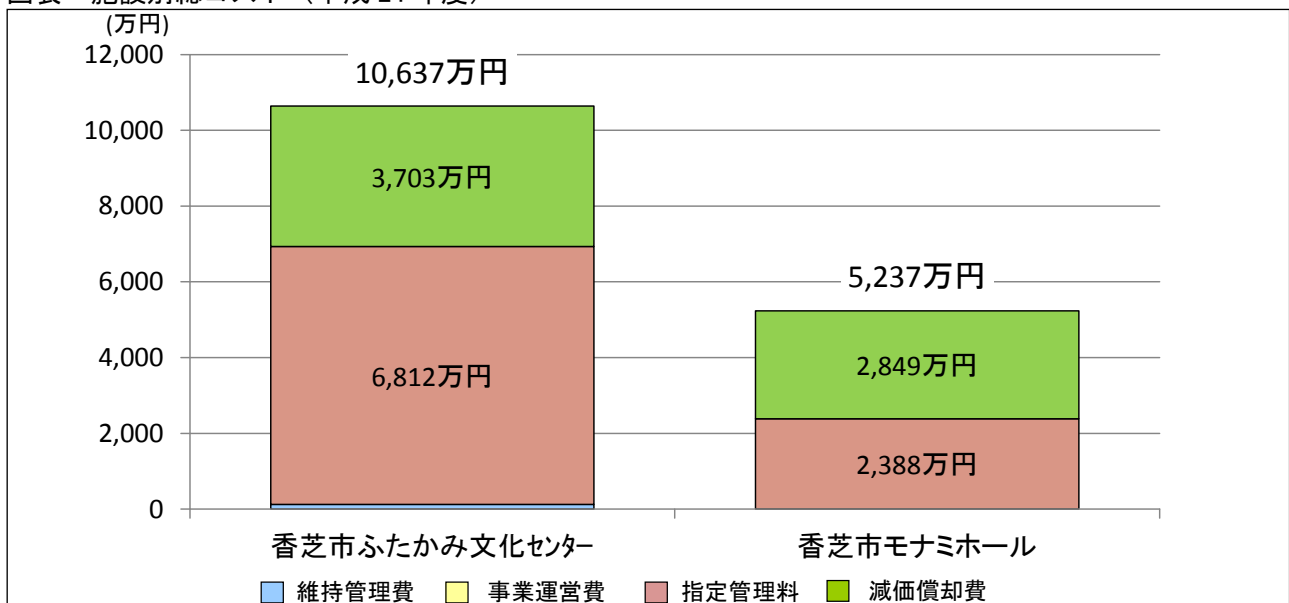
図表 文化施設トータルコスト（平成24年度）



※図表の数値は端数処理をしているため、100%または合計と一致しない場合があります。

施設別の総コストは香芝市モナミホールが5,237万円、香芝市ふたかみ文化センターが1億637万円となっています。

図表 施設別総コスト（平成24年度）



※図表の数値は端数処理をしているため、100%または合計と一致しない場合があります。

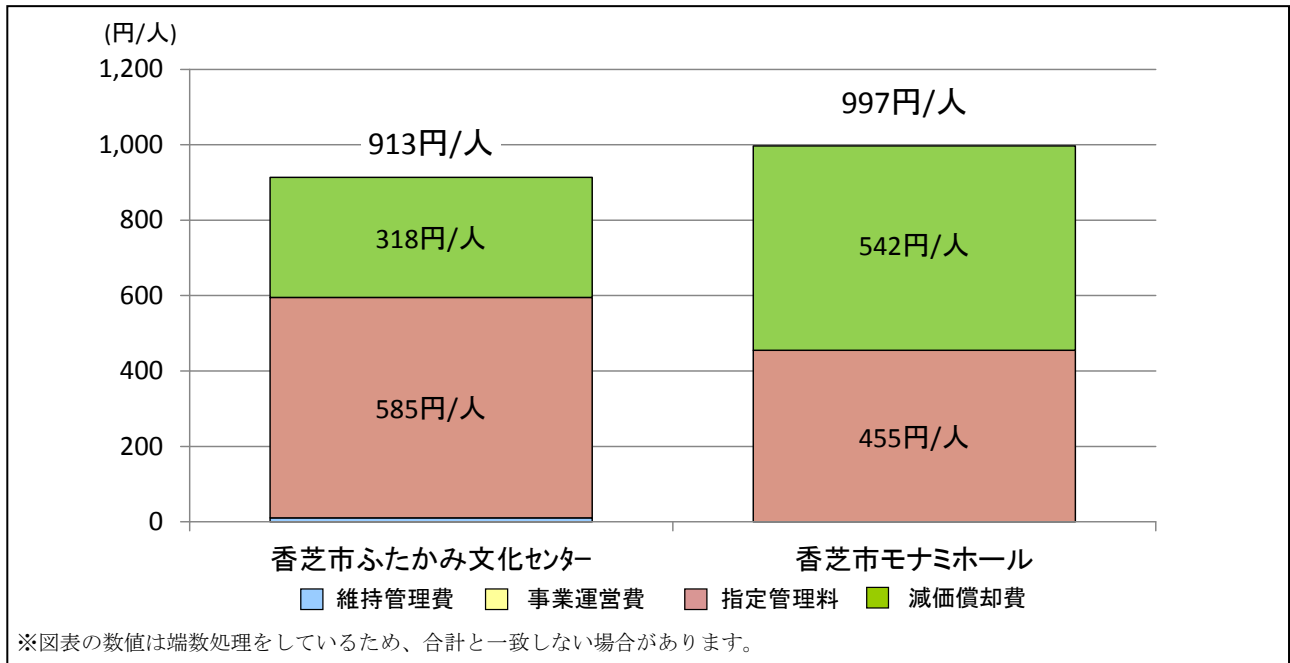
■ 評価・分析

<利用者1人当たりにかかるコスト／利用1件当たりにかかるコスト>

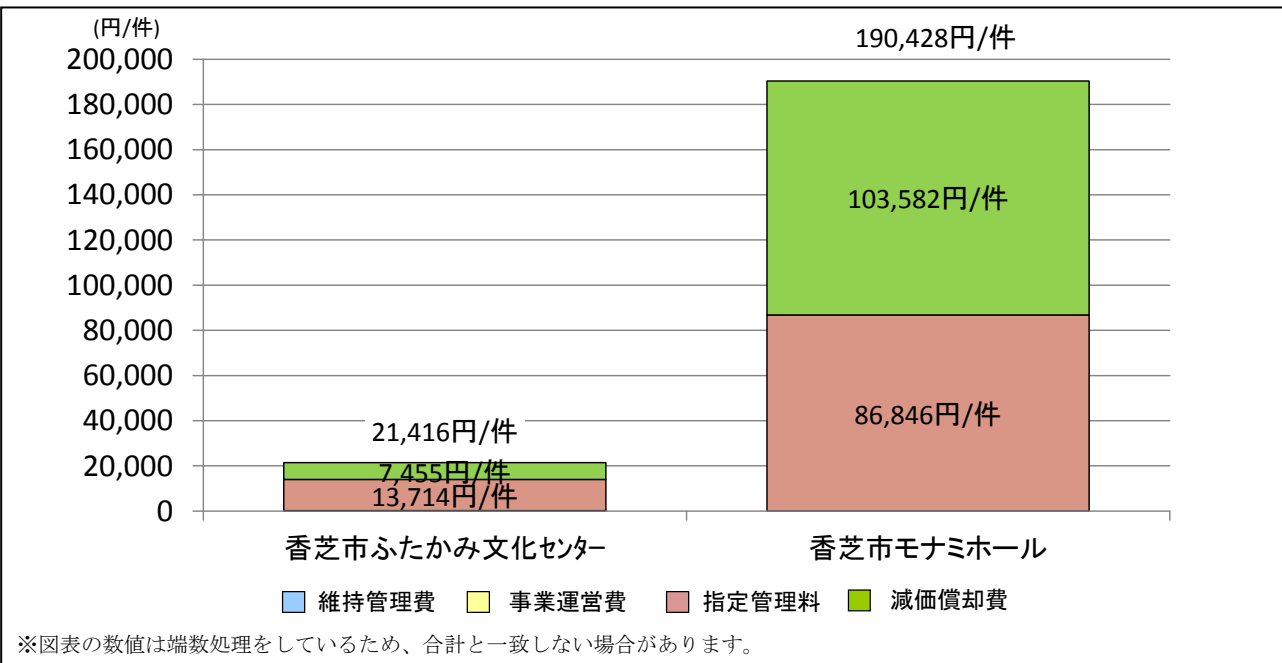
年間利用者数と総コストから利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、香芝市ふたかみ文化センターが913円/人、香芝市モナミホールが997円/人となっています。

年間利用件数と総コストから利用1件当たりにかかるコストを算出すると、香芝市ふたかみ文化センターが2万1,416円/件、香芝市モナミホールが19万428円/件となっています。

図表 利用者1人当たりにかかるコスト(平成24年度)



図表 利用1件当たりにかかるコスト(平成24年度)



④複合施設（香芝市ふたかみ文化センター）の状況

■ 香芝市民図書館

香芝市民図書館は、香芝市ふたかみ文化センターの主に3階部分にあり、図書、記録その他必要な資料を収集し、保存して市民の利用に供し、その教養、調査、研究、レクリエーション等に資することを目的として設置されています。

図書の収集・貸出、予約、リクエスト、レファレンスサービス等のほか、朗読会等の各種行事や館内展示、おはなし会やブックスタート事業等の子ども読書活動推進事業等を行っています。

また、市内の保育所、幼稚園、学童保育所等へ移動図書館車「ぶっくる号」で巡回し、絵本等の貸出を行っています。

<市民図書館スペース構成>

一般図書室	961.3 m ²	書庫（地下1階）	56.7 m ²
児童図書室	268.4 m ²	会議室	21.7 m ²
おはなし室	37.0 m ²	対面朗読室	9.0 m ²
視聴覚室	138.9 m ²	事務室	141.2 m ²
書庫（3階）	82.2 m ²	その他	223.3 m ²
書庫（2階）	95.2 m ²	計	2,034.9 m ²

<開館時間等>（平成25年度）

開館時間	休館日	開館日数
火～金曜日：午前9時30分から午後7時 土日祝日：午前9時30分から午後5時 ※視聴覚室は曜日に関わらず午後5時まで	月曜日（祝日の場合は、その翌日以降で一番近い平日）・毎月第1木曜日（祝日及び休館日に該当する場合は、第2木曜日）・年末年始（12月28日から1月4日）・特別整理期間	283日

<貸出について>（平成25年度）

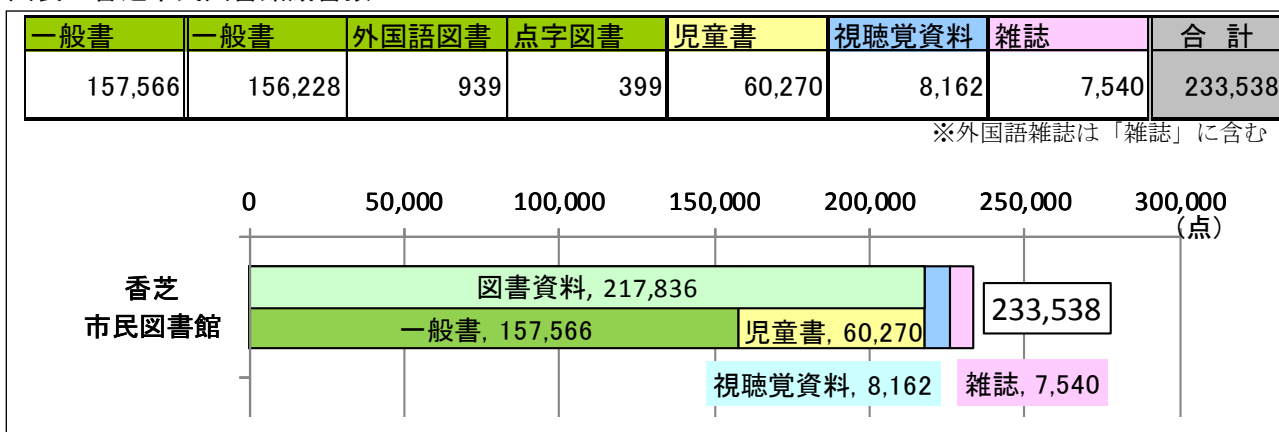
登録	・ 図書の貸出には図書館利用者カードが必要となり、奈良県内に在住の方、香芝市に在学・在勤の方が登録することができる
貸出冊数	・ 貸出冊数は図書は2週間で10冊まで、予約のない資料については、返却日から2週間の延長が可能 ・ ビデオ・DVD・CD・カセットは2週間で4点まで
団体貸出	・ 市内の地域文庫、保育所、幼稚園、小中学校、高校等を対象に、原則として一団体300冊まで4カ月以内で団体貸出を行う
予約	・ 利用したい資料が貸出中等の場合、リクエストを含め1人10点を上限として予約ができる（10点のうち視聴覚資料は4点まで） ・ 図書の予約は、カウンター・電話・インターネットで受付、視聴覚資料は、貸出中の資料のみカウンター・電話で受付しており、予約した資料が返却されしだい、電話・メールで連絡
リクエスト	・ 利用したい図書資料が蔵書の中にない場合、1人1カ月3冊を上限としてリクエストを受け、購入もしくは他館との相互貸借を行い、利用者に提供（市内利用者のみ）。県外等、一部の貸借は、利用者が往復送料を負担

<蔵書数> (平成 25 年度)

香芝市民図書館の総蔵書数は 23 万 3,538 点です。内訳は、図書資料（一般書・外国語資料・点字図書・児童書）が 21 万 7,836 点（93%）、視聴覚資料（VHS、LD、CD、DVD、カセットテープ、録音図書）が 8,162 点（3%）、雑誌（128 誌・うち購入 113 誌）が 7,540 点（3%）となっています。

また、図書資料のうち、一般書が 15 万 7,566 点で約 72%、児童書が 6 万 270 点が約 28% となっています。一般書のうち、外国語図書が 939 点、点字図書が 399 点となっています。

図表 香芝市民図書館蔵書数

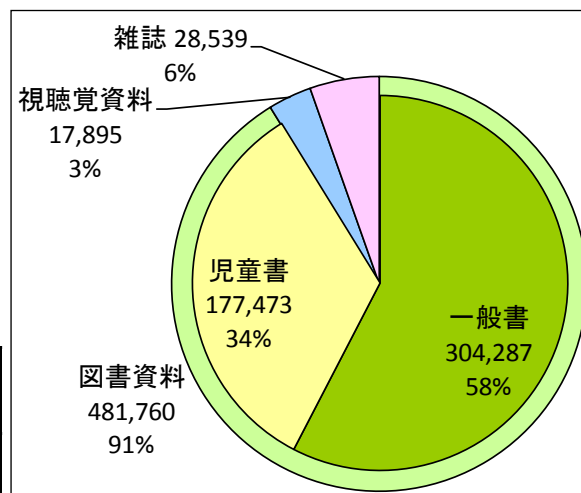


<貸出点数> (平成 25 年度)

香芝市民図書館の平成 25 年度の総貸出点数は 52 万 8,194 点です。その内訳をみると、一般書が 30 万 4,287 点（58%）、児童書が 17 万 7,473 点（34%）と、図書資料が 48 万 1,760 点で 91% を占めています。

図表 香芝市民図書館貸出点数 (平成 25 年度) (点)

一般書	児童書	視聴覚資料	雑誌	合計
304,287	177,473	17,895	28,539	528,194



<実利用率> (平成 25 年度)

香芝市民図書館の平成 25 年度実際に貸出をした人数は一般 1 万 264 人、児童 3,309 人となっています。平均点数は一般 38.0 点、児童 36.0 点となっており、1 カ月当たり 3 点以上の利用となります。実利用率は一般 37.9%、児童 42.9%です。

図表 香芝市民図書館実利用率 (平成 25 年度)

		一般	児童		
a	資料を借りた人数	10,264人	3,309人	a	延べ人数ではなく、1年間に実際に貸出した人数
b	貸出点数	390,254点	118,987点	b	団体貸出を除く
c	登録者数	27,100人	7,708人	c	団体登録、業務用、除籍者、不明数を除く
b/a	1人の利用者が借りた平均点数	38.0点	36.0点		
a/c	実利用率	37.9%	42.9%		

<登録状況>（平成 25 年度）

香芝市民図書館の平成 25 年度の登録者数は、3 万 5,085 人となっています。内訳をみると、市内登録者が 3 万 411 人（86.7%）を占め、市外の登録者は 4,397 人（12.5%）です。

市内登録者の年齢別の内訳をみると、特に 13～15 歳では、市全体の年齢別人口に占める登録者の比率が 88.1%と高くなっています。その前後の 6～12 歳、16～18 歳の比率も 60%を超えています。また、30～49 歳では特に女性の登録者の比率が高くなっています。

市外登録者の内訳をみると、奈良県内の登録者が 99%となっており、隣接する大和高田市、葛城市、上牧町、王寺町、広陵町の登録者が 3,409 人と県内の登録者の 79%を占めています。

図表 香芝市民図書館登録者数（平成 25 年度）

市内	市外	団体	合計
30,411	4,397	277	35,085
86.7%	12.5%	0.8%	100%

図表 香芝市民図書館市内年齢別・性別登録者数（平成 25 年度）

年齢	男性	女性	合計(A)	年齢別人口(B)	比率(A/B)
0～5歳	326	346	672	5,040	13.3%
6～12歳	2,055	2,201	4,256	6,632	64.2%
13～15歳	1,191	1,308	2,499	2,836	88.1%
16～18歳	690	855	1,545	2,521	61.3%
19～22歳	589	767	1,356	3,124	43.4%
23～29歳	752	1,257	2,009	5,246	38.3%
30～39歳	1,336	3,385	4,721	11,012	42.9%
40～49歳	1,788	3,598	5,386	12,801	42.1%
50～59歳	1,052	1,513	2,565	8,333	30.8%
60～69歳	1,296	1,754	3,050	9,843	31.0%
70～79歳	988	881	1,869	7,101	26.3%
80歳～	249	234	483	3,663	13.2%
合計	12,312	18,099	30,411	78,152	38.9%

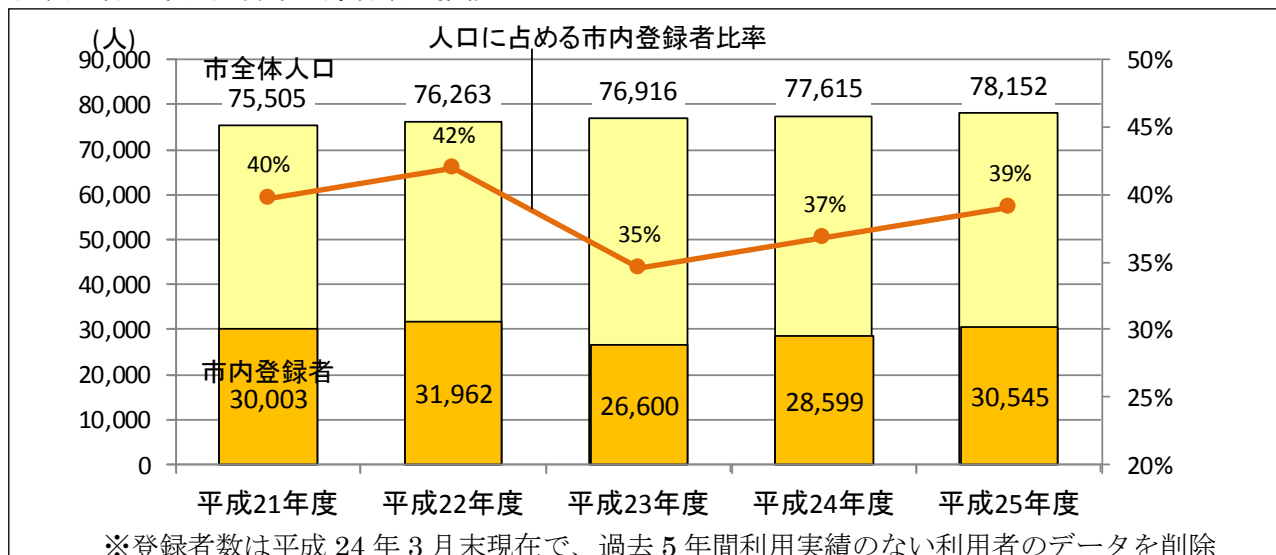
図表 香芝市民図書館市外登録者数（平成 25 年度）

市町村名	人数	市町村名	人数	市町村名	人数			
中和	橿原市	216	北和	奈良市	56	県外	三重県	2
	大和高田市	859		生駒市	17		京都府	1
	桜井市	48		大和郡山市	36		大阪府	57
	葛城市	841		天理市	20	県外小計	60	
	生駒郡平群町	47		宇陀市	19	市外計	4,397	
	生駒郡三郷町	60	北和小計		148	隣接自治体		
	生駒郡斑鳩町	42	南和	五條市	17			
	生駒郡安堵町	18		御所市	67			
	磯城郡川西町	6		吉野郡吉野町	5			
	磯城郡三宅町	15		吉野郡大淀町	13			
	磯城郡田原本町	56		吉野郡下市町	4			
	高市郡高取町	17		吉野郡黒滝村	1			
	高市郡明日香村	5		吉野郡野迫川村	1			
	北葛城郡上牧町	624		吉野郡十津川村	6			
	北葛城郡王寺町	185		吉野郡川上村	0			
北葛城郡広陵町	900	吉野郡東吉野村		1				
北葛城郡河合町	135	南和小計		115				
中和小計	4,074	県内小計		4,337				

<利用状況の推移>

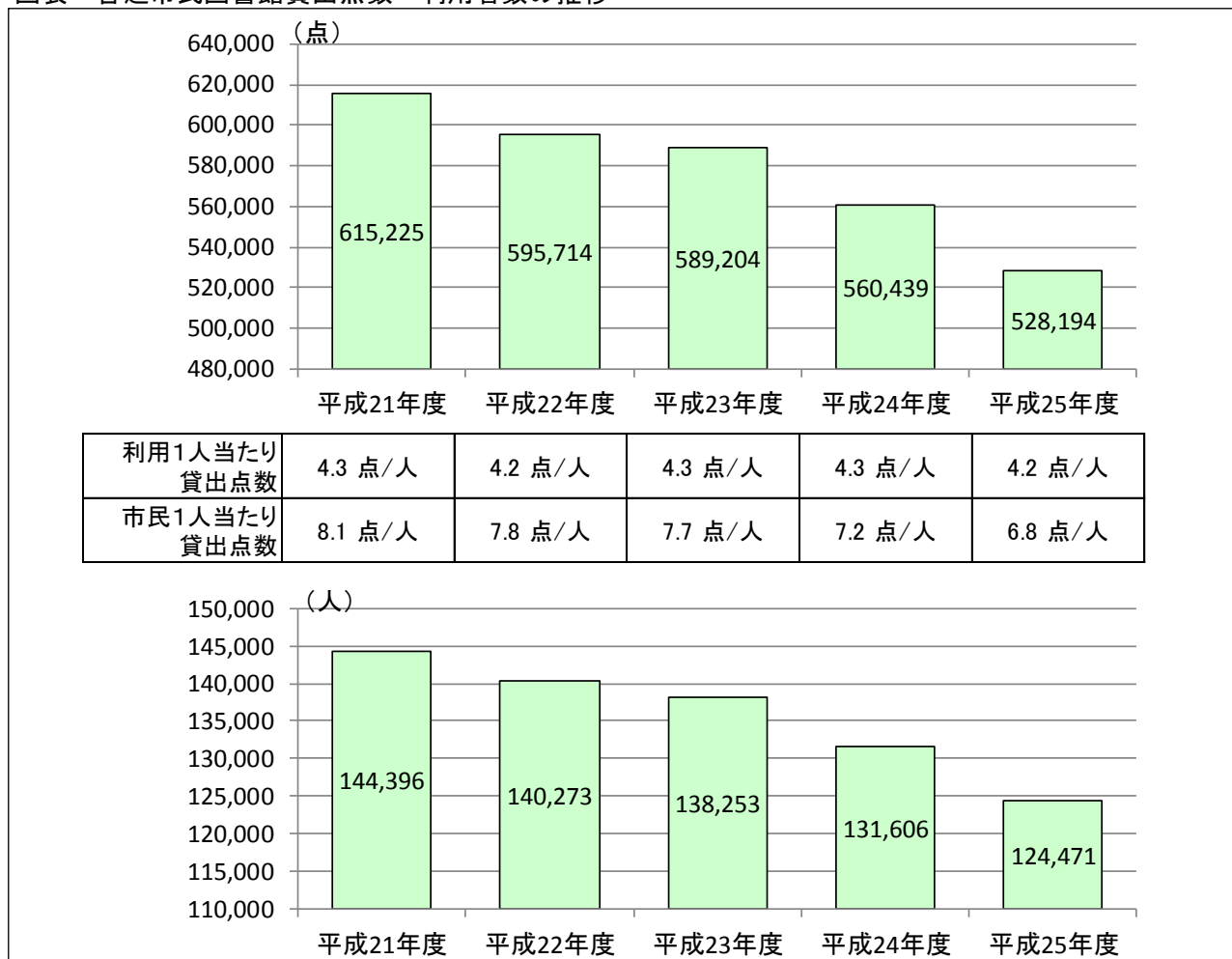
平成 21 年度から平成 25 年度の登録者数の推移をみると、市内登録者比率は4割程度となっています。

図表 香芝市民図書館登録者数の推移



平成 21 年度から平成 25 年度の貸出点数、貸出人数（延べ人数）の推移をみると、貸出点数、貸出人数ともに減少の傾向にあり、市民 1 人当たりの貸出点数も減少しています。利用 1 人当たりの貸出点数をみると、4.2～4.3 点/人と横ばいの推移となっています。

図表 香芝市民図書館貸出点数・利用者数の推移



■ 二上山博物館

二上山博物館は、香芝市ふたかみ文化センターの1階部分に位置し、市内及び二上山周辺地域を中心とした考古、歴史等の人間の生活及び文化に関する資料、この地域を構成している自然界に関する資料その他これらに関連する資料について調査研究し、展示し、または保存し、市民の教育、学術及び文化の発展に資するため設置されています。

二上山に分布する火成岩のなかでもサヌカイト、凝灰岩、金剛砂はその後の人類文化の発展に大きく寄与した岩石、鉱物です。この3つの石と人びとの暮らしをテーマに、歴史的風土と自然の特徴を親しみやすく視覚に訴えた博物館となっています。

<二上山博物館スペース構成>

常設展示室	502.1 m ²	収蔵庫、整理作業室等	511.13 m ²
事務室	32 m ²	計	1,045.23 m ²

<開館時間等>

開館時間	休館日
午前9時～午後5時 (入館は午後4時30分まで)	月曜日(国民の祝日、振替休日にあたる場合は翌日以降最も近い平日)・年末年始(12月28日～1月4日)

<観覧料>

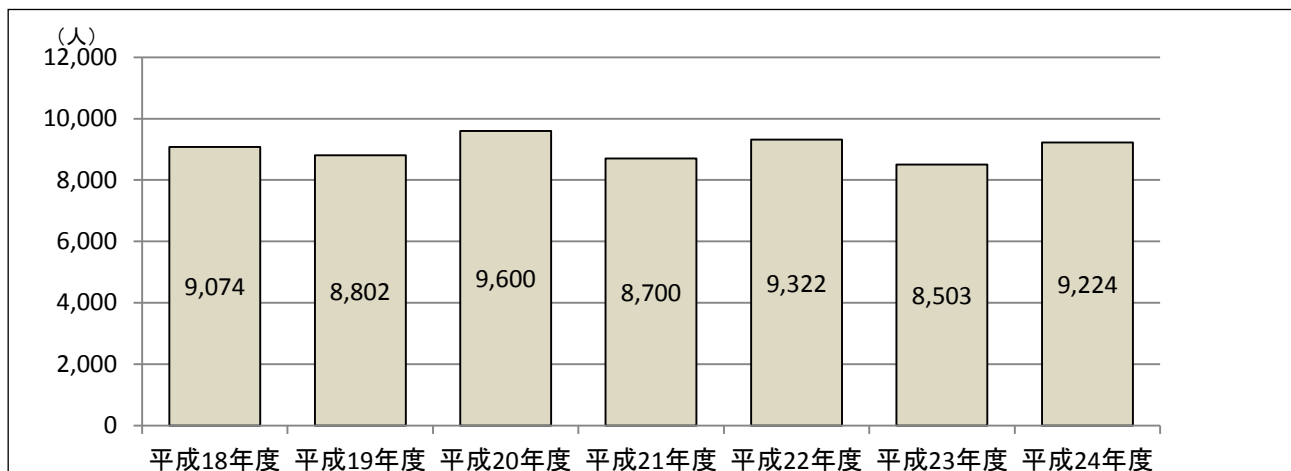
	大人	学生(高校・大学生)	小人(小・中学生)
個人	200円	150円	100円
団体(20名以上)	150円	100円	50円

※次の場合は利用料の減免があります。(詳細はホームページ等をご確認ください)

- ① 市内の小学校・中学校・高等学校の児童または生徒が教職員に引率されて入館される場合
- ② 市内の小学校・中学校・高等学校の児童または生徒が学校の課題学習に伴い入館される場合
- ③ 学校週5日制に伴う土曜日に高校生以下の児童または生徒が入館される場合
- ④ 身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳の交付を受けている方が入館される場合
- ⑤ 「奈良県内(奈良県外)外国人留学生 社寺、文化・観光施設入館無料パスポート」の交付を受けている外国人留学生の方が入館される場合。

<利用推移>

二上山博物館の平成18年度から平成24年度の年間利用者数の推移をみると、8,500人から9,600人の間で推移しています。



■ 複合施設のコスト状況

複合施設も含めた香芝市ふたかみ文化センターの年間総コストは、2億5,506万円です。

年間総コストのうち、維持管理費は1,434万円(6%)、事業運営費は1億1,454万円(45%)、指定管理料が6,812万円(27%)、減価償却費が2,104万円となっています。当該施設から年間272万円の収益があります。

図表 複合施設 施設経費計算書 (平成24年度)

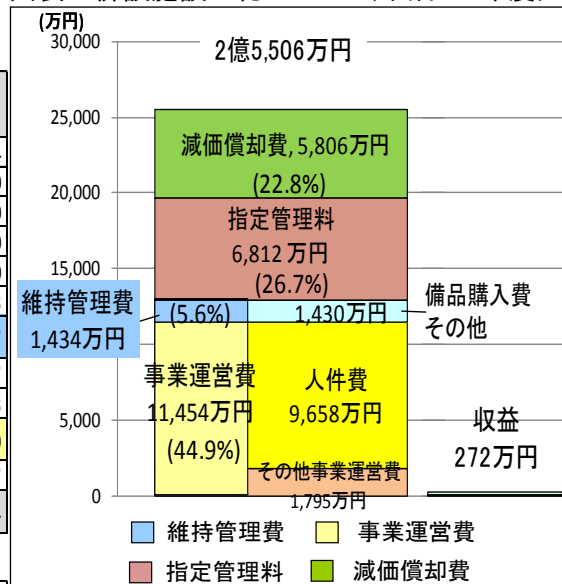
I. 現金収支を伴うもの (円)

		香芝市民図書館	二上山博物館	香芝市ふたかみ文化センター	合計
維持管理費	燃料費・光熱水費	43,944	0	0	43,944
	修繕料・役務費	0	0	0	0
	建物管理委託料	0	0	0	0
	使用料・賃借料	0	0	0	0
	工事請負費	0	0	0	0
	備品購入費その他	13,069,913	0	1,228,500	14,298,413
	維持管理費計	13,113,857	0	1,228,500	14,342,357
事業運営費	人件費	68,747,908	27,836,749	0	96,584,657
	その他事業運営費	13,019,298	4,933,565	0	17,952,863
	事業運営費計	81,767,206	32,770,314	0	114,537,520
指定管理料	0	0	68,117,297	68,117,297	
現金収支を伴うコスト計	94,881,063	32,770,314	69,345,797	196,997,174	

【収益の部】

		香芝市民図書館	二上山博物館	香芝市ふたかみ文化センター	合計
収入	使用料	0	762,950	52,368	815,318
	その他	51,860	532,270	1,318,501	1,902,631
収益計		51,860	1,295,220	1,370,869	2,717,949

図表 併設施設 総コスト (平成24年度)



※図表の数値は端数処理をしているため、100%または合計と一致しない場合があります。

II. 現金収支を伴わないもの

【コストの部】

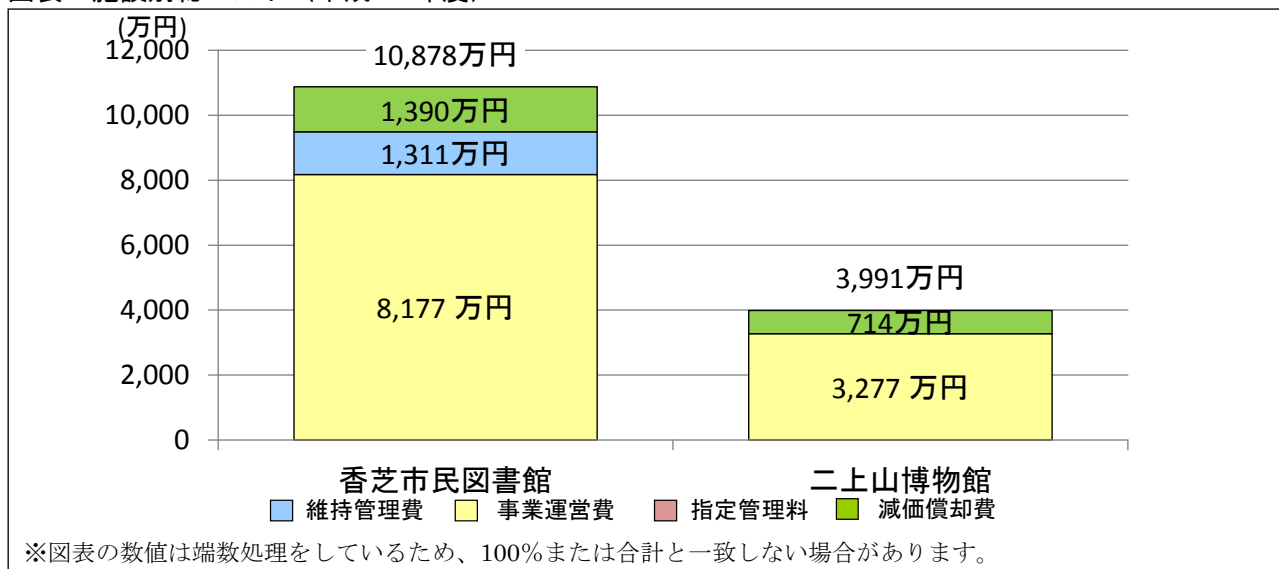
コスト	香芝市民図書館	二上山博物館	香芝市ふたかみ文化センター	合計
減価償却費	13,897,297	7,138,371	37,028,522	58,064,190

III. 総括

項目	香芝市民図書館	二上山博物館	香芝市ふたかみ文化センター	合計
コストの部合計(総コスト)	108,778,360	39,908,685	106,374,319	255,061,364
収支差額	108,726,500	38,613,465	105,003,450	252,343,415

施設別の総コストは香芝市民図書館が1億878万円、二上山博物館が3,991万円となっています。

図表 施設別総コスト (平成24年度)



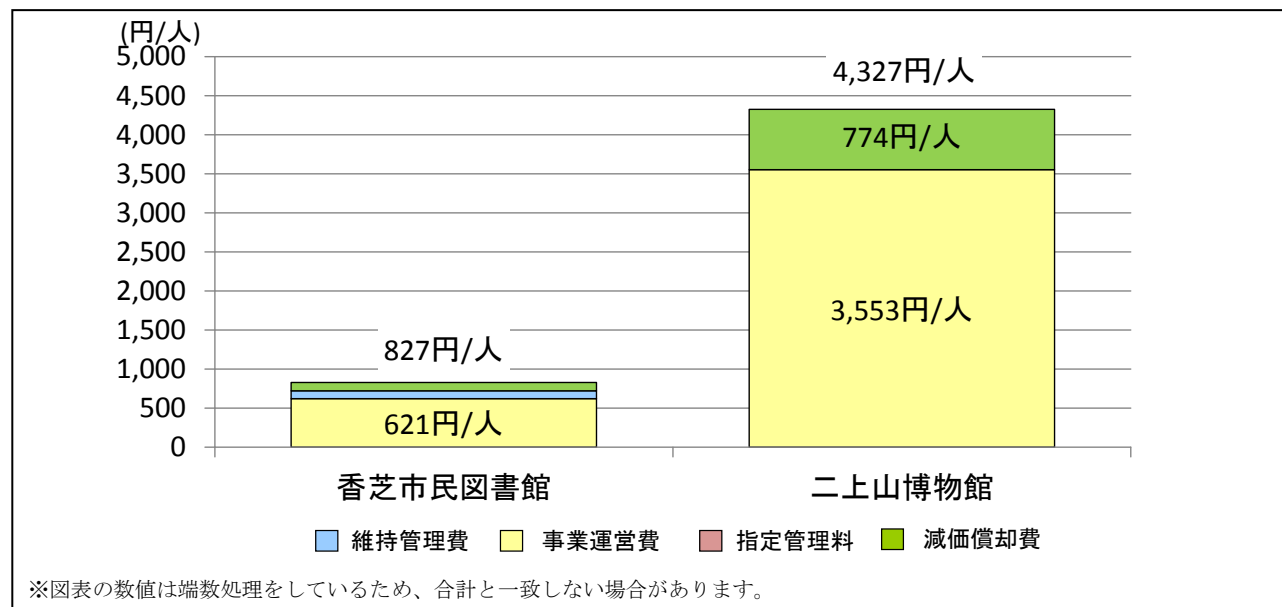
※図表の数値は端数処理をしているため、100%または合計と一致しない場合があります。

<利用者 1 人当たりにかかるコスト/貸出点数 1 点当たりにかかるコスト>

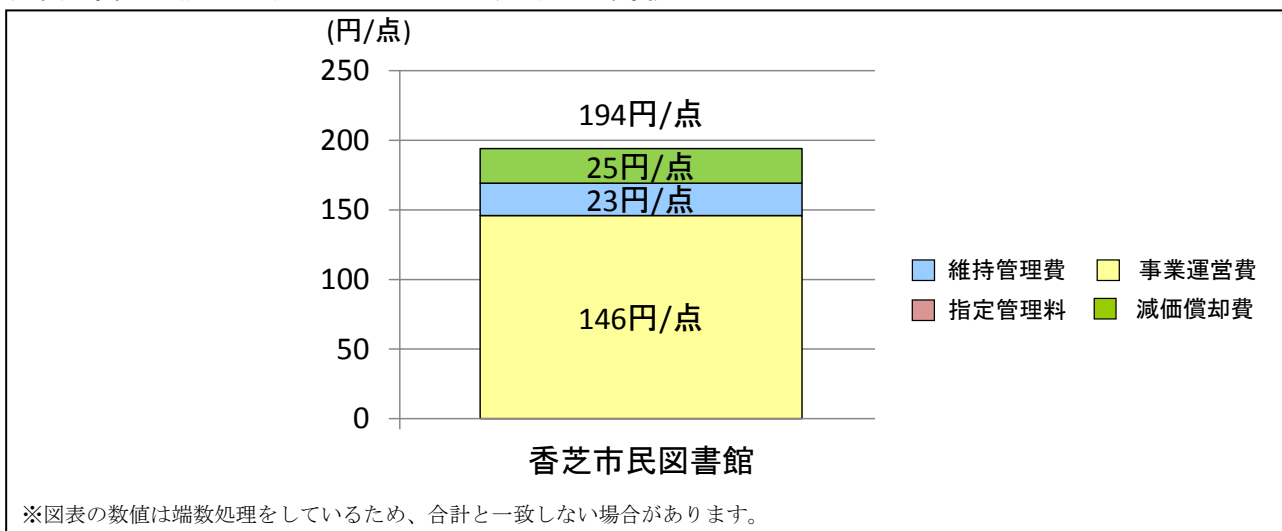
年間利用者数と総コストから利用者 1 人当たりにかかるコストを算出すると、香芝市民図書館が 827 円/人、二上山博物館が 4,327 円/人となっています。

年間貸出点数と総コストから貸出 1 点当たりにかかるコストを算出すると、香芝市民図書館の貸出点数 1 点当たりにかかるコストは 194 円/点となっています。

図表 利用者 1 人当たりにかかるコスト(平成 24 年度)



図表 貸出 1 点当たりにかかるコスト(平成 24 年度)



⑤現状及び課題

- 香芝市モナミホールは築 35 年が経過しており、耐震改修は未実施となっている。
- 香芝市モナミホールは 1 日 1 件に満たない利用となっている。1,030 席という大きなホールの需要はどの程度あるか、近隣市と連携し広域利用できないか等、施設のあり方を検討する必要がある。
- 平成 26 年度から指定管理者が替わり、運営方式の見直しによる効果がどのように表れているか、今後注目していく必要がある。

2) 中央公民館

①施設概要

香芝市の住民のために実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、住民の教養の向上、健康の増進及び情操の純化を図り、生活文化の振興及び社会福祉の増進を図るため、公民館を設置しています。

香芝市中央公民館は市の直営となっています。

図表 施設一覧

小学校区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)	備考
下田	1 香芝市中央公民館	下田西三丁目7番5号	2,634.60	昭和54	RC	平成29年度耐震改修予定

※昭和 59：建築年度の赤字は築 30 年以上を示す

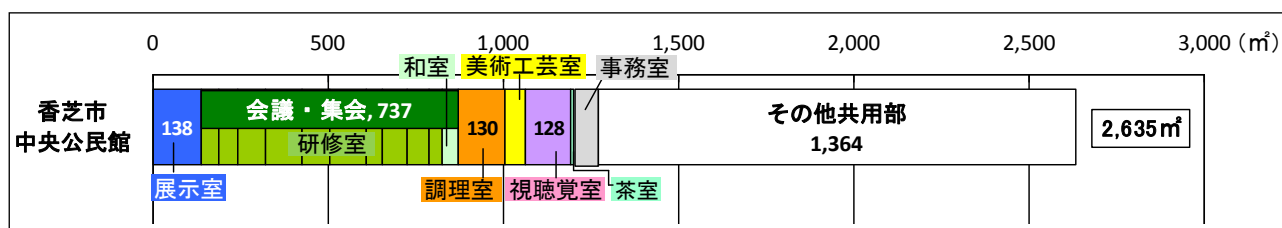
<開館時間等> (平成 24 年度)

施設名	開館時間	休館日	開館日数
香芝市中央公民館	午前 9 時から午後 9 時	毎週木曜日 年末年始(12月28日～1月4日)	306 日

<スペース構成>

香芝市中央公民館は延床面積 2,635 ㎡であり、そのうち会議・集会機能（研修室、和室等）を 737 ㎡保有しています。その他に展示室、調理室、美術工芸室、視聴覚室、茶室を保有しています。

図表 スペース構成



※図表の数値は端数処理をしているため、100%または合計と一致しない場合があります。

②利用状況

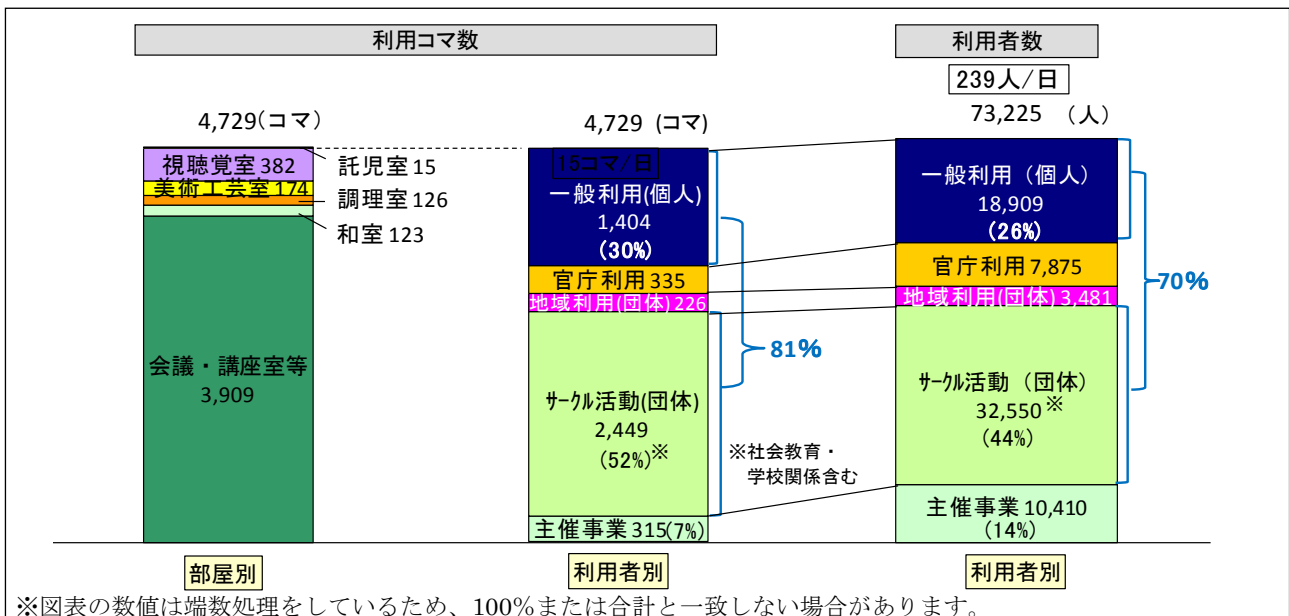
■ 年間利用コマ数・年間利用者数

<中央公民館>

中央公民館の年間利用コマ数は4,729コマ、利用者数は7万3,225人となっています。1日当たりの利用コマ数は15コマ/日、1日当たりの利用人数は239人/日となっています。

利用目的別の内訳をみると、主催事業の利用コマ数は315コマ(7%)、利用者数は10,410人(14%)で割合が低くなっています。一方、サークル活動(団体)と一般利用(個人)の利用コマ数は3,853件(81%)、利用者数は5万1,459人(70%)で大半を占めています。

図表 中央公民館 年間利用件数・年間利用者数(平成24年度)

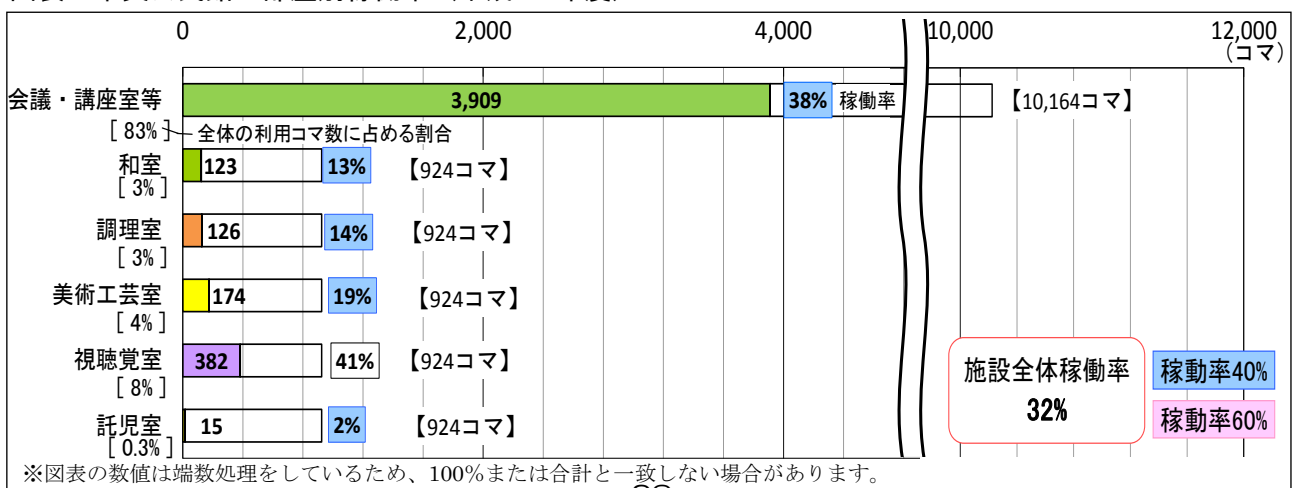


■ 部屋別の利用状況

部屋別の利用コマ数をみると、全体の年間利用コマ数4,729コマのうち、会議・講座室等の利用コマ数は3,909コマ(83%)、視聴覚室が382コマ(8%)となっています。

部屋別の稼働率をみると、会議・講座室等は38%、視聴覚室は41%となっており、その他の部屋は20%以下の稼働率となっています。施設全体の稼働率は32%です。

図表 中央公民館・部屋別稼働率(平成24年度)



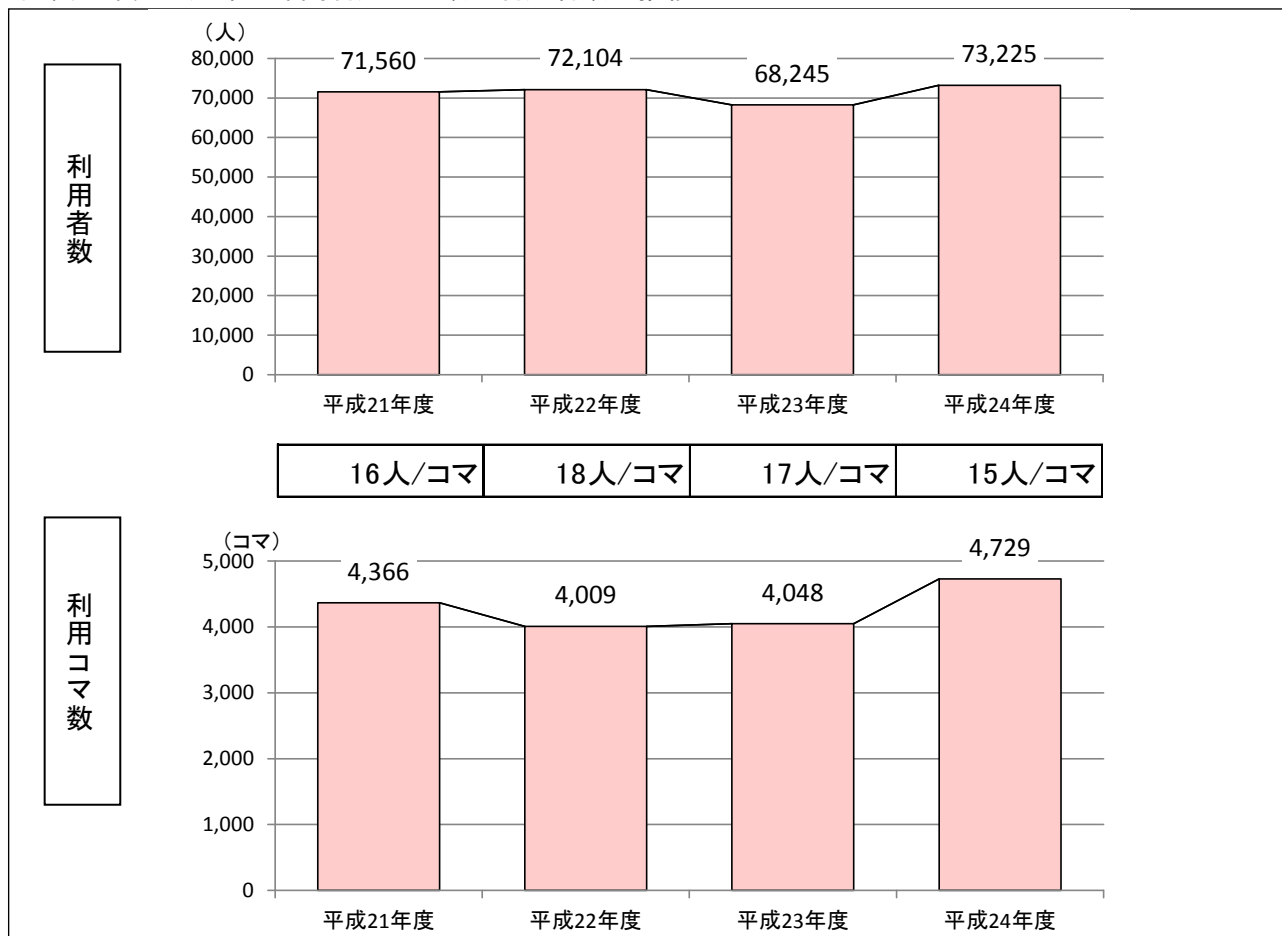
■ 利用推移

利用コマ数の推移をみると、平成21年度の4,366コマから、平成24年度の4,729コマへと増加しています。

利用者は、平成21年度の約7.2万人から、平成24年度は約7.3万人へと増加しています。

利用1コマ当たりの利用者は、平成21年度以降平均15~18人/コマの間で推移しています。

図表 中央公民館 年間利用コマ数・利用者数の推移



③コスト状況

中央公民館の年間総コストは、6,803万円です。

年間総コストのうち、維持管理費（修繕料、光熱水費等）は 1,052 万円（16%）、事業運営費（人件費等）は 2,902 万円（43%）、減価償却費は 2,849 万円です。当該施設から年間 519 万円の収入があります。

図表 公民館 施設経費計算書（平成 24 年度）
Ⅰ. 現金収支を伴うもの (円)

		中央公民館
【コストの部】		
維持管理費	燃料費・光熱水費	2,918,816
	修繕料・役務費	369,913
	建物管理委託料	6,455,400
	使用料・賃借料	135,954
	工事請負費	492,240
	備品購入費その他	149,137
	維持管理費計	10,521,460
	事業運営費	人件費
	その他事業運営費	2,741,163
	事業運営費計	29,018,789
	指定管理料	0
	現金収支を伴うコスト計	39,540,249

【収益の部】

収入	使用料	4,460,830
	その他	725,664
収益計		5,186,494

Ⅱ. 現金収支を伴わないもの

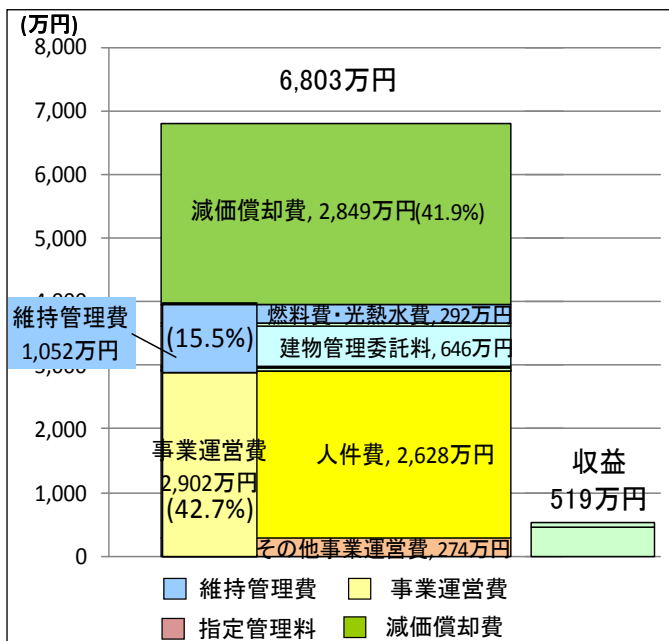
【コストの部】

コスト	減価償却費	28,485,000
-----	-------	------------

Ⅲ. 総括

コストの部合計(総コスト)	68,025,249
収支差額	62,838,755

図表 中央公民館総コスト（平成 24 年度）



※図表の数値は端数処理をしているため、100%または合計と一致しない場合があります。

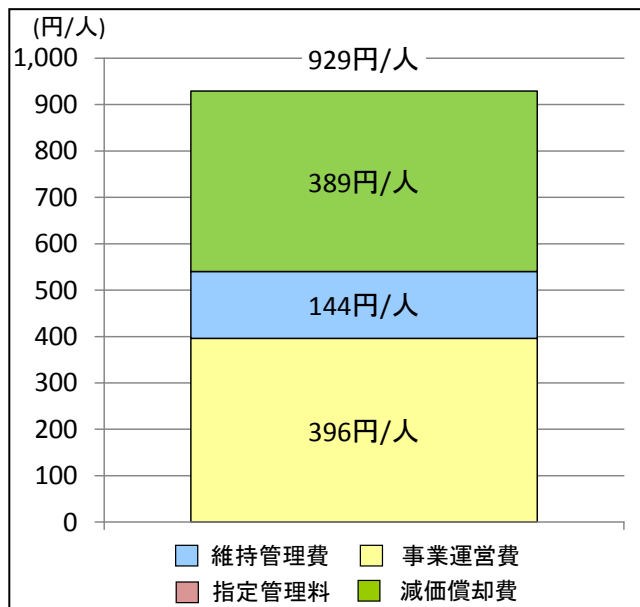
■ 評価・分析

＜利用者1人当たりにかかるコスト／利用1コマ当たりにかかるコスト＞

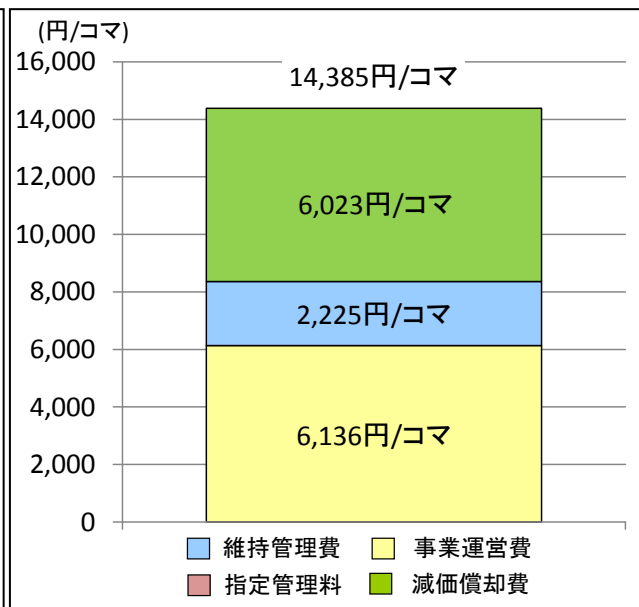
中央公民館の年間利用者数と総コストから利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、929円/人となっています。

中央公民館の年間利用コマ数と総コストから利用1コマ当たりにかかるコストを算出すると、1万4,385円/コマとなっています。

図表 利用者1人当たりにかかるコスト
 (平成24年度)



図表 利用1コマ当たりにかかるコスト
 (平成24年度)



※図表の数値は端数処理をしているため、100%または合計と一致しない場合があります。

④現状及び課題

- 築30年以上が経過し、老朽化が進んでいる。
- 中央公民館は平成29年度に耐震改修の予定。
- 部屋別にみると、会議・集会機能の利用が主であり、その他の部屋の稼働率は低い。
- 中央公民館は主催事業の利用が少なく、サークル・一般利用が大半となっている。

(2) 青少年センター

①施設概要

青少年センターでは、青少年の豊かな人格の形成を目指して、青少年の非行化を防止し、健全な育成を図るための活動を行っています。広報啓発として「少年の主張」市民集会や青少年健全育成推進大会、子ども体験事業として、わくわくキッズ体験学習、ファミリー雪体験等の事業を行っています。

また、生徒指導支援室の事業として、併設している適応指導教室(すみれ教室)があり、市内小・中学校と緊密な連携を図りながら、学校に行けなくなったり、行きにくくなっている子供たちと、その保護者に対して、相談活動や学校生活への復帰を援助する支援を行っています。

図表 施設一覧

小学校区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる建 物)	備考
下田	1 青少年センター	下田西二丁目1-12	936.5	昭和55	RC	

※昭和 59：建築年度の赤字は築 30 年以上を示す

<開館時間等> (平成 24 年度)

開館時間	休館日	開館日数
午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分	土・日・祝日	244 日

②コスト状況

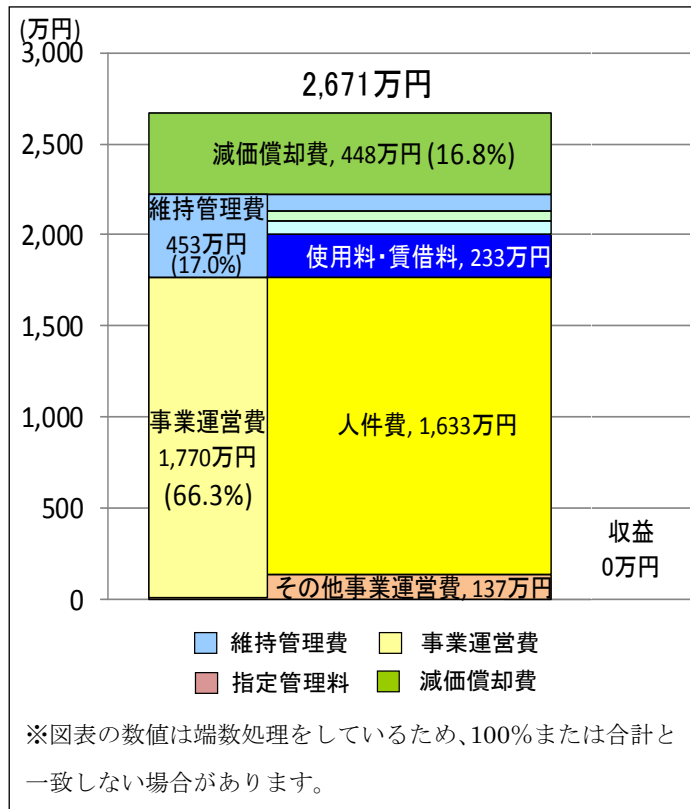
青少年センターの年間総コストは、2,671 万円です。

年間総コストのうち、維持管理費（光熱水費、使用料・賃借料等）は 453 万円（17%）、事業運営費（人件費等）は 1,770 万円（66%）、減価償却費は 448 万円です。

図表 青少年センター施設経費計算書(平成25年度)

I. 現金収支を伴うもの		(円)
【コストの部】		
		青少年センター
維持管理費	燃料費・光熱水費	937,996
	修繕料・役務費	504,643
	建物管理委託料	759,869
	使用料・賃借料	2,332,403
	工事請負費	0
	備品購入費その他	0
	維持管理費計	4,534,911
事業運営費	人件費	16,329,814
	その他事業運営費	1,367,145
	事業運営費計	17,696,959
指定管理料		0
現金収支を伴うコスト計		22,231,870
【収益の部】		
収入	使用料	0
	その他	0
収益計		0
II. 現金収支を伴わないもの		
【コストの部】		
コスト	減価償却費	4,477,416
III. 総括		
コストの部合計(総コスト)		26,709,286
収支差額		26,709,286

図表 青少年センター総コスト（平成 25 年度）



(3) スポーツ・レクリエーション系施設

1) スポーツ施設

①施設概要

本市では、市民のスポーツ及びレクリエーションの振興を図り、心身の健全な発達に寄与するため、スポーツ施設が10施設設置されています。

保有機能は体育館、トレーニング室、テニスコート、多目的運動場、プール等、様々な機能を保有しています。

図表 施設一覧

小学校区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる 建物)	屋内施設			屋外施設			備考
						競技 メイン 場	サブ 競技 場	トレ ー ニ ン グ 室	プ ー ル	テ ニ ス コ ー ト	ポ ー ル 場 ゲ ー ト	
下田	1 香芝市総合体育館	本町1437番地	6,127.2	昭和52	RC	●	●	●				
旭ヶ丘	2 香芝市 北部地域体育館	上中273-1	839.8	昭和53	RC	●						
関屋	3 総合プール	穴虫2864番地の1	744.0	昭和59	RC				●			※平成25年度 休止
旭ヶ丘	4 健民テニスコート	上中273番地1	-	-	-				●			
真美ヶ丘東	5 高塚テニスコート	真美ヶ丘六丁目 11番	-	-	-				●			
下田	6 市民いこいの広場	下田西二丁目397 番地2	-	-	-					●		
旭ヶ丘	7 健民運動場	上中273番地1	-	-	-						●	
二上	8 高山台グラウンド	高山台三丁目	-	-	-						●	
真美ヶ丘東	9 高塚グラウンド	真美ヶ丘六丁目 11番	-	-	-						●	
真美ヶ丘東	10 観正山グラウンド	真美ヶ丘三丁目4 番	-	-	-						●	
合計			7,711.03									

※昭和 59：建築年度の赤字は築30年以上を示す

<運営時間等>

施設名	機能	運営時間	休館日
香芝市総合体育館	屋内競技場、トレーニング室、会議室	午前9時から午後10時	毎月第1木曜日（※ただし、第1木曜日が祝日の場合は開館し翌日以降で最初の平日を休館）、12月28日から翌年1月4日まで
香芝市北部地域体育館	屋内競技場	午前9時から午後10時	
総合プール	屋外プール	午前9時30分から午後5時	7月第3土曜日 から 8月31日まで無休
健民テニスコート	テニスコート	午前7時から午後7時 (10月～4月は午後5時まで)	毎月第1木曜日（※ただし、第1木曜日が祝日の場合は開館し翌日以降で最初の平日を休館）、12月28日から翌年1月4日まで
高塚テニスコート	テニスコート	午前7時から午後9時	
市民いこいの広場	ゲートボール場	午前8時から午後6時	
健民運動場	多目的運動場	午前8時から午後6時	
高山台グラウンド	多目的運動場	午前8時から午後6時	
高塚グラウンド	他目的運動場	午前8時から午後9時	
観正山グラウンド	多目的運動場	午前8時から午後6時	

②利用状況

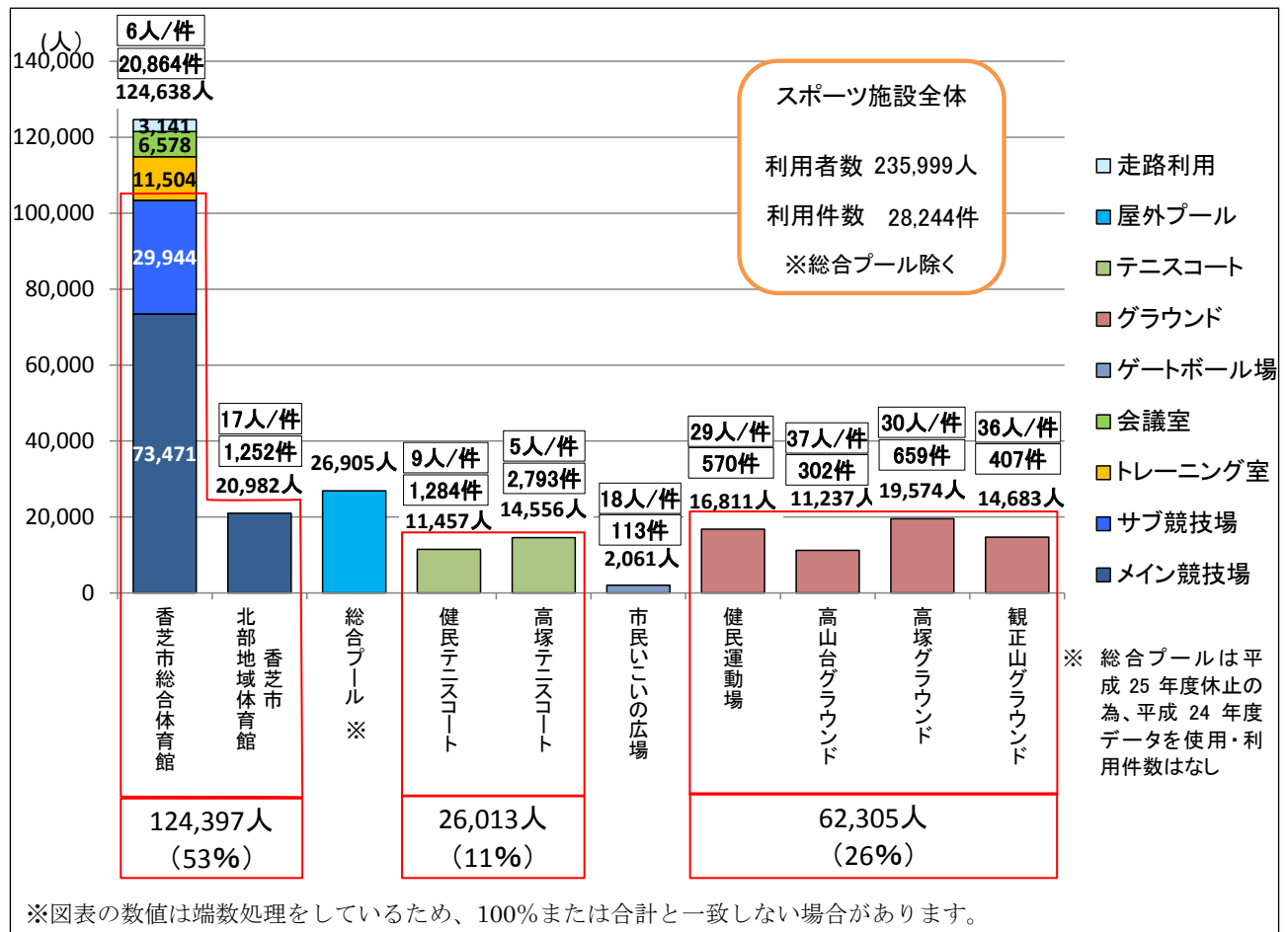
■ 全体の利用状況

平成 25 年度のスポーツ施設の年間利用件数は 2 万 8,244 件、利用者数は 23 万 5,999 人となっています。総合プールは平成 25 年度に休止しており、平成 24 年度の利用者数は 2 万 6,905 人です。

施設別にみると、香芝市総合体育館の利用者が 12 万 4,638 人と全体の約 53%を占めています。

機能別にみると、屋内競技場の利用が 12 万 4,397 人（約 53%）、グラウンドの利用が 6 万 2,305 人（約 26%）、テニスコートの利用は 2 万 6,013 人（約 11%）となっています。

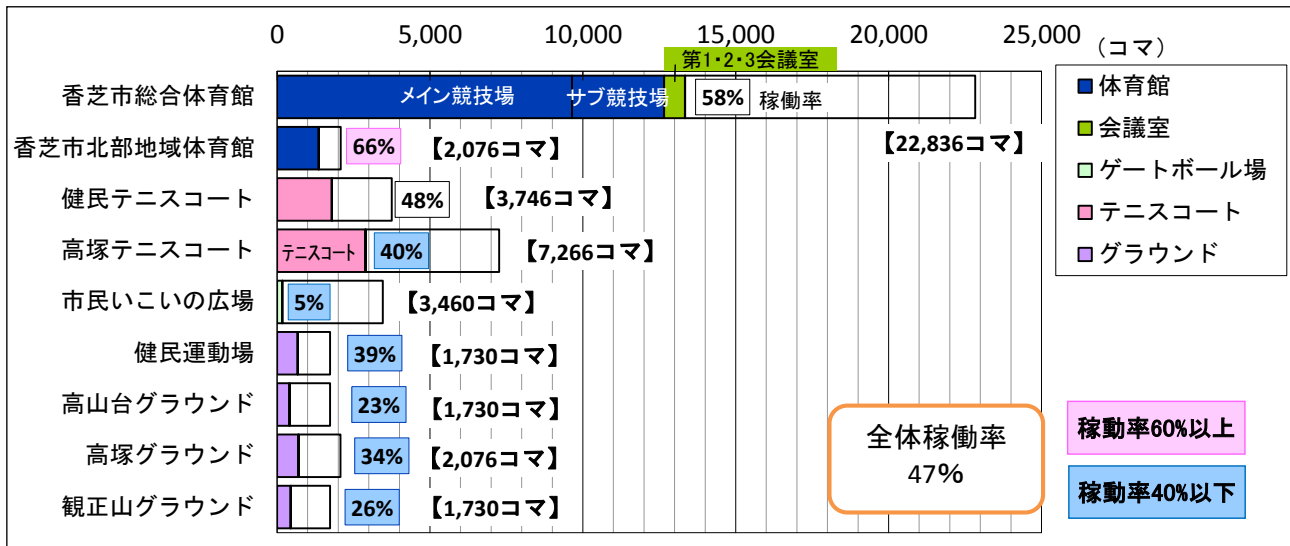
図表 施設別・機能別利用者数（平成 25 年度）



■ 施設別稼働率

スポーツ施設の施設別の稼働率をみると、香芝市北部地域体育館が最も高く 66%、次いで香芝市総合体育館が 58%となっています。屋内施設の方が利用が高い傾向にあり、屋外施設の中でも比較的テニスコートの利用が高くなっています。スポーツ施設全体の稼働率は 47%です。

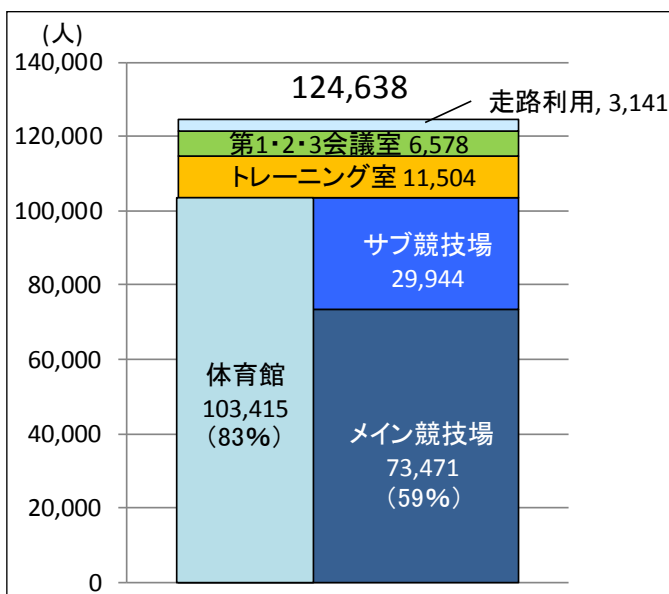
図表 施設別稼働率（平成 25 年度）



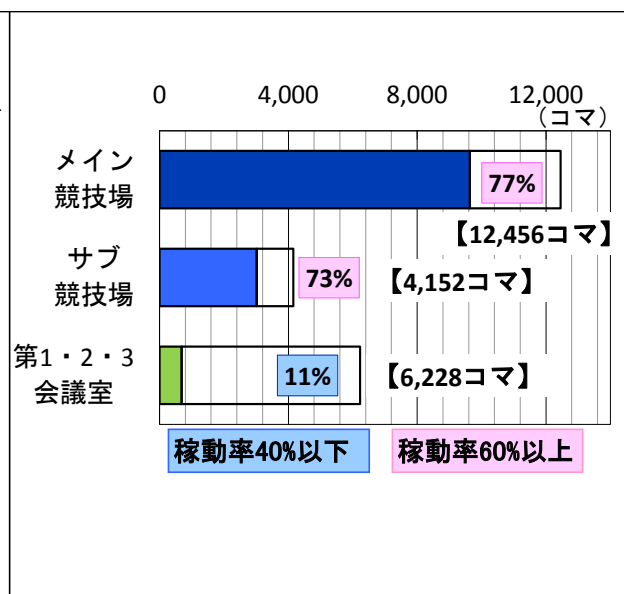
■ 香芝市総合体育館の利用状況

香芝市総合体育館の部屋別の利用者数をみると、体育館機能の利用者が 10 万 3,415 人で約 83%を占めています。部屋別の稼働率をみても、メイン競技場は 77%、サブ競技場は 73%と稼働率が高くなっています。会議室機能の利用者数は 6,578 人（約 5%）、稼働率は 11%と、利用が低くなっています。

図表 総合体育館・部屋別利用者数（平成 25 年度）



図表 総合体育館・部屋別稼働率（平成 25 年度）



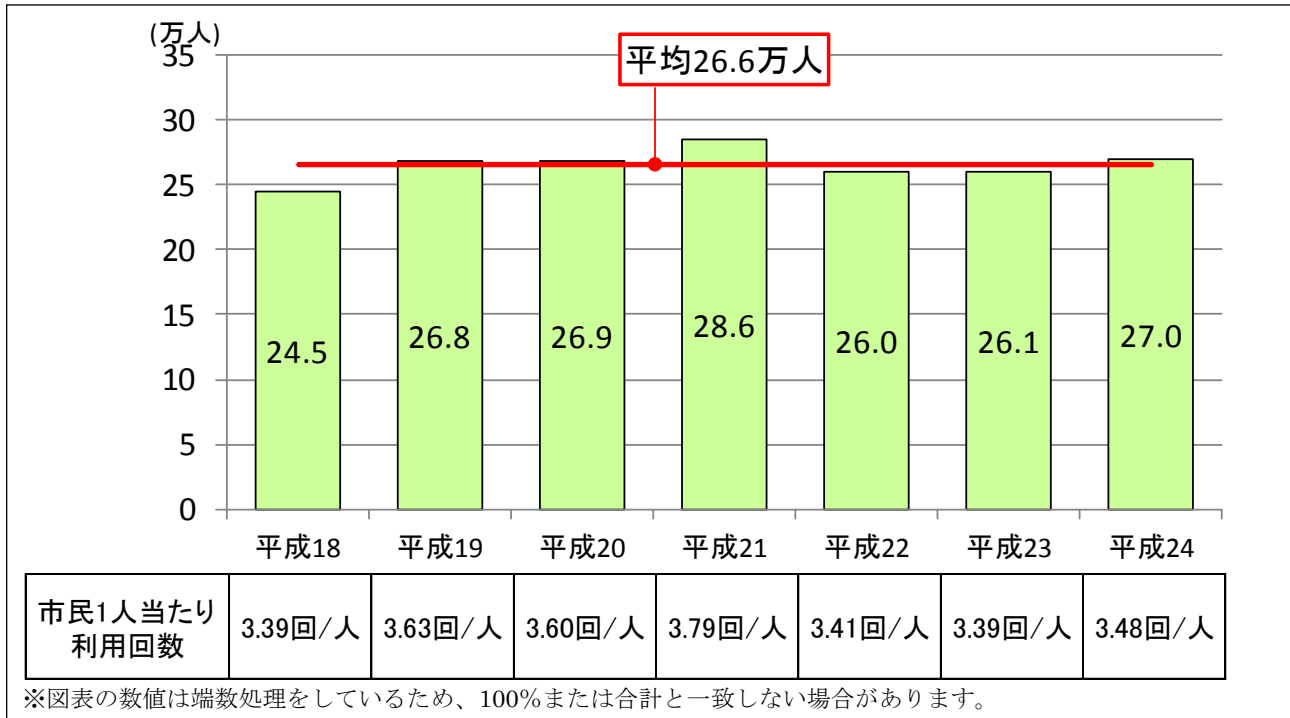
※図表の数値は端数処理をしているため、100%または合計と一致しない場合があります。

■ 利用推移

利用者数の推移をみると、平成 18 年度の 24.5 万人から、平成 24 年度の 27.0 万人へ、24 万人から 29 万人の間で推移しています。平均すると 26.6 万人となっています。

市民 1 人当たりの利用回数は、平成 21 年度の 3.79 回/人をピークに、平成 24 年度は 3.48 回/人と、微減の傾向にあります。

図表 年間利用者数の推移（各年度 3 月末日人口）



③コスト状況

スポーツ施設の年間総コストは、1億2,234万円です。

年間総コストのうち、維持管理費（修繕料、建物管理委託料等）は571万円（5%）、指定管理料は6,727万円（55%）、減価償却費は4,930万円です。

図表 スポーツ施設 施設経費計算書（平成24年度）

I. 現金収支を伴うもの

【コストの部】

		香芝市 総合体育館	香芝市北部 地域体育館	総合プール	合計
維持管理費	燃料費・光熱水費	0	0	0	0
	修繕料・役務費	576,450	0	865,305	1,441,755
	建物管理委託料	0	0	357,000	357,000
	使用料・賃借料	0	0	0	0
	工事請負費	0	0	3,913,350	3,913,350
	備品購入費その他	0	0	0	0
維持管理費計		576,450	0	5,135,655	5,712,105
事業費	人件費	0	0	0	0
	その他事業運営費	37,589	22,411	0	60,000
	事業運営費計	37,589	22,411	0	60,000
指定管理料		46,259,612	6,340,388	14,667,555	67,267,555
現金収支を伴うコスト計		46,873,651	6,362,799	19,803,210	73,039,660

(円)

【収益の部】

収入	使用料	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
収益計		0	0	0	0

II. 現金収支を伴わないもの

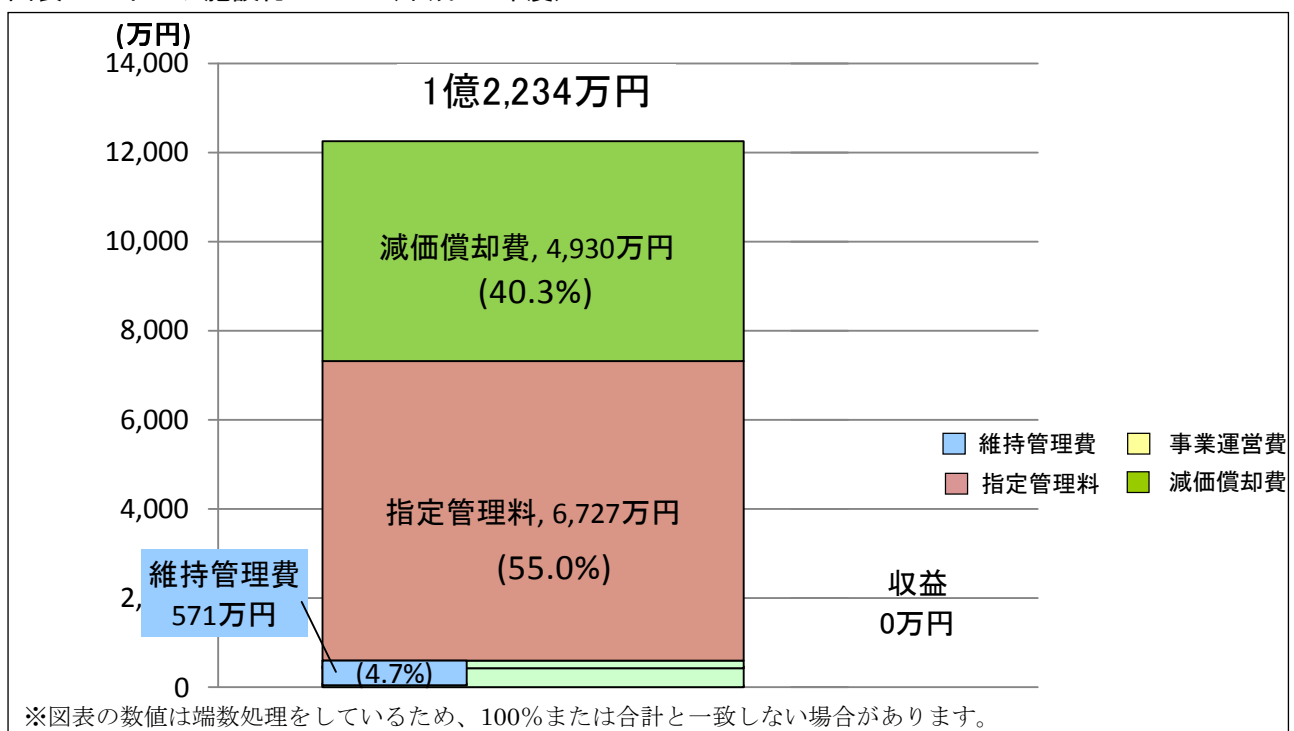
【コストの部】

コスト	減価償却費	40,937,890	4,798,459	3,562,272	49,298,621
-----	-------	------------	-----------	-----------	------------

III. 総括

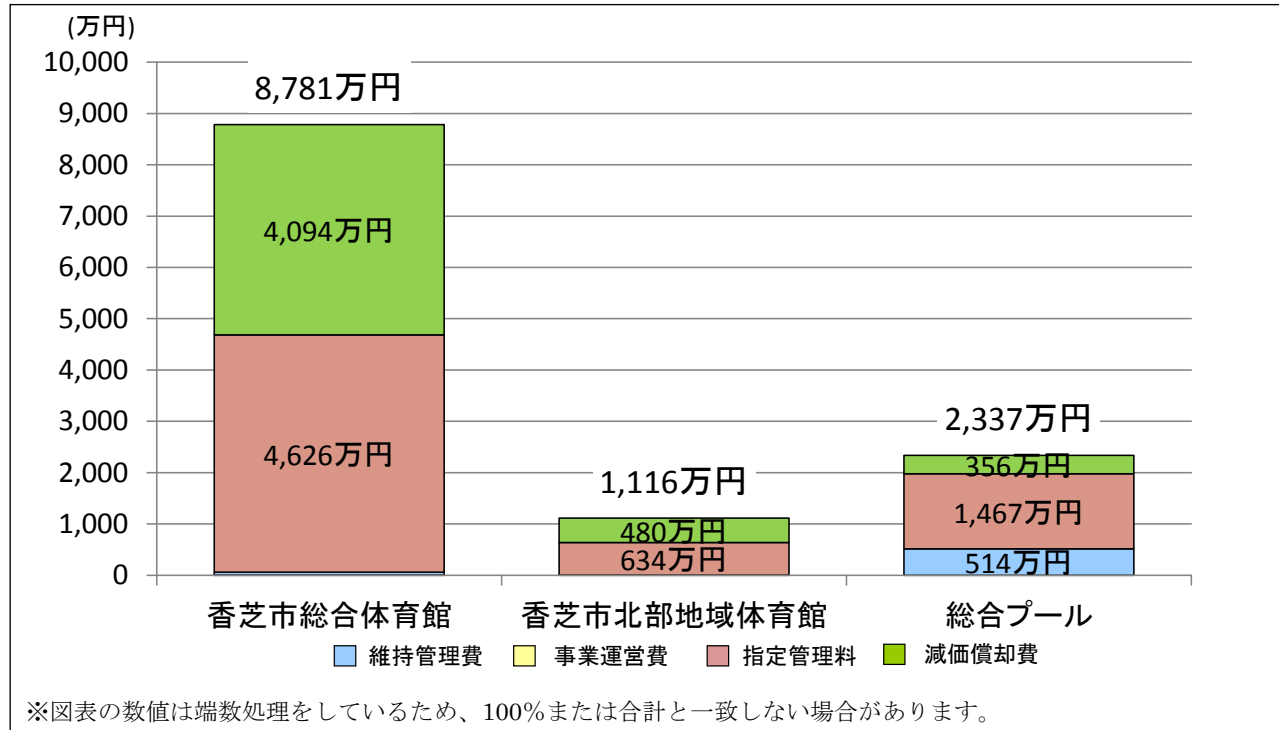
コストの部合計（総コスト）	87,811,541	11,161,258	23,365,482	122,338,281
収支差額	87,811,541	11,161,258	23,365,482	122,338,281

図表 スポーツ施設総コスト（平成24年度）



施設別の総コストをみると、北部地域体育館の1,116万円から、総合体育館の8,781万円となっています。

図表 施設別総コスト（平成24年度）



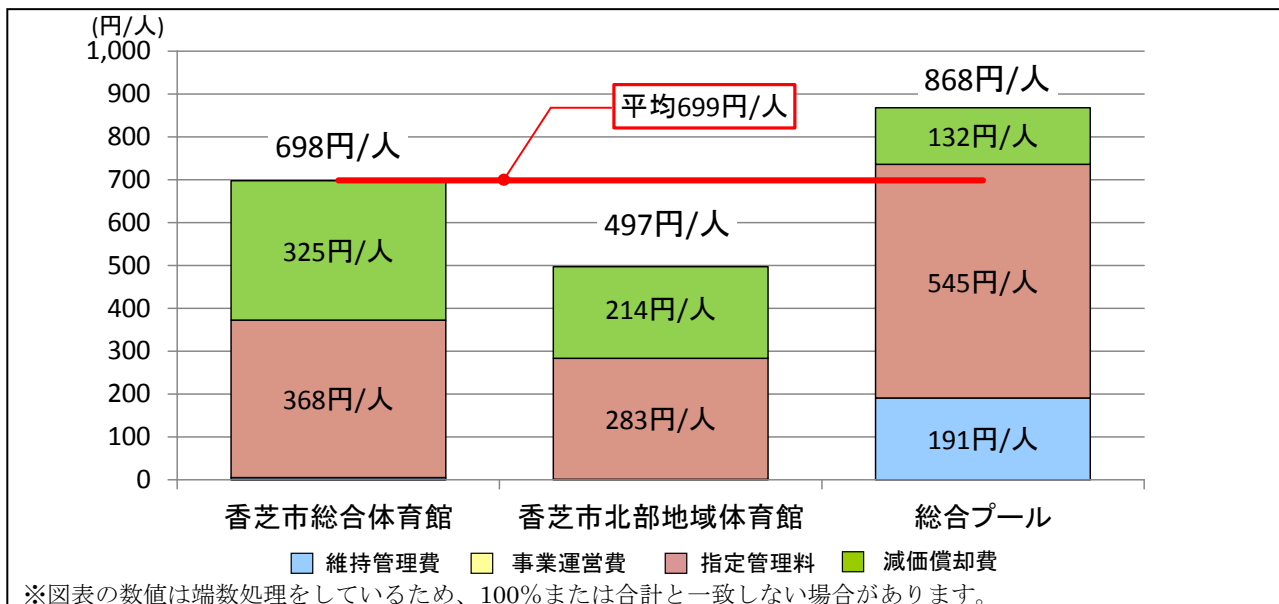
■ 評価・分析

<利用者1人当たりにかかるコスト／利用1件当たりにかかるコスト>

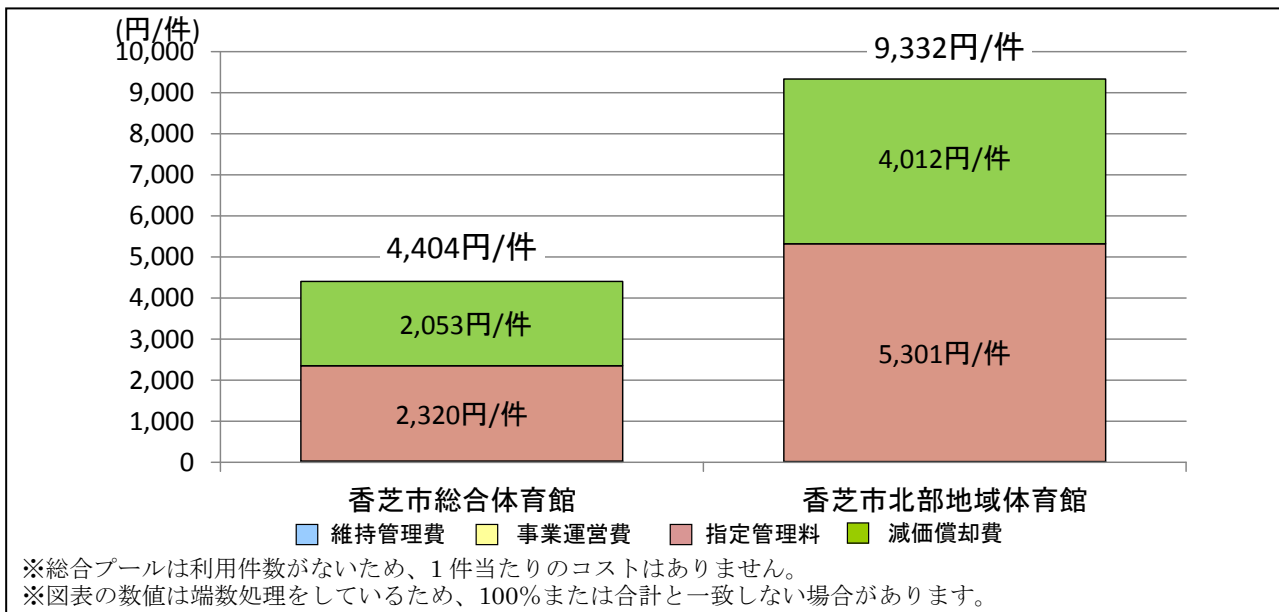
年間利用者数と総コストから利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、総合体育館が698円/人、北部地域体育館が497円/人、総合プールが868円/人となっており、平均すると699円/人となっています。

年間利用件数と総コストから利用1件当たりにかかるコストを算出すると、総合体育館が4,404円/件、北部地域体育館が9,332円/件となっています。

図表 利用者1人当たりにかかるコスト(平成24年度)



図表 利用1件当たりにかかるコスト(平成24年度)



④現状及び課題

- 3施設とも築30年以上経過しており、老朽化が懸念される。
- 香芝市総合体育館は耐震化未実施。
- 体育館機能の稼働率は高い一方、会議・集会機能の稼働率は低い。
- 方針を考える上で、今後整備予定のスポーツ公園についても同時に検討する必要がある。

2) 野外活動センター

①施設概要

本市では、青少年の野外活動を通して、自然とふれあい、仲間づくりを大切に、豊かな心でたくましい若者を育成することを目的とした野外活動センターが設置されています。

市内の社会教育関係団体（ボーイスカウト、ガールスカウト、子ども会、PTA、スポーツ少年団）等、その他教育委員会が適当と認めた団体が使用できますが、使用1ヶ月前にて使用団体がいない場合は、市内在住で18歳未満のお子様がいる家族も使用が可能となっています。

テントサイト、かまど、洗い場、トイレ、ファイヤー場が設置されています。

運営は市の直営となっています。

図表 施設一覧

小学校区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる建 物)	備考
旭ヶ丘	1 野外活動センター	上中1045-1	144.0	平成9	S	

<運営時間等>

運営時間	休館日	運営日数
午前10時から午後9時30分	年末年始 ※3月第3土曜日から5月GWまでは一般開放期間	282日

②利用状況

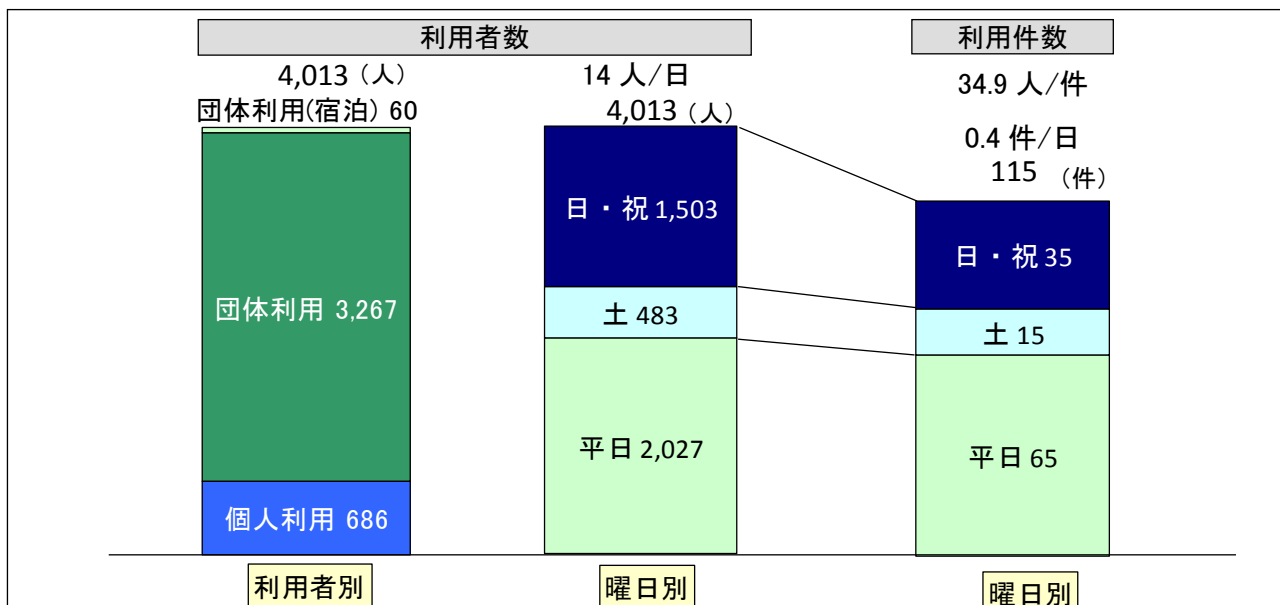
■ 全体の利用状況

平成24年度の野外活動センターの年間利用件数は115件、利用者数は4,013人となっています。1日当たりの利用件数は0.4件/日、1日当たりの利用者数は14人/日です。1件当たりの利用者数は34.9人/件です。

利用者別にみると、団体利用者が3,267人(81%)、宿泊の団体利用者が60人(1%)となっており、個人利用者が686人(17%)となっています。

曜日別にみると、平日の利用が2,027人(51%)で65件、土曜日の利用が483人(12%)で15件、日曜・祝日の利用は1,503人(37%)で35件となっています。

図表 曜日別利用者数・利用件数(平成24年度)



③コスト状況

野外活動センターの年間総コストは、199万円です。

年間総コストのうち、維持管理費（建物管理委託料、使用料・賃借料等）は184万円（92%）、減価償却費は16万円です。

図表 野外活動センター 施設経費計算書

(平成24年度)

I. 現金収支を伴うもの

【コストの部】 (円)

		野外活動センター
維持管理費	燃料費・光熱水費	0
	修繕料・役務費	0
	建物管理委託料	364,800
	使用料・賃借料	1,473,063
	工事請負費	0
	備品購入費その他	0
	維持管理費計	1,837,863
事業運営費	人件費	0
	その他事業運営費	0
	事業運営費計	0
指定管理料		0
現金収支を伴うコスト計		1,837,863

【収益の部】

収入	使用料	0
	その他	0
収益計		0

II. 現金収支を伴わないもの

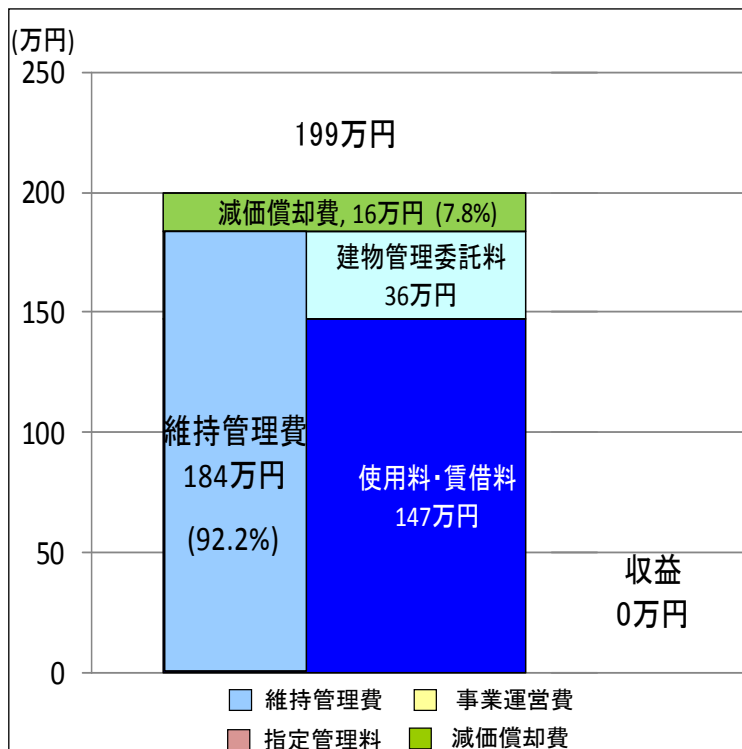
【コストの部】

コスト	減価償却費	155,129
-----	-------	---------

III. 総括

コストの部合計(総コスト)	1,992,992
収支差額	1,992,992

図表 野外活動センター 総コスト (平成24年度)



※図表の数値は端数処理をしているため、100%または合計と一致しない場合があります。

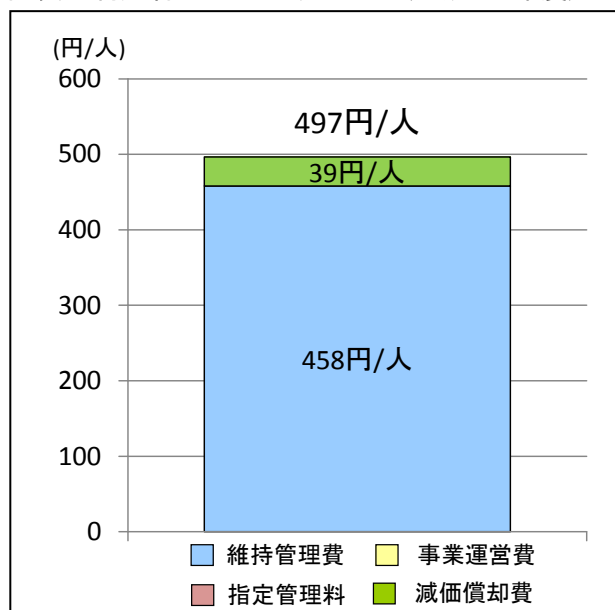
■ 評価・分析

<利用者1人当たりにかかるコスト／利用1件当たりにかかるコスト>

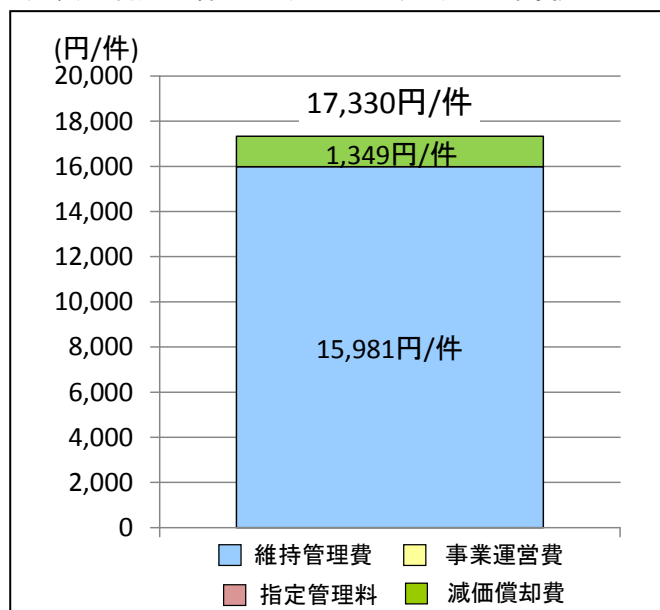
年間利用者数と総コストから利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、497円/人となっています。

年間利用件数と総コストから利用1件当たりにかかるコストを算出すると、1万7,330円/件となっています。

図表 利用者1人当たりコスト(平成24年度)



図表 利用1件当たりコスト(平成24年度)



※図表の数値は端数処理をしているため、100%または合計と一致しない場合があります。

(4) 保健福祉施設

1) 保健センター

①施設概要

香芝市保健センターは、乳幼児からお年寄りまで、住民の健康管理を行うため、乳幼児健診や生活習慣病健診等の各種健康診査。病気の早期発見のための各種検診等や、心の健康相談室や乳幼児相談等の健康相談、栄養指導相談、予防接種などを行い、市民の健康保持及び増進に寄与するとともに、市民の健康づくりへの意識向上を図ることを目的として設置されています。また、妊産婦向け事業や子育て支援事業として、母親教室、妊産婦・新生児訪問指導、子育て交流会等も実施しています。

図表 施設一覧

小学校区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる建 物)	備考
下田	1 香芝市保健センター	逢坂一丁目506番地1	1,996.4	平成24	RC	・心の健康相談室 78.8㎡

<開館時間等> (平成 25 年度)

開館時間	休館日	開館日数
午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分	土・日・祝・年末年始(12月29日～1月3日) 但し健診等により開館していることがあります。	244 日

②利用状況

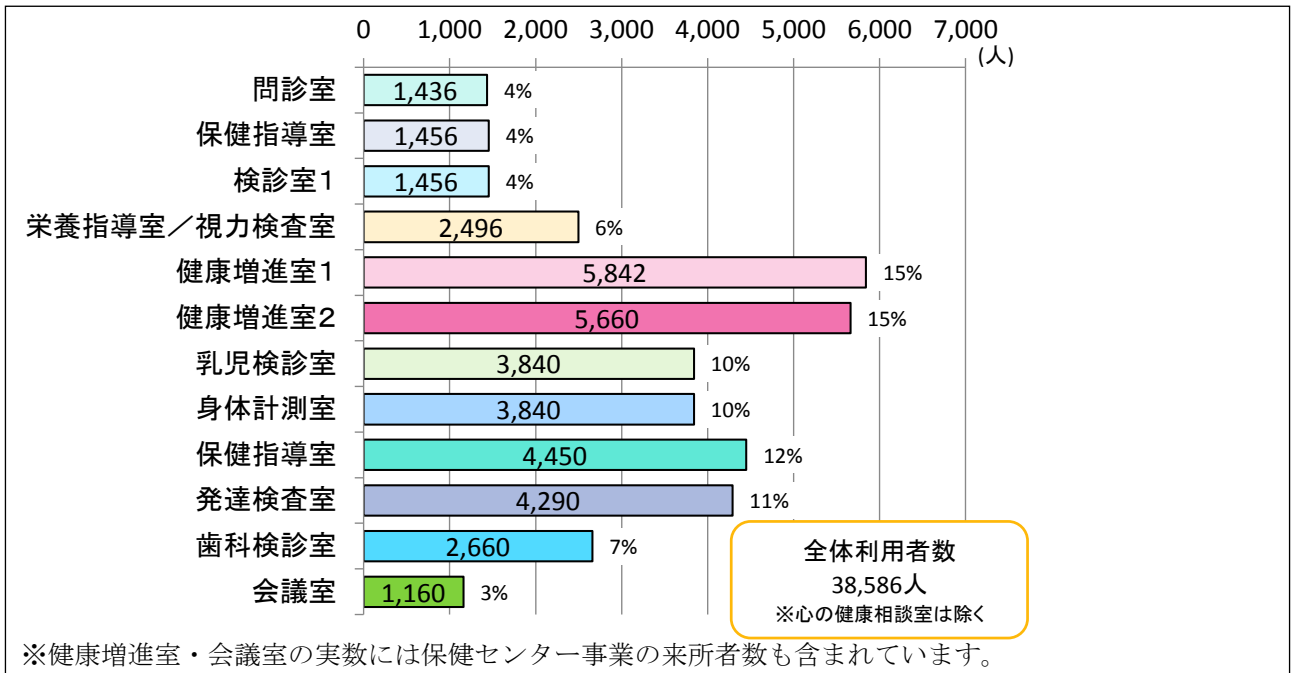
■ 年間利用件数・年間利用者数

年間利用者数は3万8,586人となっています。

部屋別の利用者数で見ると、発達検査室や乳児検診施設等の子育てに関する部屋の利用が比較的高くなっています。

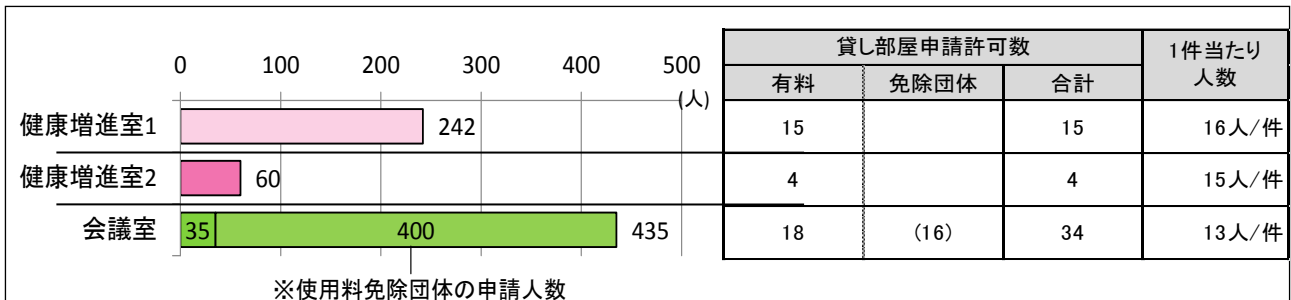
健康増進室、会議室は貸し部屋となっていますが、健康増進室は主に保健センター事業での利用が多くなっています。会議室の利用者数は、約6割が保健センター事業の来所者であり、貸し部屋としては主に使用料免除団体が使用しています。

図表 部屋別 年間利用者数（平成25年度）



※図表の数値は端数処理をしているため、100%または合計と一致しない場合があります。

図表 貸し部屋 使用人数（平成25年度）



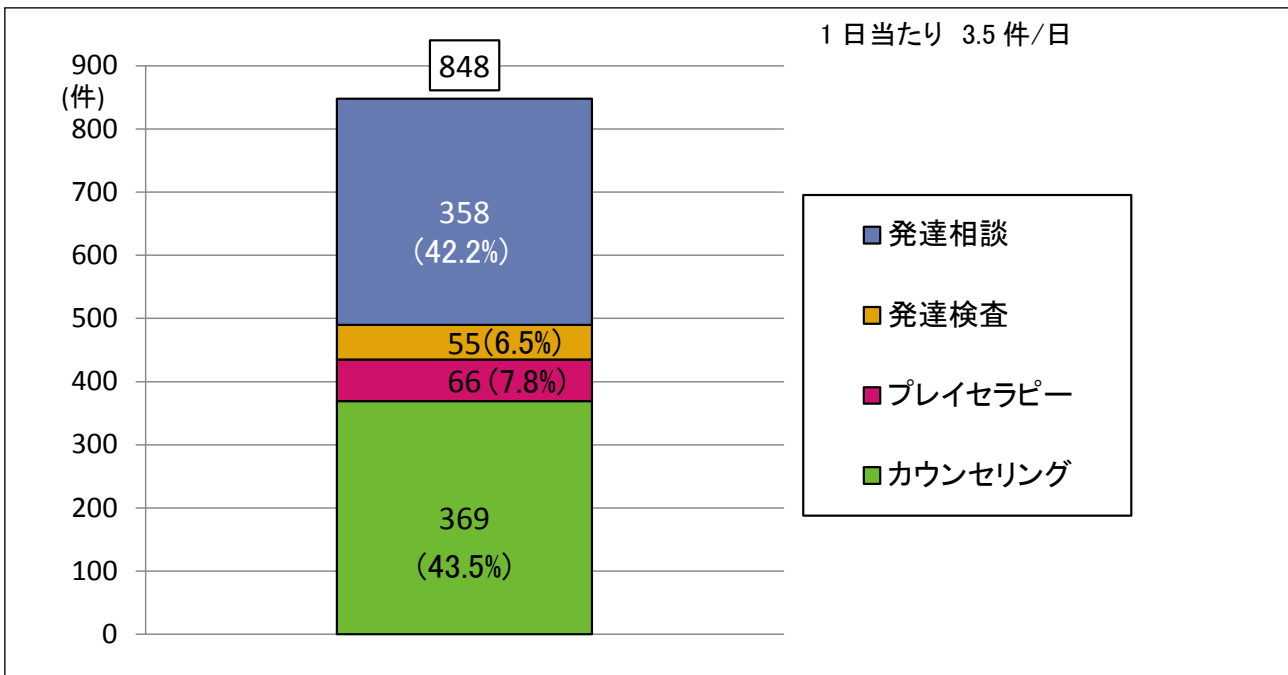
■ 心の健康相談室利用状況

心の健康相談室の利用件数をみると、年間の利用件数は 848 件となっています。そのうちカウンセリング等の利用は 369 件（44%）、プレイセラピー66 件（8%）、発達相談が 358 件（42%）、発達検査が 55 件（7%）です。

カウンセリングの利用件数が最も多く、次いで発達相談の利用となっており、合わせて 80% 以上を占めています。

1 日当たりの利用件数は 3.5 件/日、相談室は 6 室あり、その内訳は相談室 3 室、プレイルーム 2 室、コンサルテーション室 1 室となっています。

図表 心の健康相談室利用状況（平成 25 年度）



※図表の数値は端数処理をしているため、100%または合計と一致しない場合があります。

④コスト状況

香芝市保健センターの年間総コストは、2億1,773万円です。

年間総コストのうち、維持管理費(光熱水費、修繕料、建物管理委託料等)は2,813万円(13%)、事業運営費(人件費、その他事業運営費等)は1億7,892万円(82%)、減価償却費は1,067万円です。年間総コストのうち、心の健康相談室事業にかかるコストは1,103万円(5%)です。当該施設から検診等の手数料として年間225万円の収入があります。

図表 香芝市保健センター 施設経費計算書(平成25年度)

I. 現金収支を伴うもの (円)

【コストの部】		香芝市保健センター	心の健康相談室	合計
維持管理費	燃料費・光熱水費	2,303,478	94,557	2,398,035
	修繕料・役務費	146,460	0	146,460
	建物管理委託料	21,700,780	890,808	22,591,588
	使用料・賃借料	1,945,334	79,855	2,025,189
	工事請負費	0	393,750	393,750
	備品購入費その他	330,000	249,692	579,692
	維持管理費計	26,426,052	1,708,662	28,134,714
事業費	人件費	139,256,019	0	139,256,019
	その他事業運営費	30,763,227	8,903,830	39,667,057
	事業運営費計	170,019,246	8,903,830	178,923,076
指定管理料	0	0	0	
現金収支を伴うコスト計	196,445,298	10,612,492	207,057,790	

【収益の部】

収入	使用料	15,600	0	15,600
	その他	1,990,200	246,000	2,236,200
収益計		2,005,800	246,000	2,251,800

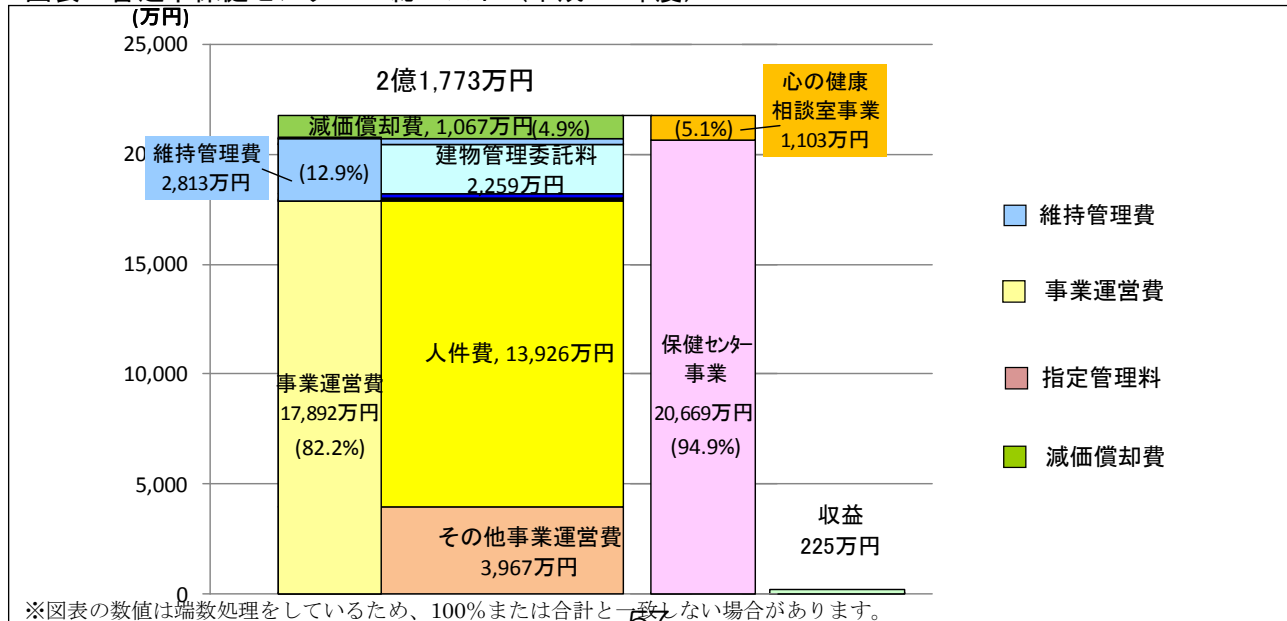
II. 現金収支を伴わないもの

【コストの部】		香芝市保健センター	心の健康相談室	合計
コスト	減価償却費	10,248,945	420,687	10,669,632

III. 総括

コストの部合計(総コスト)	206,694,243	11,033,179	217,727,422
収支差額	204,688,443	10,787,179	215,475,622

図表 香芝市保健センター 総コスト(平成25年度)



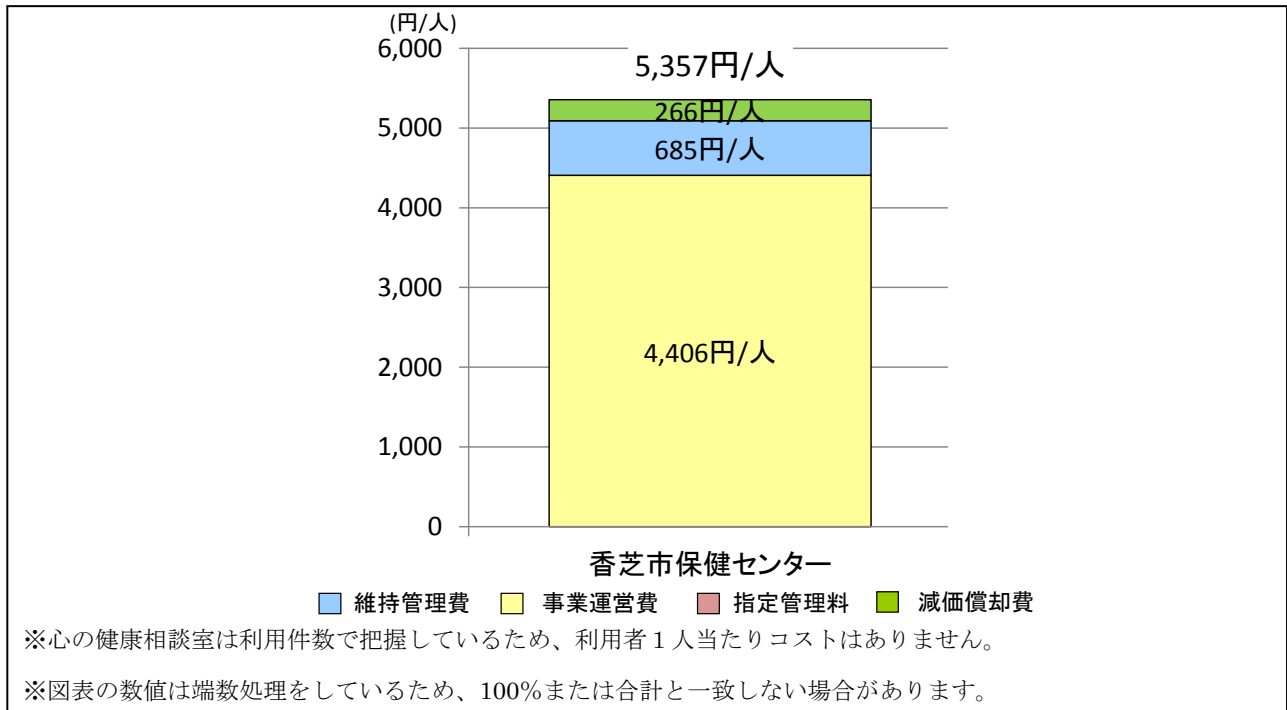
■ 評価・分析

<利用者1人当たりにかかるコスト／利用1件当たりにかかるコスト>

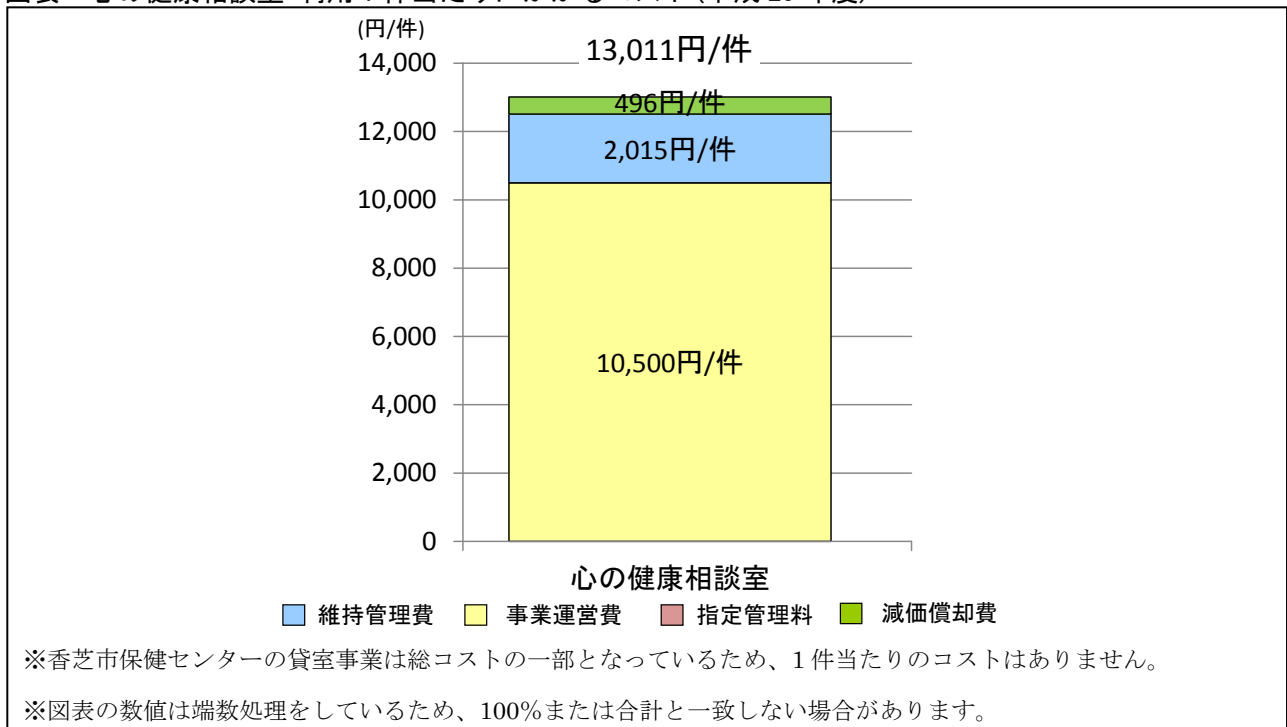
香芝市保健センターの年間利用者数と総コストから利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、5,357円/人となっています。

心の相談室の年間利用件数と総コストから利用1件当たりにかかるコストを算出すると、1万3,011円/件となっています。

図表 香芝市保健センター 利用者1人当たりにかかるコスト(平成25年度)



図表 心の健康相談室 利用1件当たりにかかるコスト(平成25年度)



2) 総合福祉センター

①施設概要

市民の福祉及び健康の増進を図るとともに、世代間のふれあいと憩いの場を提供し、もって社会福祉の推進に寄与するため、香芝市総合福祉センターが設置されています。

香芝市総合福祉センターでは、多目的室、視聴覚室、会議室等の貸室機能の他、ゲートボール場、かしば・屯鶴峯温泉が併設されています。

図表 施設一覧

小学校区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる 建物)	機能							備考		
						多 目 的 室	視 聴 覚 室	工 芸 室	創 作 室	増 進 室	健 康 室	実 習 室		会 議 室	ゲ ー ト ボ ー ル 場
下田	香芝市 総合福祉センター	逢坂一丁目374番 地1	8,837.37	平成10	RC	●	●	●	●	●	●	●	●	●(889㎡)	

<開館時間等> (平成 25 年度)

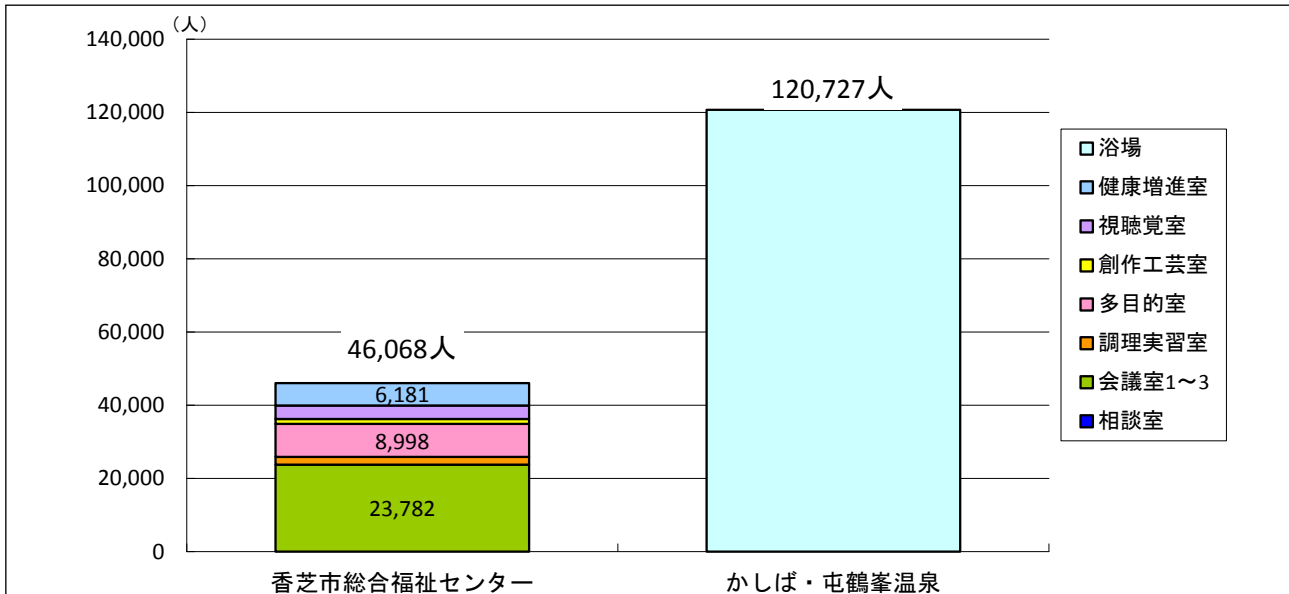
施設名	開館時間	休館日	開館日数
総合福祉 センター (行政)	午前 8 時 30 分から 午後 5 時 15 分	毎週土・日曜・祝日及び年末・年始	244 日
総合福祉 センター (貸室)	午前 9 時から午後 5 時	建国記念の日、春分の日、昭和の日、こどもの日、海の日、秋分の日、勤労感謝の日、年末年始	352 日
かしば・ 屯鶴峯温泉	午前 11 時から午後 8 時 (受付終了午後 7 時 30 分)	毎週木曜日 建国記念の日、春分の日、昭和の日、こどもの日、海の日、秋分の日、勤労感謝の日 12 月 28 日から翌年 1 月 4 日までの期間 ※設備点検のため臨時休業有り	295 日

②利用状況

■ 年間利用利用者数

香芝市総合福祉センターの利用者数は4万6,068人、かしば・屯鶴峯温泉の利用者数は12万727人となっています。

図表 年間利用者数（平成25年度）

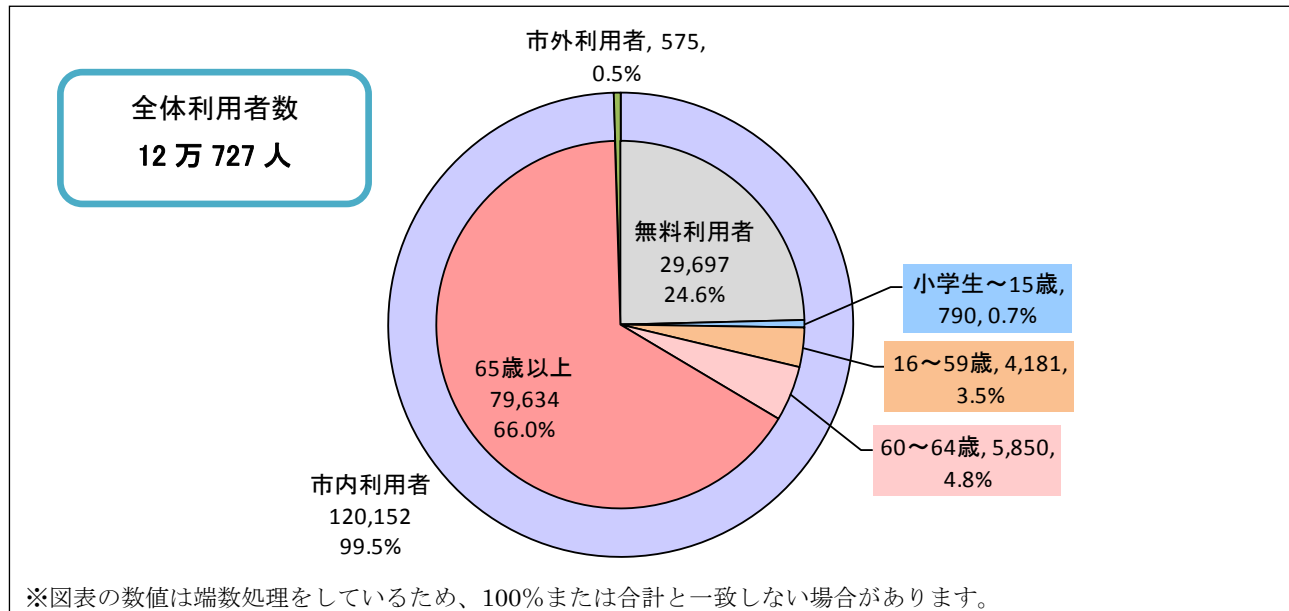


■ かしば・屯鶴峯温泉の年間利用者内訳

かしば・屯鶴峯温泉の利用者の内訳をみると、市内の利用者が12万152人（97.5%）となっています。市外の利用者は575人（0.5%）です。

市内利用者の中でも、特に65歳以上の利用者が多く、7万9,634人で66.0%を占めています。また、幼児や身体障害者手帳等の保持者等の無料利用者は2万9,697人（24.6%）となっています。

図表 かしば・屯鶴峯温泉利用者の内訳（平成25年度）



※図表の数値は端数処理をしているため、100%または合計と一致しない場合があります。

■ 総合福祉センター 部屋別の利用状況

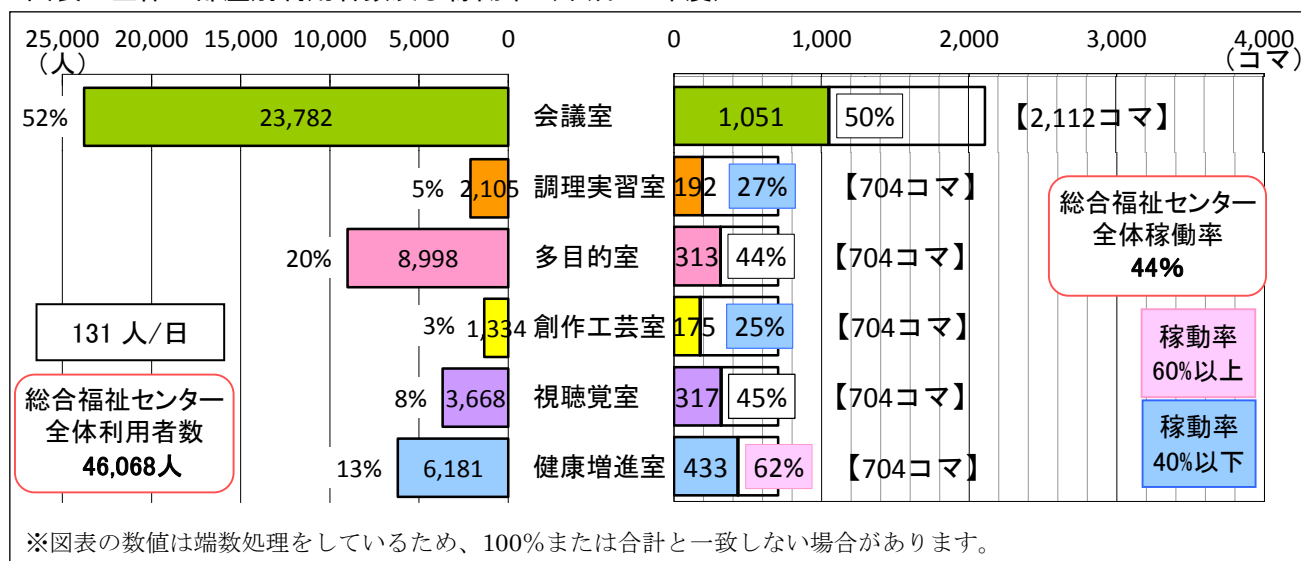
総合福祉センターの部屋別の利用者数をみると、会議室(※)の利用が最も多く、2万3,782人で全体の52%、次いで多目的室の利用者数が8,998人(20%)、健康増進室が6,181人(13%)となっています。

部屋別の稼働率をみると、健康増進室の稼働率が最も高く62%、次いで会議室が50%、視聴覚室が45%、多目的室が44%となっています。施設全体の稼働率は44%です。

一日当たりの利用人数は約131人/日となっています。

※会議室1~3の合計

図表 全体・部屋別利用者数及び稼働率(平成25年度)



③コスト状況

総合福祉センターの年間総コストは、2億106万円です。

年間総コストのうち、維持管理費（修繕料、光熱水費等）は1億2,866万円（64%）、事業運営費（人件費、その他委託費等）は856万円（4%）、減価償却費は6,384万円です。当該施設から年間2,635万円の収入があります。

図表 総合福祉センター 施設経費計算書（平成24年度）

I. 現金収支を伴うもの

【コストの部】		(円)		
		香芝市総合福祉センター	かしば・屯鶴峯温泉	合計
維持管理費	燃料費・光熱水費	38,004,133	4,029,185	42,033,318
	修繕料・役務費	0	352,275	352,275
	建物管理委託料	48,483,800	5,422,759	53,906,559
	使用料・賃借料	4,560,083	510,031	5,070,114
	工事請負費	23,979,089	2,681,985	26,661,074
	備品購入費その他	576,965	64,532	641,497
	維持管理費計	115,604,070	13,060,767	128,664,837
事業費	人件費	0	0	0
	その他事業運営費	7,954,496	601,734	8,556,230
	事業運営費計	7,954,496	601,734	8,556,230
指定管理料		0	0	0
現金収支を伴うコスト計		123,558,566	13,662,501	137,221,067

【収益の部】

収入	使用料	4,251,690	20,474,260	24,725,950
	その他	1,401,131	221,200	1,622,331
収益計		5,652,821	20,695,460	26,348,281

II. 現金収支を伴わないもの

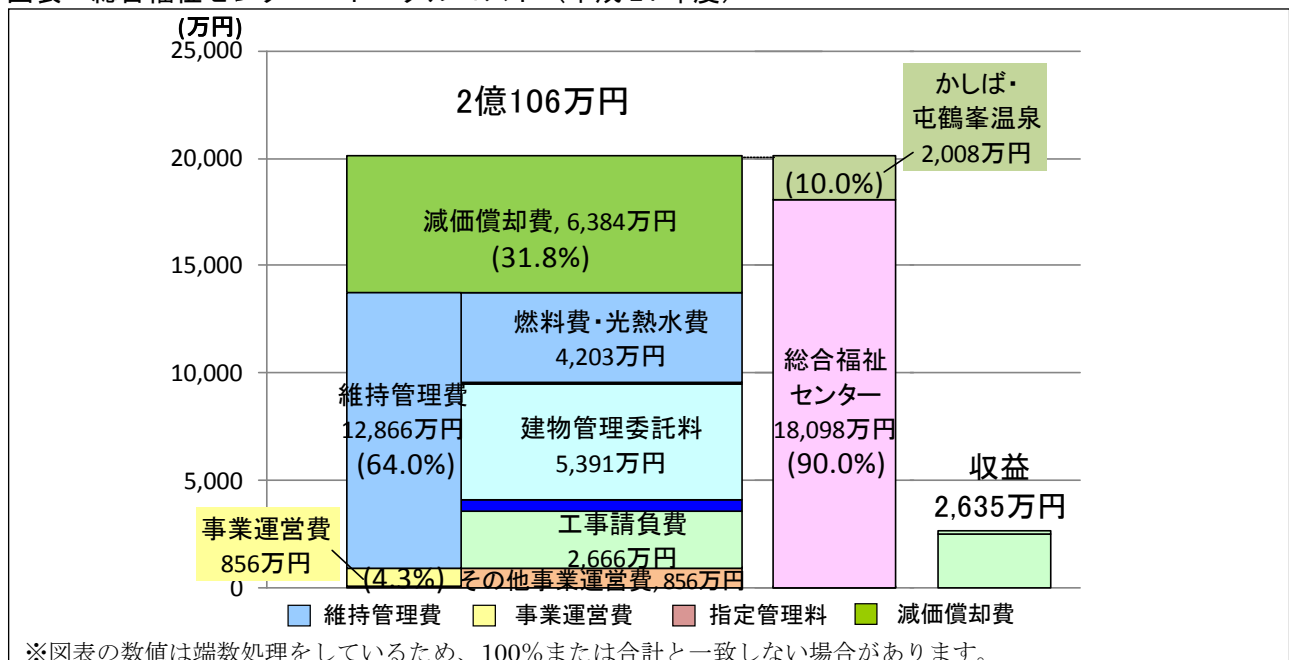
【コストの部】

コスト	減価償却費	57,420,042	6,422,293	63,842,335
-----	-------	------------	-----------	------------

III. 総括

コストの部合計（総コスト）	180,978,608	20,084,794	201,063,402
収支差額	175,325,787	(610,666)	174,715,121

図表 総合福祉センター トータルコスト（平成24年度）

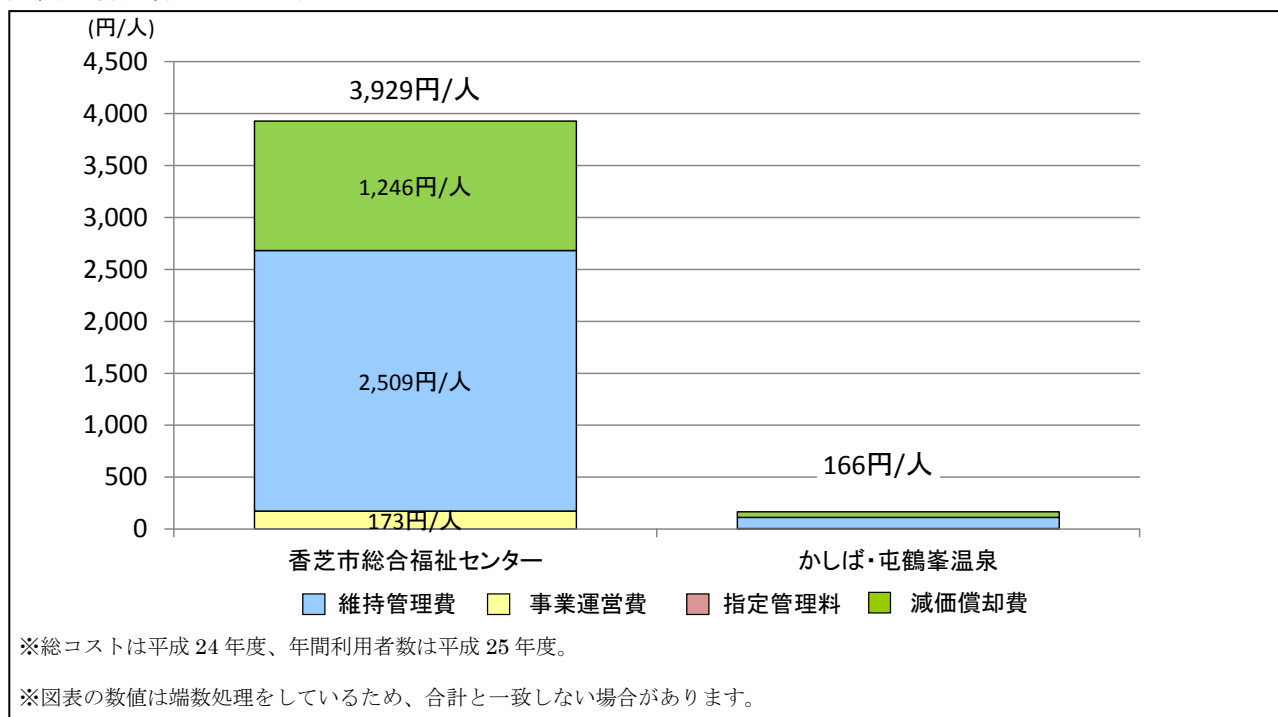


■ 評価・分析

＜利用者1人当たりにかかるコスト＞

年間利用者数と総コストから利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、香芝市総合福祉センターが3,929円/人、かしば・屯鶴峯温泉が166円/人となっています。

図表 利用者1人当たりにかかるコスト※



(5) 子育て支援施設

1) 保育所・幼稚園

① 施設概要

■ 保育所

本市では、市立保育所を6施設設置しており、延床面積は4,788㎡です。

施設別の延床面積は、みつわ保育所の564㎡から若葉保育所の1,051㎡となっています。市立保育所全体の認可定員は720人で、平成26年4月1日の入所園児数は809人、入所率は約112%となっています。

私立の保育所(園)は5施設あり、入園園児数は867人、入園率は105%となっています。

図表 施設一覧(平成24年度)

小学校区	名称	所在地	延床面積(㎡)	建築年度(年度)	構造(主たる建物)	入所園児数(H.26.4.1現在)						認可定員(人) A/B	入園率 A/B	備考	
						0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳				
市立	五位堂 1 五位堂保育所	五位堂三丁目464-1	773.1	昭和51	S	9	20	23	26	25	22	125	120	104%	
	下田 2 若葉保育所	下田西二丁目6-27	1,050.7	昭和52	S	8	24	30	38	40	44	184	150	123%	
	三和 3 みつわ保育所	良福寺419	563.7	昭和42	S	7	20	28	28	25	27	135	120	113%	平成28年度建替予定
	二上 4 二上保育所	畑四丁目545	903.8	昭和57	S	9	18	22	30	29	28	136	120	113%	
	志都美 5 志都美保育所	今泉382	570.9	昭和46	S	3	5	17	23	17	16	81	60	135%	平成28年度民営化予定
	真美ヶ丘東 6 真美ヶ丘保育所	真美ヶ丘六丁目9-1	925.3	昭和59	S	8	20	24	30	32	34	148	150	99%	
合計			4,787.51			44	107	144	175	168	171	809	720	112%	
私立	関屋 1 関屋保育所	関屋396										90		平成25年度に民営化	
	鎌田 2 ハルナ保育園	鎌田281-1										197		分園(二上駅前、五位堂)が二ヶ所あり	
	関屋 3 あげぼの・保育学院	関屋北5-8-3										300			
	下田 4 せいか保育園	北今市五丁目508-1										120			
	旭ヶ丘 5 旭ヶ丘せいか保育園	旭ヶ丘一丁目12-2										120			
合計												867	827	105%	

※昭和59: 建築年度の赤字は築30年以上を示す

■ 幼稚園

本市では、市立幼稚園を9園設置しており、延床面積は8,707㎡です。施設別の延床面積は二上幼稚園の597㎡から旭ヶ丘幼稚園の1,448㎡となっています。市立幼稚園全体の認可定員は1,645人で、入所園児数が717人、入園率は約44%となっています。

私立幼稚園は2施設設置されています。

図表 施設一覧（平成24年度）

小学校区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる建 物)	入所園児数 (H.26.5.1) A	認可 定員 B	入園率 A/B	備考	
市立	下田	1 下田幼稚園	下田西二丁目9番23号	1,129.6	昭和45	S	120	210	57%	
	五位堂	2 五位堂幼稚園	五位堂二丁目345番地の1	868.2	昭和46	S	68	140	49%	
	二上	3 二上幼稚園	畑四丁目608番地	597.2	昭和47	S	109	140	78%	
	志都美	4 志都美幼稚園	今泉78番地	729.1	昭和48	S	38	140	27%	平成27年度までに耐震化実施予定
	関屋	5 関屋幼稚園	関屋北五丁目6番4号	897.7	昭和50	S	44	140	31%	
	三和	6 三和幼稚園	良福寺666番地	975.4	昭和50	S	65	175	37%	
	真美ヶ丘東	7 真美ヶ丘東幼稚園	真美ヶ丘三丁目3番24号	1,243.0	昭和62	S	126	280	45%	
	鎌田	8 鎌田幼稚園	鎌田364番地の1	818.2	昭和62	S	36	140	26%	
	旭ヶ丘	9 旭ヶ丘幼稚園	旭ヶ丘三丁目11番地の1	1,448.4	平成16	RC	111	280	40%	
合計			8,706.79			717	1,645	44%		
私立	関屋	1 ハルナ幼稚園	上中1176-1							
	下田	2 せいか幼稚園	逢坂四丁目958							

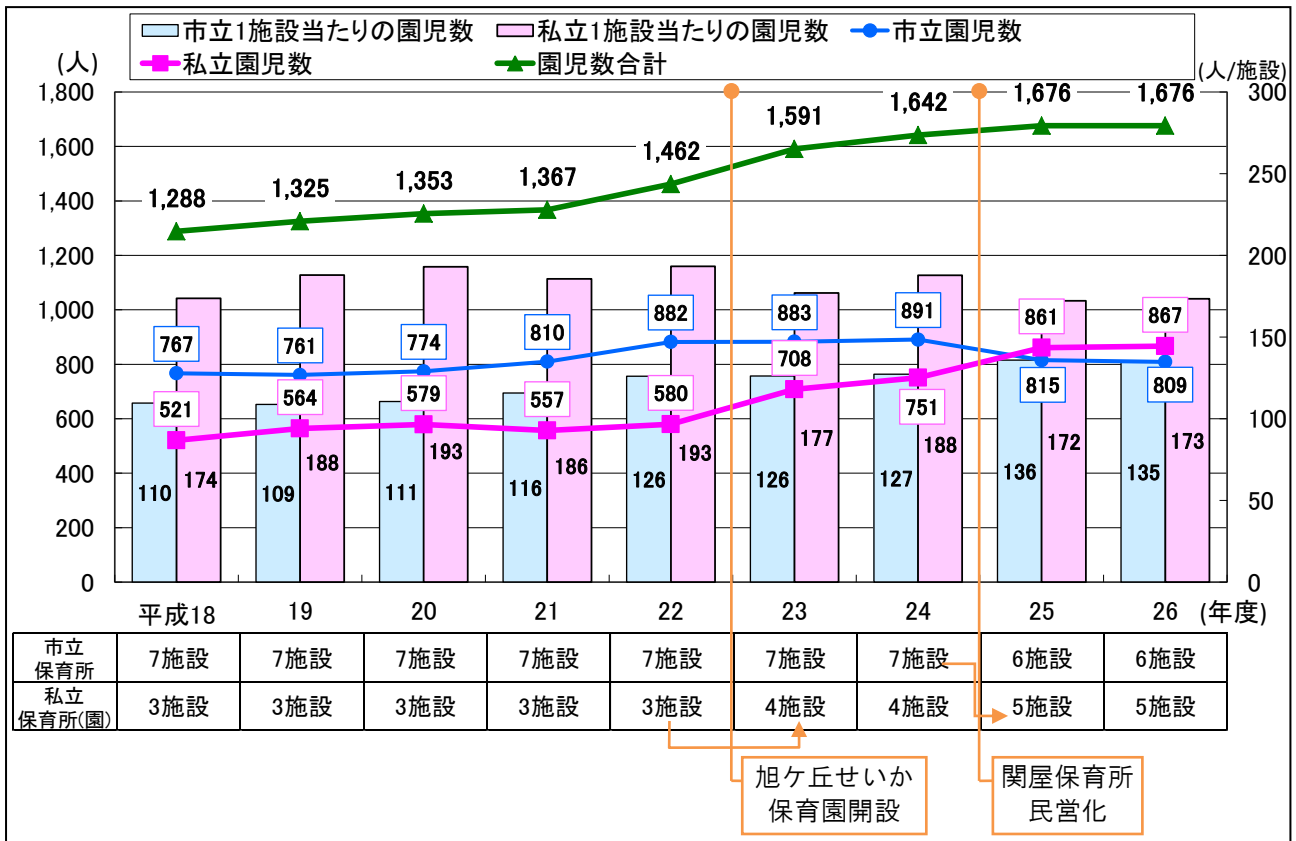
② 利用状況

■ 保育所(園)入所園児数の推移

市立・私立保育所(園)あわせに入所園児数の推移をみると、平成18年度は1,288人でしたが、平成26年度には1,676人まで増加しています。市立保育所の入所園児は平成18年度の767人から平成24年度には891人まで増加しており、平成25年度の関屋保育所民営化によって減少していますが、全体的には増加傾向にあります。私立保育所(園)は、平成23年度の旭ヶ丘せいか保育所の開設により大きく増加し、平成26年度の867人まで増加を続けています。

また、1施設当たりの入所園児数をみると、市立保育所は平成18年度の110人/施設から、平成26年度の135人/施設まで増加しています。私立保育所(園)は平成22年度に193人/施設まで増加しますが、旭ヶ丘せいか保育所の開設や関屋保育所の民営化等により、平成26年度には173人/施設と平成18年度と同程度になっています。

図表 保育所(園)の入所園児数の推移 (各年4月1日現在)



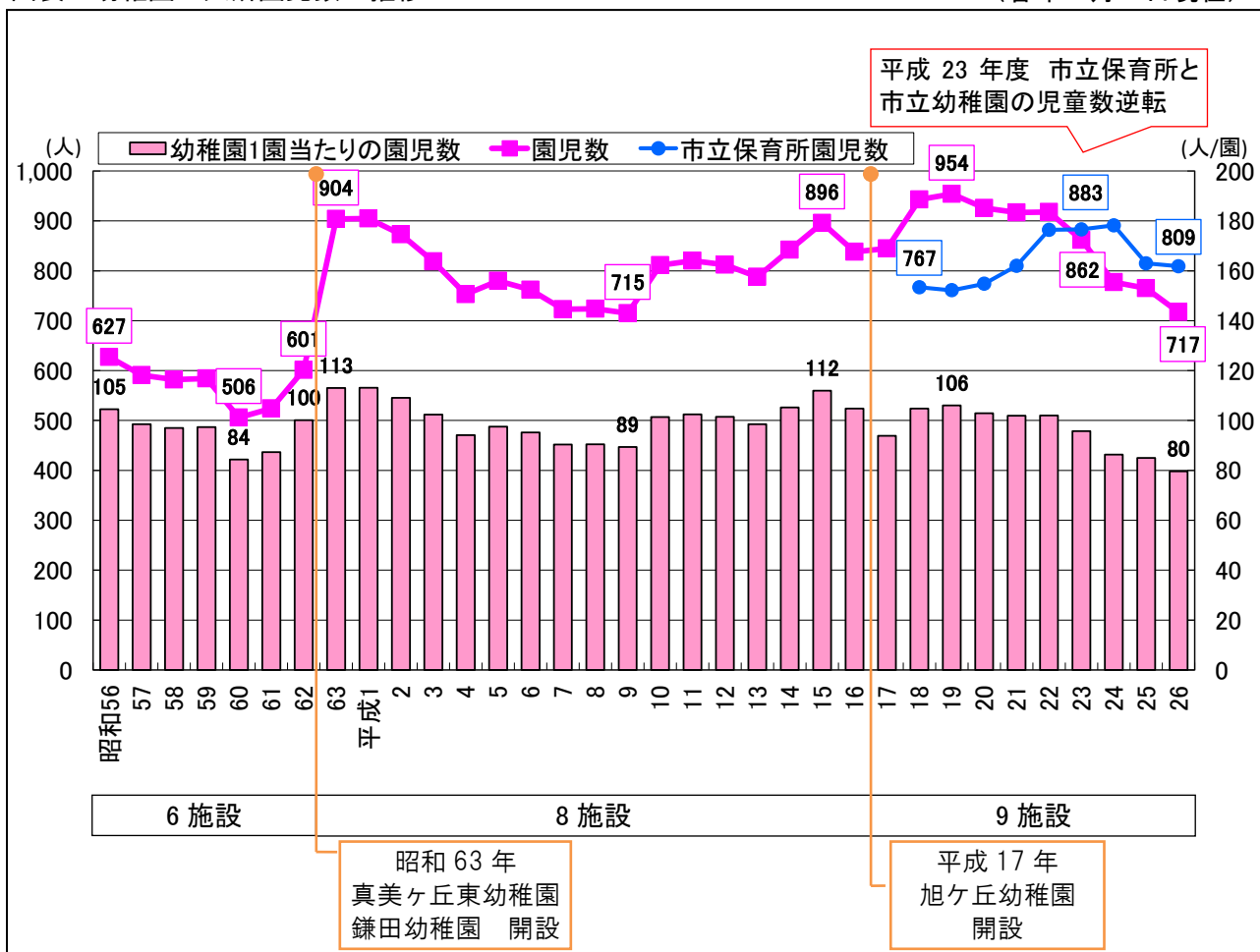
■ 幼稚園の入所園児数の推移

市立幼稚園の入所園児数の推移をみると、昭和 56 年は 627 人でしたが、昭和 63 年に真美ヶ丘東幼稚園、鎌田幼稚園が開設したことにより急増し、平成 17 年の旭ヶ丘幼稚園の開設で平成 19 年に 954 人とピークを迎えますが、その後は減少の傾向にあり、平成 26 年には 717 人となっています。

幼稚園 1 園当たりの園児数の推移をみると、昭和 63 年の 113 人/園がピークとなっており、平成 26 年は 80 人/園まで減少しています。

図表 幼稚園の入所園児数の推移

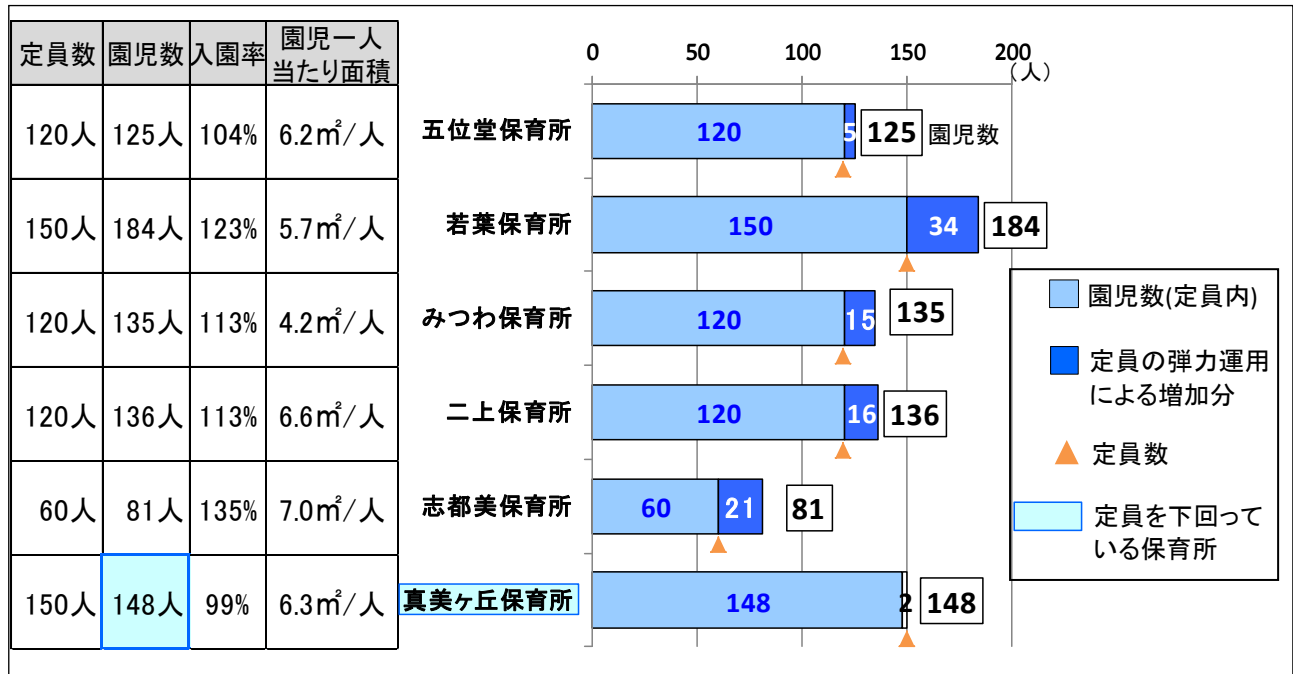
(各年 5 月 1 日現在)



■ 保育所の施設別入園状況

市立保育所の施設別の定員数と園児数は、6施設中5施設が定員を超えており、定員の弾力的運用により運営を行っています。真美ヶ丘保育所は定員を僅かに下回り、入園率は99%となっています。

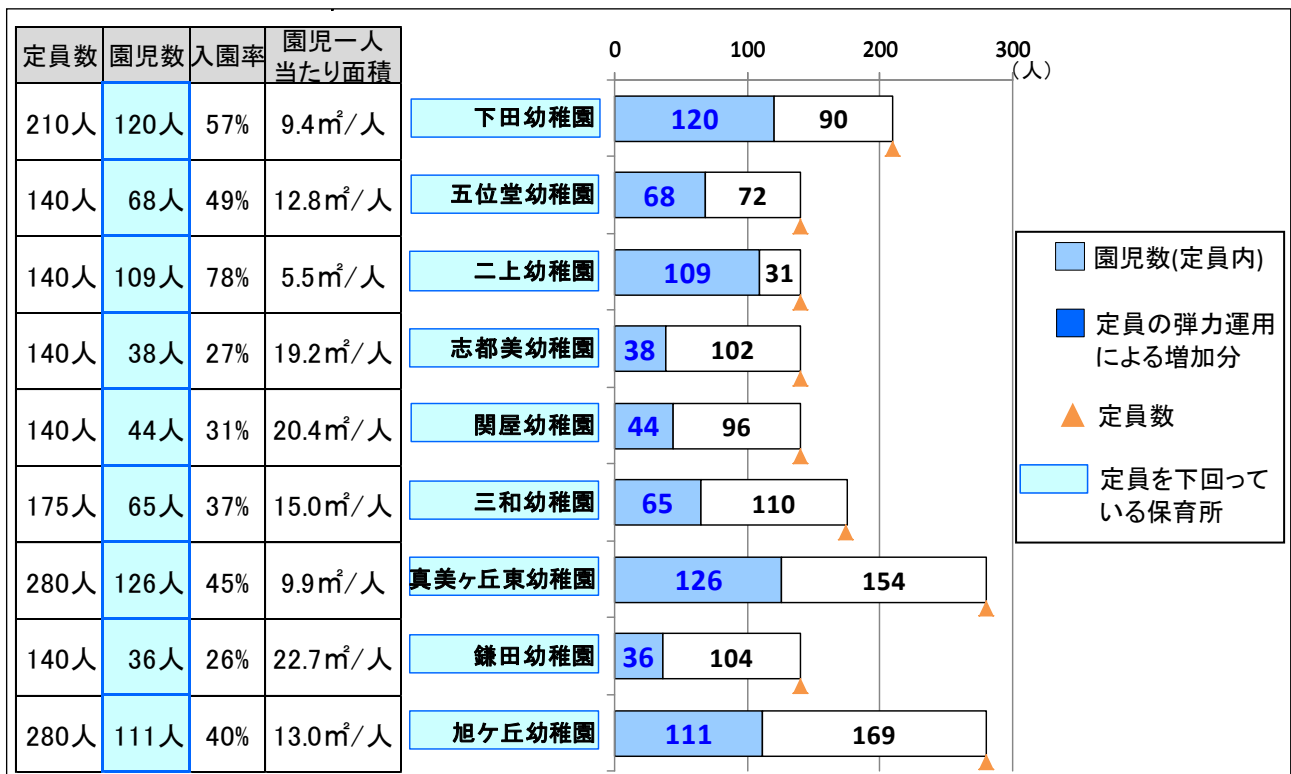
図表 市立保育所の定員及び園児数（平成26年4月1日現在）



■ 幼稚園の施設別入園状況

私立幼稚園の施設別の定員数と園児数をみると、9施設全てで定員数を下回っています。下田幼稚園と二上幼稚園を除き、入園率は半分以下となっています。

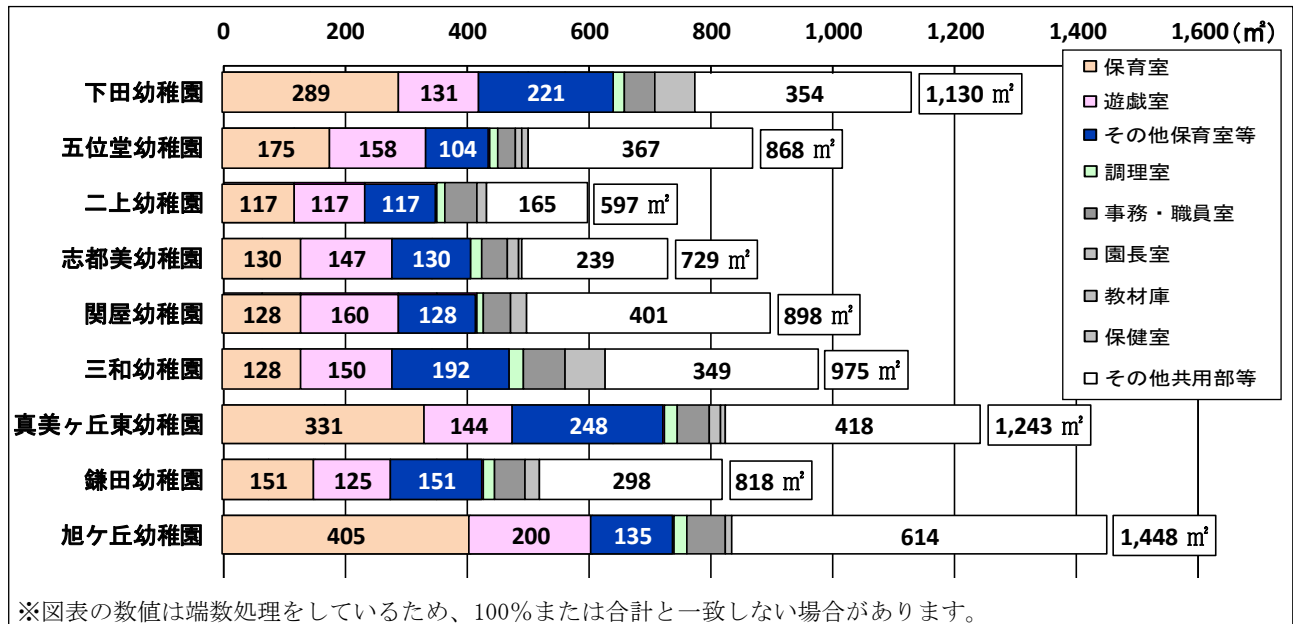
図表 市立幼稚園の定員及び園児数（平成26年5月1日現在）



幼稚園のスペース構成

市立幼稚園 1 施設あたりの平均規模は 967 m²で、スペース構成は、保育室、遊戯室、調理室、事務室となっています。

図表 施設別のスペース構成（平成 24 年度）



■ 運営時間

保育所の入所対象者は、市立・私立ともに0歳児から就学前までの児童で、開所日は月曜日から土曜日、施設によっては日曜日・祝日も開所しています。

市立保育所の保育時間は、長時間保育及び延長保育を含め、最長午前7時30分から午後7時まで保育を実施しています。また、私立保育所(園)の保育時間は、同様に長時間保育及び延長保育を含め、最長午前7時から午後8時まで保育を実施している所もあります。

幼稚園の入所対象者は、市立幼稚園では4歳児から就学前までの児童で、私立幼稚園では、幅広いところで1歳から就学前となっています。平成27年度から、関屋幼稚園と鎌田幼稚園で3歳児保育を始める予定となっています。開園日は月曜日から金曜日です。私立幼稚園では場所によって土曜日に短縮保育を実施しているところがあります。

市立幼稚園の開園時間は、午前9時から午後14時までとなっています。私立保育園の開園時間は、主に午前8時30分から午後2時となっており、延長保育として早いところでは午前7時30分から、午後6時まで保育を実施しており、午後6時以降も連携している保育園に預けることが可能となっています。

図表 保育所・幼稚園運営時間（平成26年度）

		7時	8時	12時	14時	16時	19時	
		7:00	8:30	12:30	14:00	16:30	18:00	
		7:30	9:00	12:00	14:00	16:30	19:00	
市立保育所(6施設) (平均規模:798㎡) 対象年齢 0歳~就学前 開園日 月~土曜日 入園児数 135/施設 入園率 112.4%	平日	保育		保育	保育			
	土曜	保育		保育	保育	保育		
			← 最大 11時間30分 →		← 最大 6時間30分 →			
私立保育所(園)(5施設) 対象年齢 0歳~就学前 開園日 月~土曜日 入園児数 173/施設 入園率 104.8%	平日	保育		保育	保育			
	土曜	保育		保育	保育			
	日・祝	保育		保育	保育		※ハルナ保育園のみで実施	
		← 最大 13時間 →		← 最大 13時間 →		← 最大 9時間 →		
		7時	8時	14時	16時	19時		
		7:30	8:30	11:30	14:00	15:00	18:00	
		8:00	9:00	12:00	14:00	15:00	18:00	
市立幼稚園(9施設) (平均規模:967㎡) 対象年齢 4歳~就学前※1 開園日 月~金曜日 入園児数 80/施設 入園率 44%	平日	保育		保育	保育			
	土曜	保育		保育	保育			
			← 最大 5時間 →		← 最大 10時間30分 →		← 最大 10時間30分 →	
私立幼稚園(2施設) 対象年齢 1歳~就学前※2 開園日 月~金曜日	平日	保育		保育	保育			
	土曜	保育		保育	保育		※せいか幼稚園で第1・3・5土曜日のみ短縮保育実施	
			← 最大 10時間30分 →		← 最大 10時間30分 →			

※1:平成27年度から関屋幼稚園、鎌田幼稚園で3歳児保育が始まります。

※2:ハルナ幼稚園では1歳~就学前、せいか幼稚園では2歳~就学前

③ コスト状況

■ 総コスト

<保育所の総コスト>

保育所の年間総コストは、7億3,740万円です。1施設当たり平均1億2,290万円です。

年間総コストのうち、維持管理費は2,879万円(4%)、事業運営費は6億8,625万円(93%)、減価償却費が2,236万円となっています。当該施設から年間1億9,526万円の収入があります。

図表 施設別 保育所施設経費計算書（平成24年度）

I. 現金収支を伴うもの

(円)

【コストの部】

		五位堂 保育所	若葉保育所	みつわ 保育所	二上保育所	志都美 保育所	真美ヶ丘 保育所	合計
維持 管理 費	燃料費・光熱水費	3,094,855	3,790,802	2,687,763	3,400,661	2,425,461	2,952,023	18,351,565
	修繕料・役務費	0	618,744	235,903	632,780	302,958	445,379	2,235,764
	建物管理委託料	227,000	306,800	227,000	306,800	227,000	290,000	1,584,600
	使用料・賃借料	0	442,512	0	0	0	392,994	835,506
	工事請負費	0	441,294	604,800	799,102	0	1,122,975	2,968,171
	備品購入費その他	84,200	722,060	396,710	773,592	147,658	686,335	2,810,555
	維持管理費計	3,406,055	6,322,212	4,152,176	5,912,935	3,103,077	5,889,706	28,786,161
運 営 費	人件費	107,129,823	145,233,929	98,296,029	103,598,074	86,014,114	137,336,700	677,608,669
	その他事業運営費	1,405,795	1,582,493	1,395,026	1,412,828	1,329,781	1,516,283	8,642,206
	事業運営費計	108,535,618	146,816,422	99,691,055	105,010,902	87,343,895	138,852,983	686,250,875
指定管理料	0	0	0	0	0	0	0	
現金収支を伴うコスト計	111,941,673	153,138,634	103,843,231	110,923,837	90,446,972	144,742,689	715,037,036	

【収益の部】

収入	使用料	35,204,400	43,426,500	25,200,000	32,480,000	18,318,000	40,635,000	195,263,900
	その他	0	0	0	0	0	0	0
収益計		35,204,400	43,426,500	25,200,000	32,480,000	18,318,000	40,635,000	195,263,900

II. 現金収支を伴わないもの

【コストの部】

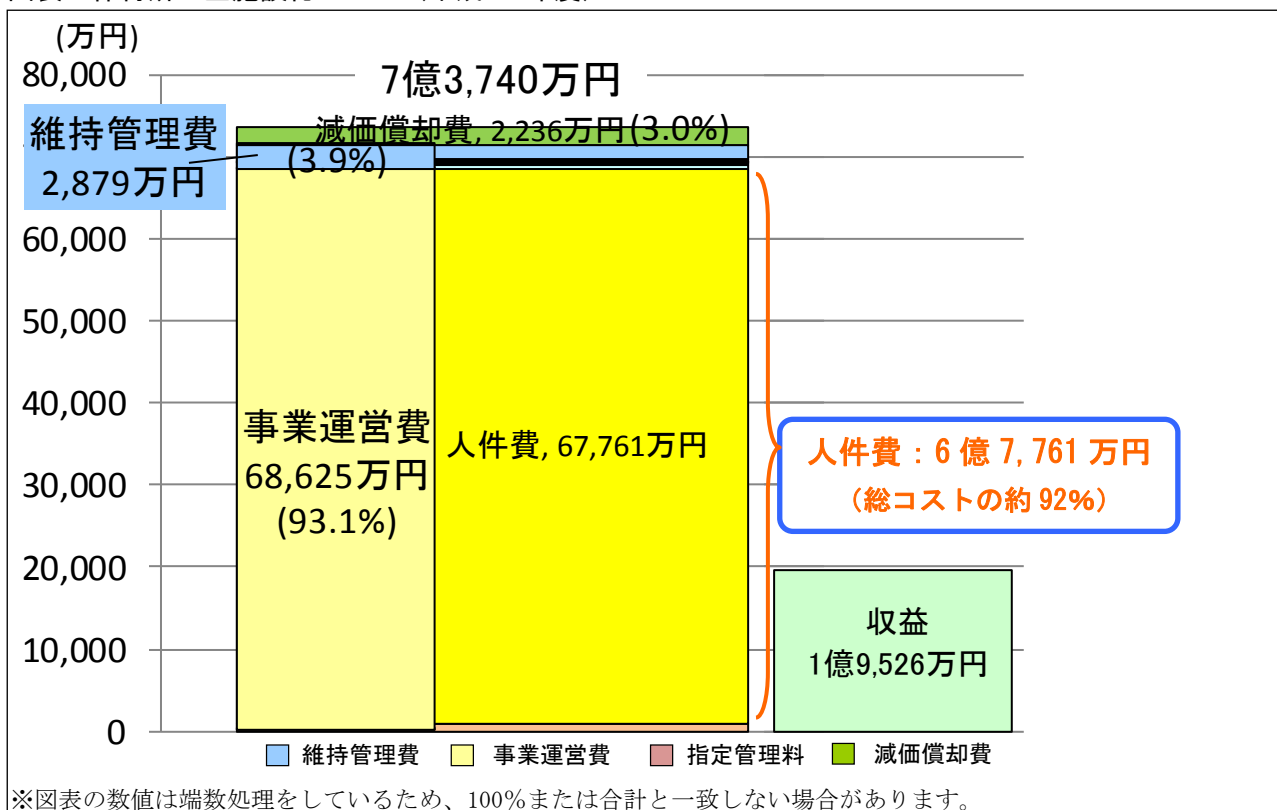
コスト	減価償却費	2,364,792	6,159,668	4,215,653	3,725,696	3,524,793	2,372,692	22,363,294
-----	-------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	------------

III. 総括

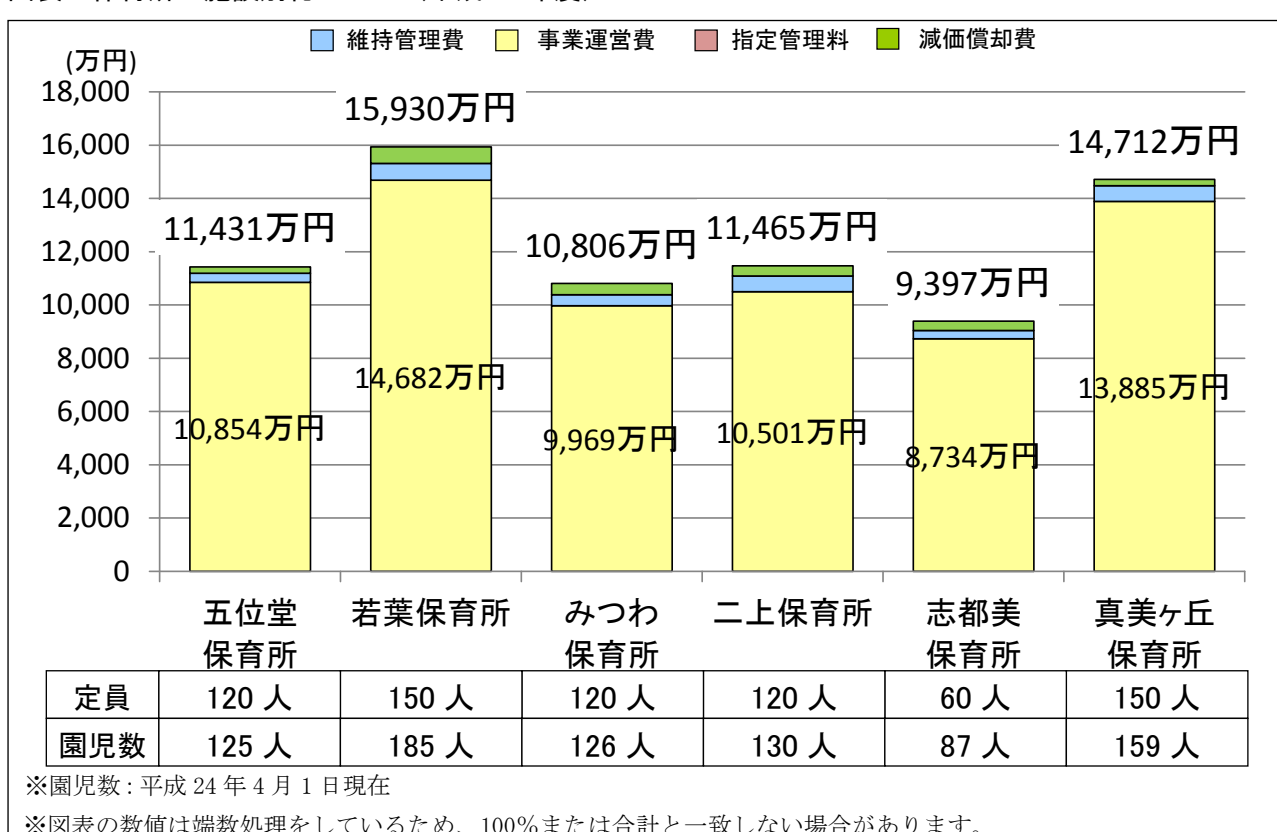
コストの部合計(総コスト)	114,306,465	159,298,302	108,058,884	114,649,533	93,971,765	147,115,381	737,400,330
収支差額	79,102,065	115,871,802	82,858,884	82,169,533	75,653,765	106,480,381	542,136,430

保育所の全施設総コストのうち、人件費が6億7,761万円で全体の約92%を占めています。
 施設別総コストでは、志都美保育所の7,914万円から真美ヶ丘保育所の1億2,961万円となっています。

図表 保育所 全施設総コスト（平成24年度）



図表 保育所 施設別総コスト（平成24年度）



<幼稚園の総コスト>

幼稚園の年間総コストは、3億9,775万円です。

年間総コストのうち、維持管理費は1,917万円(5%)、事業運営費は3億3,755万円(85%)、減価償却相当額が4,103万円となっています。当該施設から年間5,736万円の収入があります。

図表 施設別 幼稚園施設経費計算書（平成24年度）

I. 現金収支を伴うもの

(円)

【コストの部】

		下田幼稚園	五位堂幼稚園	二上幼稚園	志都美幼稚園	関屋幼稚園	三和幼稚園	真美ヶ丘東幼稚園
維持管理費	燃料費・光熱水費	834,356	776,320	1,123,847	703,443	898,157	982,142	928,652
	修繕料・役務費	64,490	56,175	186,375	296,230	117,090	219,022	669,932
	建物管理委託料	0	0	0	0	0	0	0
	使用料・賃借料	109,494	0	0	64,890	0	0	95,886
	工事請負費	1,345,470	0	0	0	1,206,240	464,887	809,182
	備品購入費その他	332,567	662,242	399,150	306,218	316,906	371,797	364,011
維持管理費計		2,686,377	1,494,737	1,709,372	1,370,781	2,538,393	2,037,848	2,867,663
運営費	人件費	45,154,137	35,784,478	37,757,939	20,107,006	17,601,819	20,847,882	47,375,553
	その他事業運営費	6,948,916	6,729,949	4,086,727	3,649,320	6,273,343	4,993,752	1,693,988
	事業運営費計	52,103,053	42,514,427	41,844,666	23,756,326	23,875,162	25,841,634	49,069,541
指定管理料		0	0	0	0	0	0	0
現金収支を伴うコスト計		54,789,430	44,009,164	43,554,038	25,127,107	26,413,555	27,879,482	51,937,204

【収益の部】

収入	使用料	9,542,500	6,012,000	8,583,000	3,408,500	4,340,000	4,334,500	7,507,500
	その他	0	0	0	0	0	0	0
収益計		9,542,500	6,012,000	8,583,000	3,408,500	4,340,000	4,334,500	7,507,500

II. 現金収支を伴わないもの

【コストの部】

コスト	減価償却費	7,077,018	5,536,052	2,091,092	2,511,678	3,173,839	3,744,589	5,731,644
-----	-------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

III. 総括

コストの部合計(総コスト)		61,866,448	49,545,216	45,645,130	27,638,785	29,587,394	31,624,071	57,668,848
収支差額		52,323,948	43,533,216	37,062,130	24,230,285	25,247,394	27,289,571	50,161,348

I. 現金収支を伴うもの

(円)

【コストの部】

		鎌田幼稚園	旭ヶ丘幼稚園	合計
維持管理費	燃料費・光熱水費	873,223	1,407,134	8,527,274
	修繕料・役務費	268,905	389,445	2,267,664
	建物管理委託料	0	0	0
	使用料・賃借料	0	154,854	425,124
	工事請負費	0	350,043	4,175,822
	備品購入費その他	266,562	759,209	3,778,662
維持管理費計		1,408,690	3,060,685	19,174,546
運営費	人件費	17,241,875	55,298,866	297,169,555
	その他事業運営費	3,527,089	2,477,906	40,380,990
	事業運営費計	20,768,964	57,776,772	337,550,545
指定管理料		0	0	0
現金収支を伴うコスト計		22,177,654	60,837,457	356,725,091

【収益の部】

収入	使用料	2,237,500	11,394,000	57,359,500
	その他	0	0	0
収益計		2,237,500	11,394,000	57,359,500

II. 現金収支を伴わないもの

【コストの部】

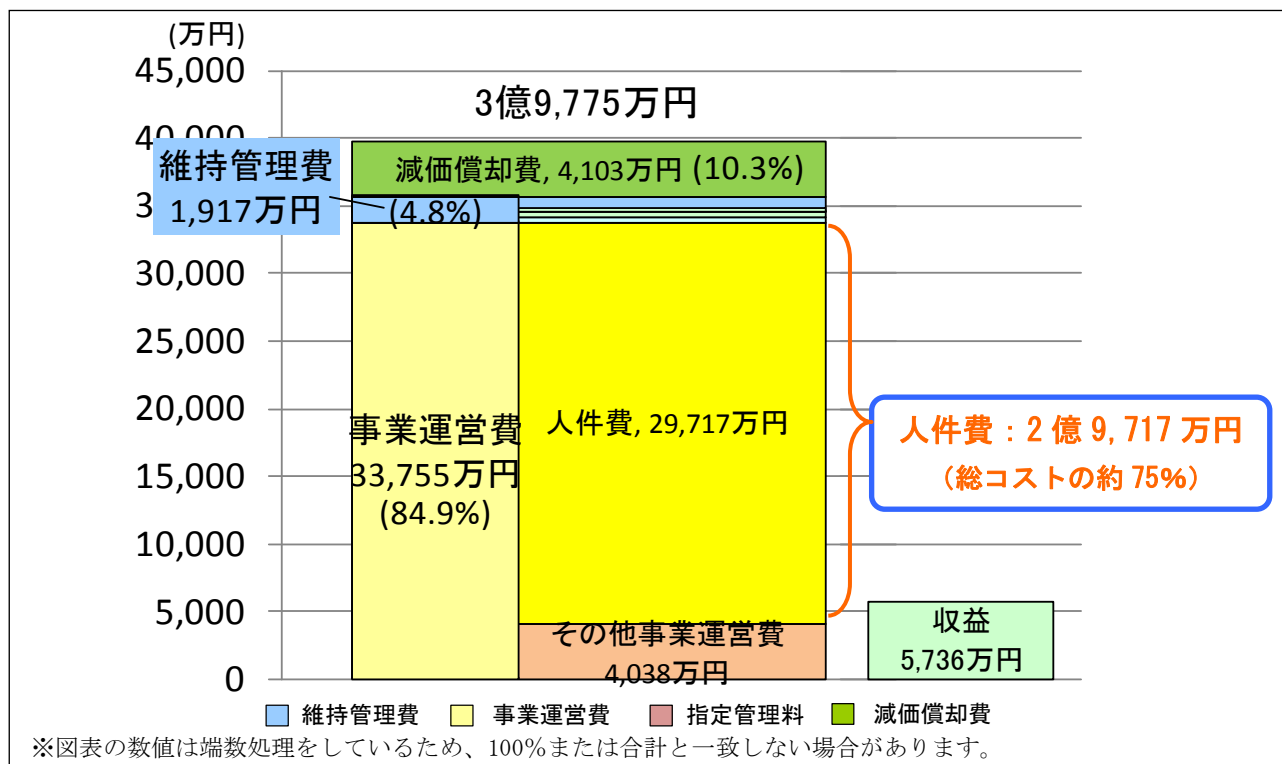
コスト	減価償却費	4,154,412	7,005,957	41,026,281
-----	-------	-----------	-----------	------------

III. 総括

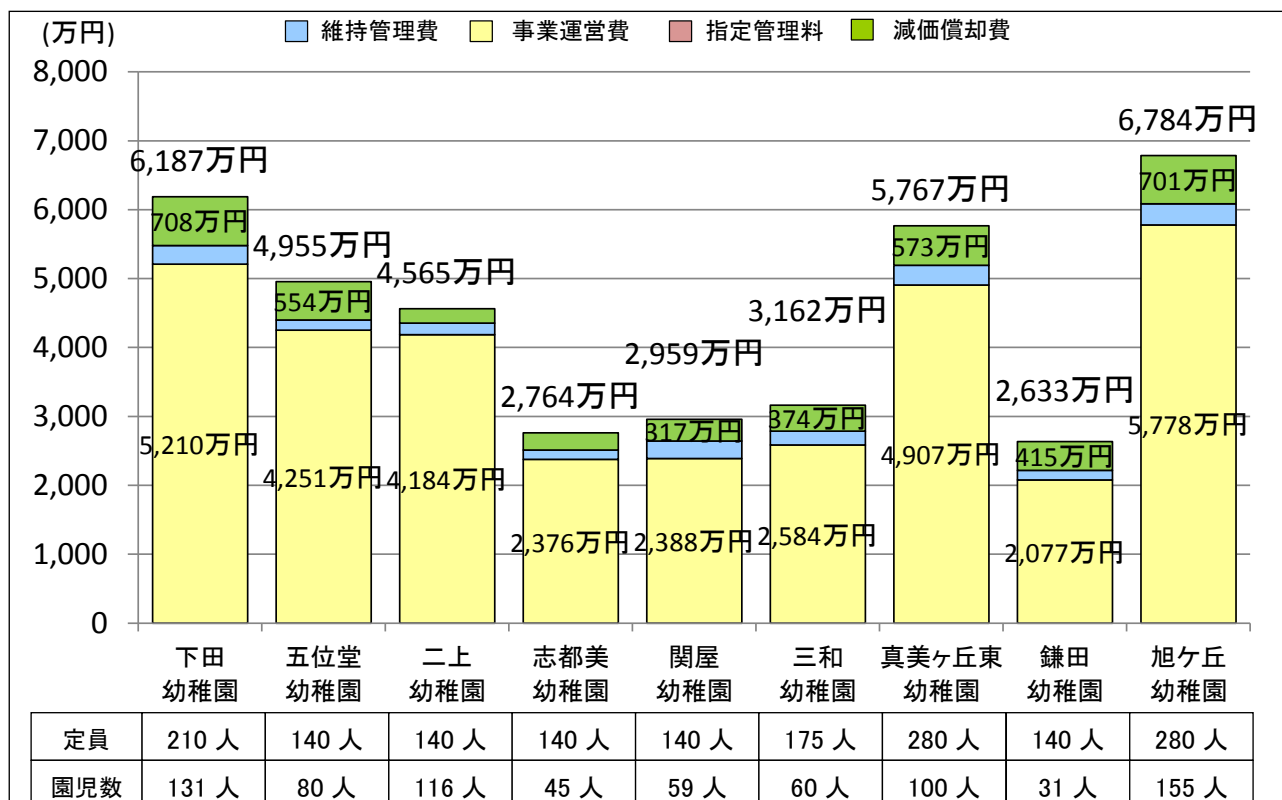
コストの部合計(総コスト)		26,332,066	67,843,414	397,751,372
収支差額		24,094,566	56,449,414	340,391,872

幼稚園の全施設総コストのうち、人件費が2億9,717万円で全体の約75%を占めています。
施設別総コストでは鎌田幼稚園の2,633万円から旭ヶ丘幼稚園の6,784万円となっています。

図表 幼稚園 全施設総コスト（平成24年度）



図表 施設別総コスト（平成24年度）



※園児数：平成24年5月1日現在

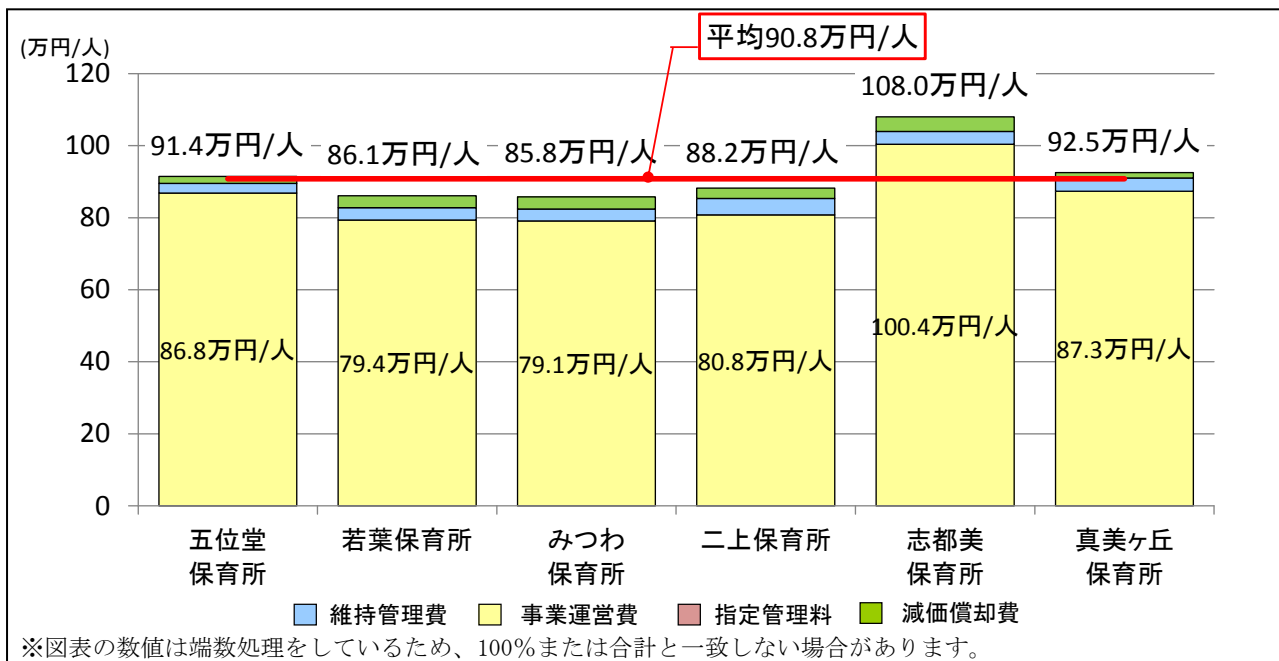
※図表の数値は端数処理をしているため、100%または合計と一致しない場合があります。

■ 園児 1 人当たりにかかるコスト

< 保育所 >

園児数と総コストから園児 1 人当たりにかかるコストを算出すると、平均は 90.8 万円です。施設別では、みつわ保育所の 85.8 万円/人から志都美保育所の 108.0 万円/人となっています。

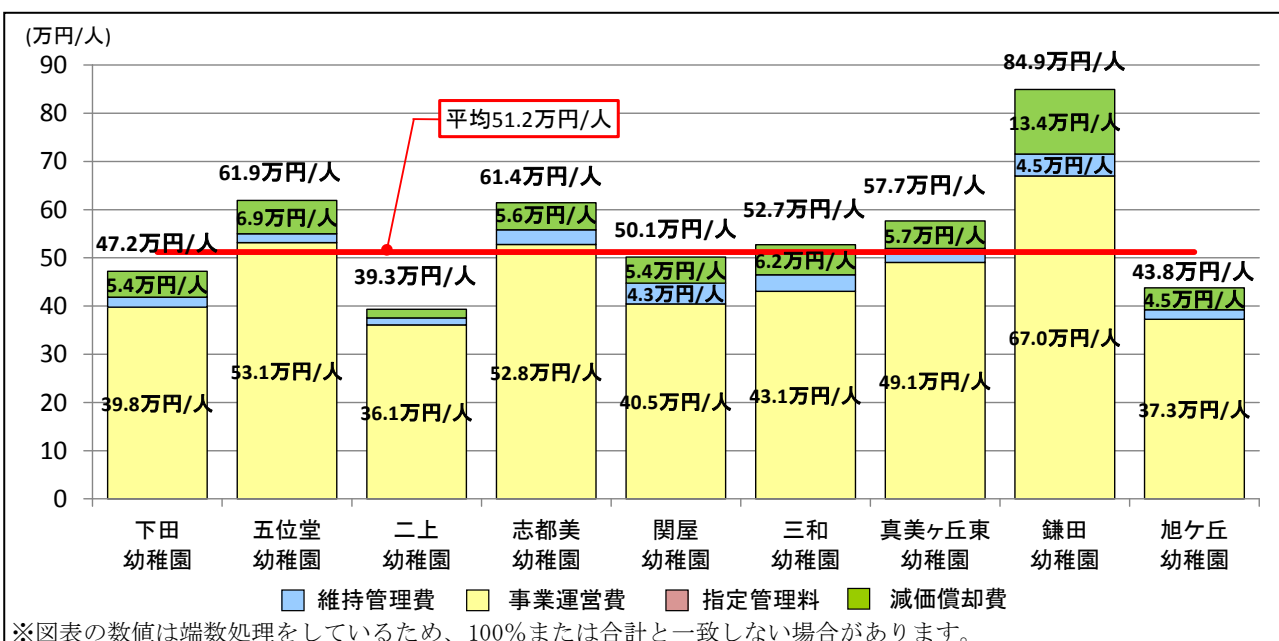
図表 園児 1 人当たりにかかるコスト（平成 24 年度）



< 幼稚園 >

園児数と総コストから園児 1 人当たりにかかるコストを算出すると、平均は 51.2 万円/人です。施設別にみると二上幼稚園の 39.3 万円/人から鎌田幼稚園の約 84.9 万円/人となっています。

図表 園児 1 人当たりにかかるコスト（平成 24 年度）



④現状及び課題

- 老朽化が進んでいる施設が多くなっている。保育所は6施設全て、幼稚園は9施設中6施設が築30年以上経過している。
- 耐震化未実施の施設が2施設あり、志都美幼稚園は平成27年度に耐震化予定、みつわ保育所は平成28年度建替え予定。
- 志都美保育所は平成28年度に民営化予定。
- 保育所の入所園児数が増加している一方、幼稚園の入所園児数が減少しており、平成23年には保育所の入所園児数が幼稚園の入所園児数を上回り逆転している。また、保育所はほぼ定員を超えているが、幼稚園は9施設中7施設の入園率が半分を超えていない。ニーズの変化に対応し、平成27年度から関屋幼稚園、鎌田幼稚園で実施される3年保育や、こども園の導入等を検討する等、保育所と幼稚園のありかたについて見直す必要がある。

2) 学童保育所

①施設概要

学童保育所では、昼間保護者が労働等で不在のため、保育できない家庭の小学校低学年児童（1年生～3年生）等に健全な遊びや生活の指導を行い、一定時間保育をしています。香芝市には11カ所の市立学童保育所があり、私立の学童保育所が3施設あります。

平成26年度の市立学童保育所の登録児童数は、全施設合計で699人となっており、入所率は108%です。私立学童保育所の登録児童数は、全施設合計で135人です。

国の基準や待機児童への対応のため、平成27年度には五位堂学童保育所、二上学童保育所、真美ヶ丘西学童保育所の施設整備計画が予定されています。

図表 施設一覧

小学校区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)	複合・併設施設		H26年度			備考		
						小学校	その他	児童数 A	定員 B	入所率 A/B			
市立	下田 1	下田学童保育所	北今市五丁目553-3	273.0	平成16	S			87	90	97%		
	関屋 2	関屋学童保育所	関屋北五丁目7番1号	67.8	平成23	RC	●	関屋小内	49	45	109%		
	五位堂 3	五位堂学童保育所	五位堂二丁目300番地の1	87.0	昭和57	RC	●	五位堂小内	70	45	156%	平成27年度施設整備計画あり	
	二上 4	二上学童保育所	畑四丁目568-1	94.3	平成14	S			74	55	135%	平成27年度施設整備計画あり	
	鎌田 5	鎌田学童保育所	鎌田370	58.0	昭和63	S			35	45	78%		
	真美ヶ丘東	6	真美ヶ丘東学童保育所	真美ヶ丘三丁目2-13	197.6	平成2	S			74	90	82%	
	真美ヶ丘西	7	真美ヶ丘西学童保育所	真美ヶ丘五丁目4-16	98.9	昭和63	S			54	45	120%	平成27年度施設整備計画あり
	旭ヶ丘	8	旭ヶ丘第1学童保育所	旭ヶ丘三丁目11番地の1	139.6	平成15	S			141	70	101%	香芝市子育て支援センター内
	旭ヶ丘	9	旭ヶ丘第2学童保育所	旭ヶ丘四丁目12番地20	207.1	平成19	S	●	70				
	三和	10	三和学童保育所	良福寺665-2	58.0	昭和60	S			65	45	144%	
	志都美	11	志都美学童保育所	今泉363番地	368.9	平成26	S			50	45	111%	
合計				1,650.05					699	645	108%		
私立	関屋 1	童館	関屋北3-8-3				●		78			学院内	
	下田 2	Seika after school	北今市五丁目518番地1				●		44			せいか保育園内	
	鎌田 3	ハルナ保育園(学童)	鎌田281番地1				●		13			ハルナ保育園内	
合計								135					

※昭和59：建築年度の赤字は築30年以上を示す

<開所時間等>

開所時間		休所日
月～土曜日	放課後から午後6時まで ※延長保育午後6時30分まで(土曜日以外)	日曜日・祝日・夏期(8月13日～15日)・年末年始(12月29日～1月3日)及びその他市が定める日
学校休業日	午前8時30分から午後6時まで ※延長保育午後6時30分まで(土曜日以外)	

<利用方法及び使用料>

入所資格は、市内に在住する小学生で、昼間つねに保護者(両親または、これにかわる者)が就労等により不在のため保育できない家庭の児童となっています。

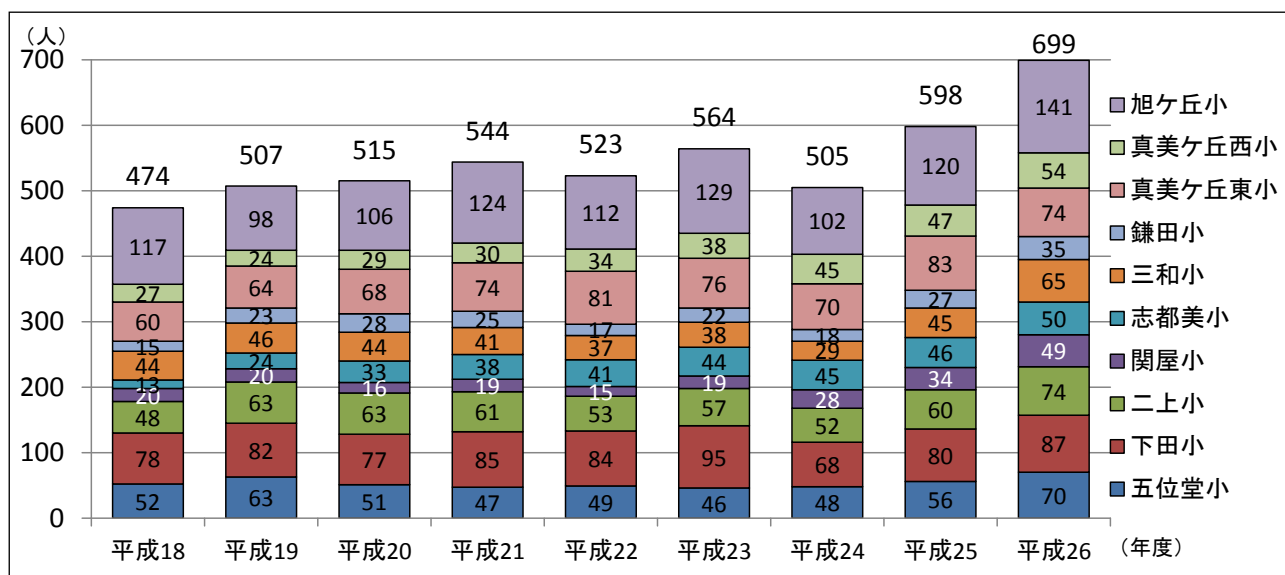
使用料は、児童一人につき月額3,500円(延長保育利用者4,500円)と、その他におやつ代、教材料として月額2,000円となっています。

②利用状況

<児童数の推移>

小学校別に学童保育児童数の推移をみると、平成18年から平成26年にかけて全体的には増加の傾向にあります。平成18年の474人から、平成26年には699人へ、約1.5倍に増加しています。

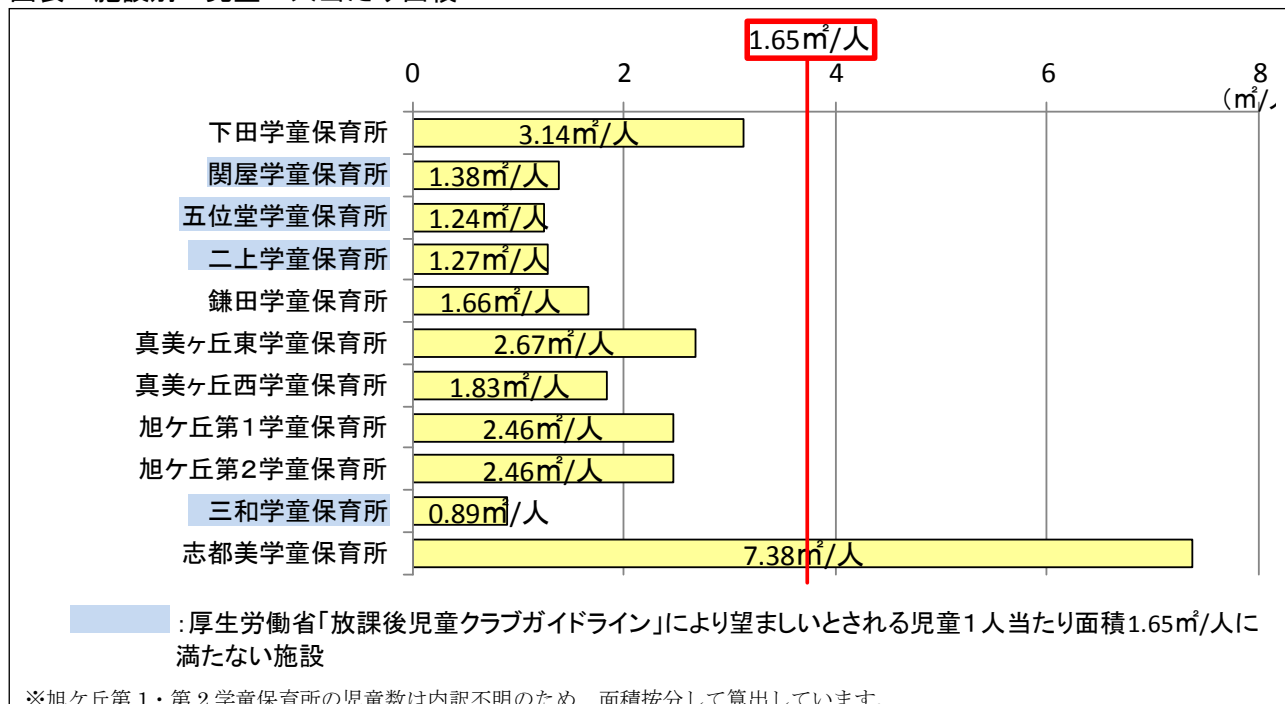
図表 小学校別学童保育児童数の推移



<児童1人当たり面積>

施設別に児童1人当たり面積をみると、厚生労働省「放課後児童クラブガイドライン」により望ましいとされる1.65㎡/人を下回る施設が11施設中4施設あります。今後改修等を行う際に、基準への対応も図っていく必要があります。

図表 施設別 児童1人当たり面積



④コスト状況

■ 学童保育所の総コスト

学童保育所の年間総コストは、5,652 万円です。1 施設当たり平均 514 万円です。

年間総コストのうち、維持管理費は 433 万円(8%)、事業運営費は 4,628 万円(82%)、減価償却費が 591 万円となっています。当該施設から年間 2,334 万円の収入があります。

図表 施設別 学童保育所施設経費計算書(平成 24 年度)

I. 現金収支を伴うもの

【コストの部】

(円)

		下田 学童保育所	関屋 学童保育所	五位堂 学童保育所	二上 学童保育所	鎌田 学童保育所	真美ヶ丘東 学童保育所	真美ヶ丘西 学童保育所
維持管理費	燃料費・光熱水費	289,912	112,744	201,328	229,514	80,530	306,018	181,195
	修繕料・役務費	50,900	0	18,900	90,353	47,250	0	0
	建物管理委託料	89,933	34,974	62,454	71,197	24,983	94,930	56,208
	使用料・賃借料	9,176	3,568	6,372	7,264	2,549	9,686	5,735
	工事請負費	0	0	0	156,975	0	0	493,500
	備品購入費その他	39,708	15,442	27,575	31,436	11,032	41,914	24,818
	維持管理費計	479,629	166,728	316,629	586,739	166,344	452,547	761,456
事業費	人件費	5,953,366	2,315,198	4,134,282	4,713,081	1,653,711	6,284,109	3,720,854
	その他事業運営費	333,918	129,856	231,887	264,352	92,758	352,470	208,699
	事業運営費計	6,287,284	2,445,054	4,366,169	4,977,433	1,746,469	6,636,579	3,929,553
指定管理料	0	0	0	0	0	0	0	
現金収支を伴うコスト計	6,766,913	2,611,782	4,682,798	5,564,172	1,912,813	7,089,126	4,691,009	

【収益の部】

収入	使用料	0	0	0	0	0	0	0
	その他	3,198,500	1,214,500	2,241,500	2,447,500	836,500	3,446,500	2,008,000
収益計		3,198,500	1,214,500	2,241,500	2,447,500	836,500	3,446,500	2,008,000

II. 現金収支を伴わないもの

【コストの部】

コスト減価償却費	2,264,294	40,039	327,361	615,844	182,056	746,800	182,063
----------	-----------	--------	---------	---------	---------	---------	---------

III. 総括

コストの部合計(総コスト)	9,031,207	2,651,821	5,010,159	6,180,016	2,094,869	7,835,926	4,873,072
収支差額	5,832,707	1,437,321	2,768,659	3,732,516	1,258,369	4,389,426	2,865,072

I. 現金収支を伴うもの

【コストの部】

(円)

		旭ヶ丘第1 学童保育所	旭ヶ丘第2 学童保育所	三和 学童保育所	志都美 学童保育所	合計
維持管理費	燃料費・光熱水費	193,275	233,540	128,850	177,168	2,134,074
	修繕料・役務費	0	0	46,641	16,170	270,214
	建物管理委託料	59,956	72,446	39,970	54,959	662,010
	使用料・賃借料	6,117	7,392	4,078	5,607	67,544
	工事請負費	0	0	253,365	0	903,840
	備品購入費その他	26,472	31,987	17,648	24,266	292,298
	維持管理費計	285,819	345,365	490,552	278,171	4,329,980
事業費	人件費	3,968,911	4,795,768	2,645,941	3,638,169	43,823,390
	その他事業運営費	222,613	268,989	148,408	204,062	2,458,015
	事業運営費計	4,191,524	5,064,757	2,794,349	3,842,231	46,281,405
指定管理料	0	0	0	0	0	
現金収支を伴うコスト計	4,477,343	5,410,122	3,284,901	4,120,402	50,611,386	

【収益の部】

収入	使用料	0	0	0	0	0
	その他	2,016,500	2,482,000	1,433,500	2,017,500	23,342,500
収益計		2,016,500	2,482,000	1,433,500	2,017,500	23,342,500

II. 現金収支を伴わないもの

【コストの部】

コスト減価償却費	72,895	1,103,394	192,704	183,741	5,911,191
----------	--------	-----------	---------	---------	-----------

III. 総括

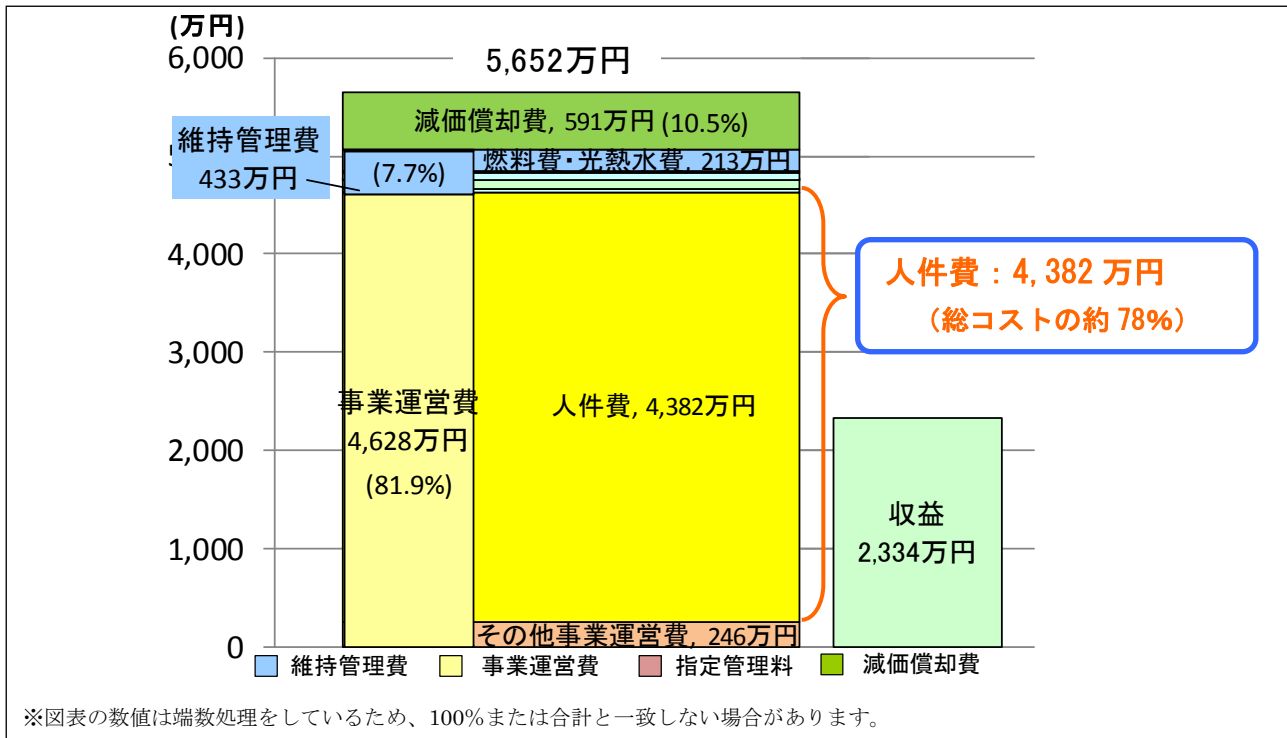
コストの部合計(総コスト)	4,550,238	6,513,516	3,477,605	4,304,143	56,522,578
収支差額	2,533,738	4,031,516	2,044,105	2,286,643	33,180,078

※ 志都美学童保育所は、建て替え前のコストとなっています。

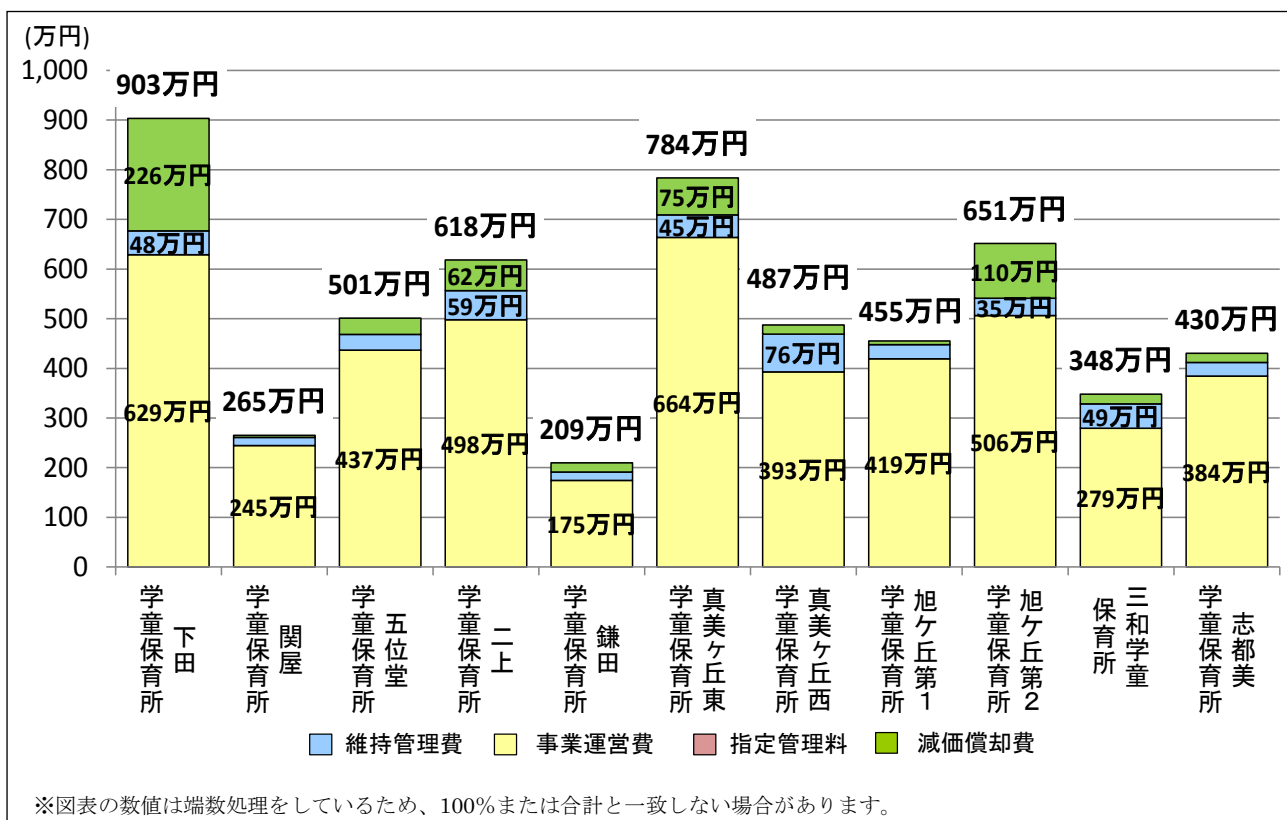
学童保育所の全施設総コストのうち、事業運営にかかるコストが4,382万円で全体の約78%を占めています。

施設別総コストでは、鎌田学童保育所の209万円から下田学童保育所の903万円となっています。

図表 全施設総コスト（平成24年度）



図表 施設別トータルコスト（平成24年度）

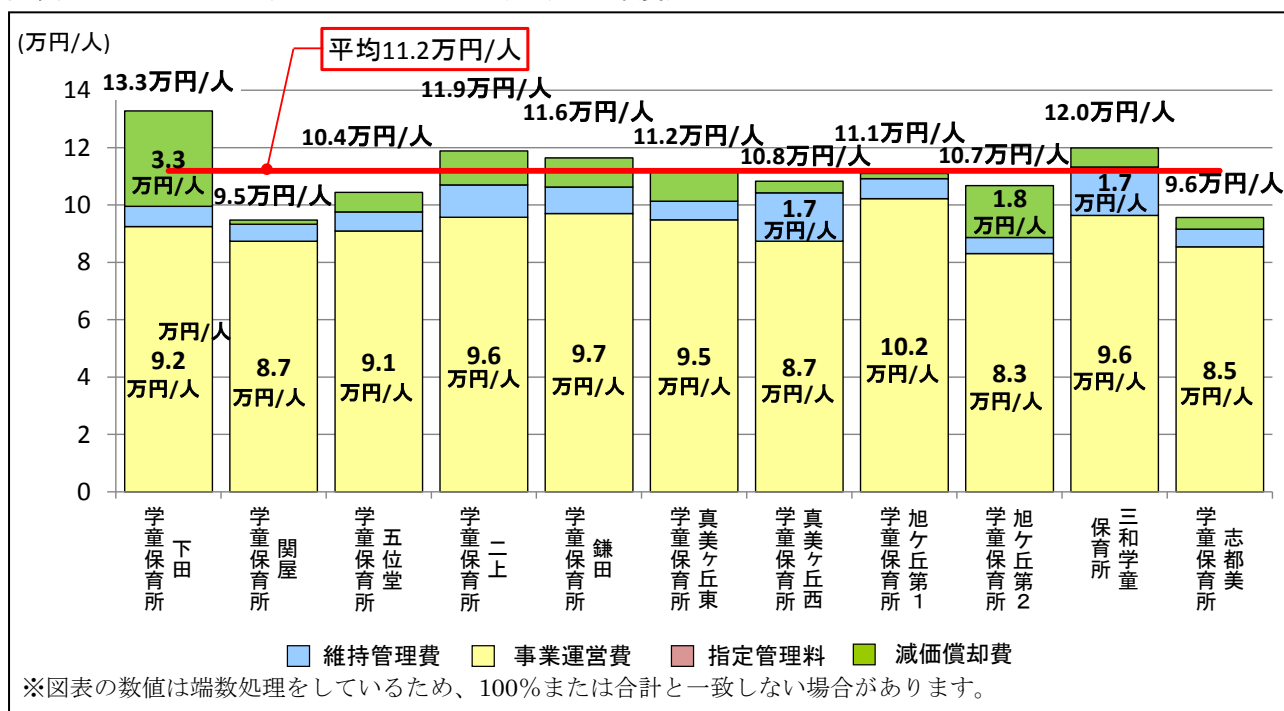


■ 評価・分析

＜児童1人当たりにかかるコスト＞

児童数と総コストから児童1人当たりにかかるコストを算出すると、平均は約11.2万円/人です。施設別では、関屋学童保育所の9.5万円/人から下田学童保育所の13.3万円/人となっています。

図表 児童1人当たりにかかるコスト（平成24年度）



⑤現状及び課題

- 五位堂学童保育所は築30年以上が経過しており、その他に築20年以上経過した施設が4施設あり、老朽化が進んでいる。
- 児童1人当たり面積等、国基準への対応がまだ完了していない施設がある。
- 児童数は増加の傾向にあり、11施設中8施設が定員を超えている。
- 待機児童の解消や全学年受け入れ、国基準への対応等のため、施設整備計画が実施される。

3) 子育て支援センター

①施設概要

香芝市では、子育てに関する支援を行うとともに、子育てに係る交流の場を提供することにより、家庭における福祉の増進を図るため、子育て支援センターが設置されています。

図表 施設一覧

小学校区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる建 物)	備考
旭ヶ丘	香芝市子育て支援センター	旭ヶ丘四丁目12番地20	197.2	平成19	S	旭ヶ丘第2学童保育所併設

<開館時間等> (平成24年度)

開館時間	休館日
午前9時から午後5時まで	土日・祝日・年末年始

②コスト状況

年間総コストは、457万円であり、そのうち維持管理費は43万円(9%)、事業運営費は309万円(68%)、減価償却費相当額は105万円となっています。

図表 子育て支援センター 施設経費計算書

I. 現金収支を伴うもの (平成24年度) (円)

		香芝市子育て支援センター
維持管理費	燃料費・光熱水費	294,253
	修繕料・役務費	0
	建物管理委託料	133,740
	使用料・賃借料	0
	工事請負費	0
	備品購入費その他	0
	維持管理費計	427,993
事業費	人件費	0
	その他事業運営費	3,093,198
	事業運営費計	3,093,198
指定管理料		0
現金収支を伴うコスト計		3,521,191

【収益の部】

収入	使用料	0
	その他	0
収益計		0

II. 現金収支を伴わないもの

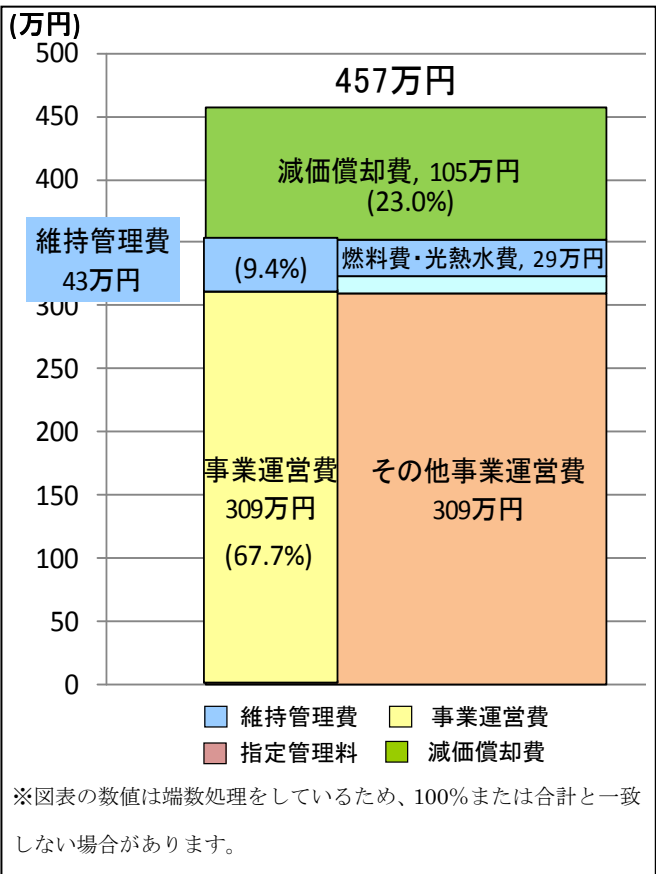
【コストの部】

コスト	減価償却費	1,050,651
-----	-------	-----------

III. 総括

コストの部合計(総コスト)	4,571,842
収支差額	4,571,842

図表 子育て支援センター 総コスト(平成24年度)



(6) 学校

①施設概要

本市には、小学校 10 校、中学校 4 校の合計 14 校が設置され、延床面積の合計は 10 万 2,563 ㎡となっています。施設規模をみると、小学校の延床面積は、鎌田小学校の 4,020 ㎡(8 学級)から旭ヶ丘小学校の 8,878 ㎡(35 学級)、中学校の延床面積は、香芝西中学校の 7,811 ㎡(13 学級)から香芝東中学校の 1 万 4,944 ㎡(19 学級)となっています。

図表 施設一覧

(平成 26 年 5 月 1 日現在)

名称		住所	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	建築 年度	児童生徒 数(人)	単式学級 数(学級)	
小 学 校	1	五位堂小学校	五位堂二丁目300番地の1	11,203	5,461	昭和43	481	17
	2	下田小学校	下田西二丁目9番41号	19,006	6,247	昭和42	763	24
	3	二上小学校	畑四丁目573番地	12,076	6,225	昭和44	826	25
	4	関屋小学校	関屋北五丁目7番1号	23,129	5,238	昭和46	389	12
	5	志都美小学校	今泉104番地の1	8,765	4,317	昭和37	347	12
	6	三和小学校	良福寺665番地の2	14,011	5,036	昭和51	387	12
	7	鎌田小学校	鎌田370番地	18,064	4,020	昭和57	199	8
	8	真美ヶ丘東小学校	真美ヶ丘三丁目2番70号	29,052	6,819	昭和62	587	18
	9	真美ヶ丘西小学校	真美ヶ丘五丁目4番20号	21,062	5,032	昭和62	332	12
	10	旭ヶ丘小学校	旭ヶ丘三丁目1番地の3	21,069	8,878	平成6	1,187	35
小学校 計			177,437	57,274		5,498	175	
中 学 校	1	香芝中学校	磯壁一丁目1058番地の2	5,851	13,646	昭和49	635	17
	2	香芝西中学校	穴虫3096番地の2	4,334	7,811	昭和57	457	13
	3	香芝東中学校	真美ヶ丘二丁目12番27号	8,631	14,944	昭和58	736	19
	4	香芝北中学校	旭ヶ丘四丁目14番地	4,486	8,887	平成11	842	21
中学校 計			23,303	45,288		2,670	70	
学校施設 合計			200,740	102,563		8,168	245	

※昭和 59：建築年度の赤字は築 30 年以上を示す

※「建築年度」は、校舎棟（または特別教室棟など主要棟）で最も古い建築年度を記入

②実態把握

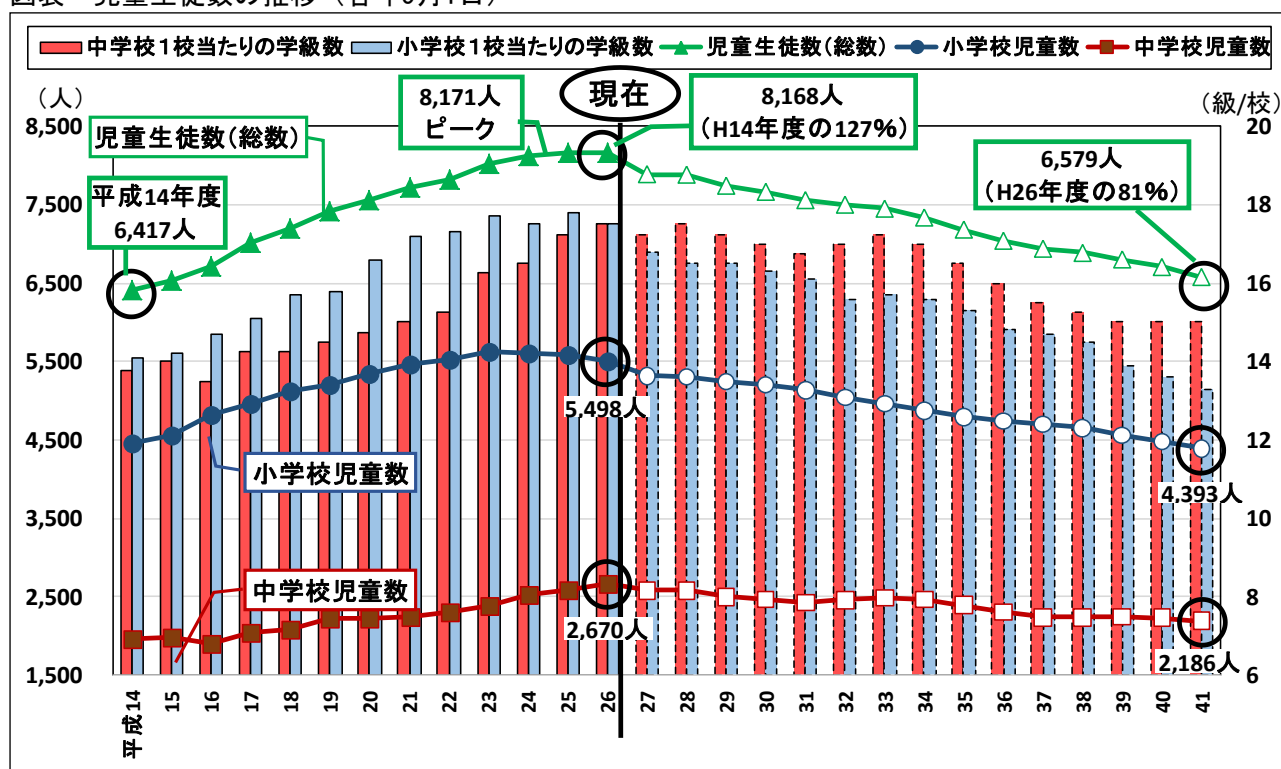
■ 児童生徒数及び学級数の状況

<児童生徒数の推移>

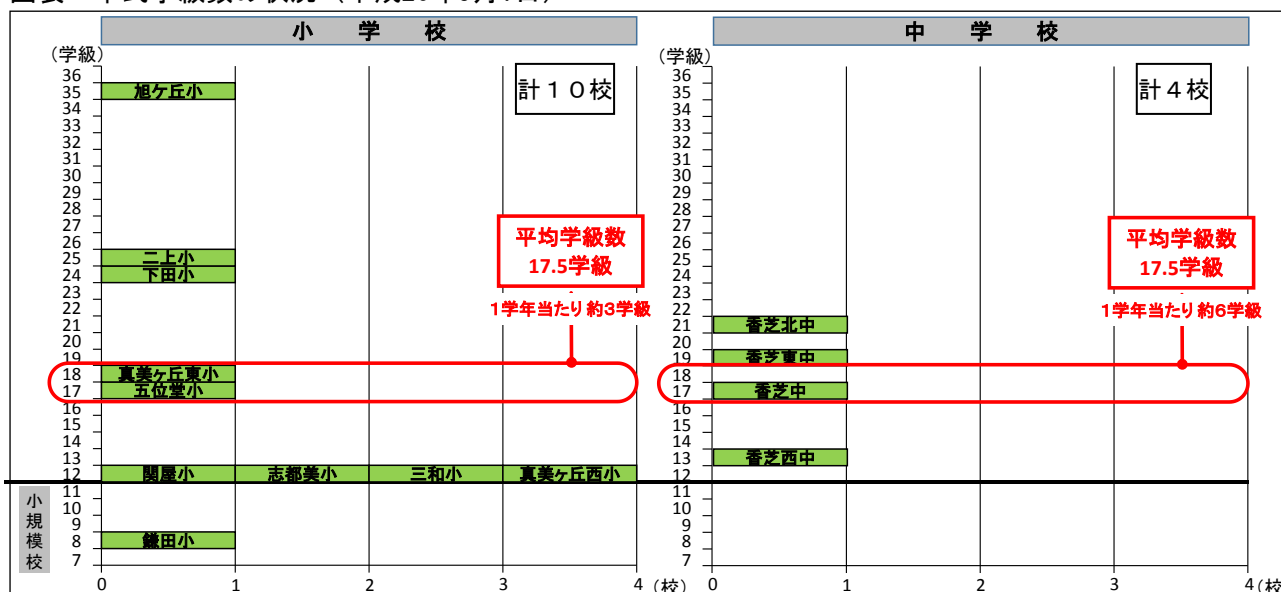
小・中学校の児童生徒数は、平成14年度の6,417人から、平成25年度の8,171人まで約1.3倍増加しています。児童生徒数は、平成25年度をピークに減少に転じ、平成26年5月1日時点では、8,168人となっており、今後も減少が見込まれています。平成41年度には、6,579人（現在の81%）まで減少する予測となっています。

平成26年度の学校別単式学級数では、小学校が平均17.5学級（1学年当たり約3学級）、中学校が平均17.5学級（1学年当たり約6学級）です。11学級以下の小規模校が、小学校は1校（鎌田小学校）となっています。

図表 児童生徒数の推移（各年5月1日）



図表 単式学級数の状況（平成26年5月1日）



※ 小学校1年は35人、その他は40人で学級編成

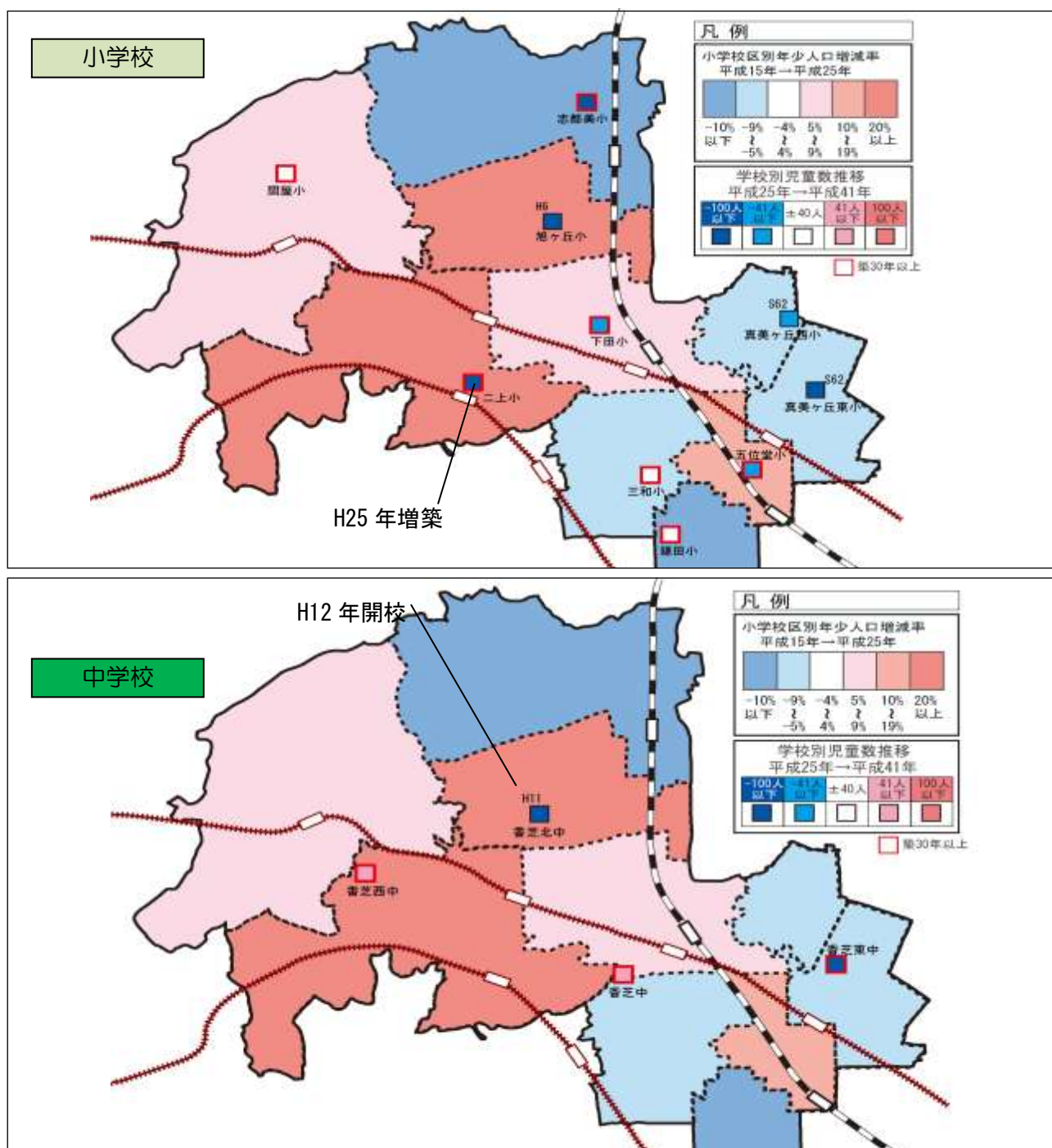
<学校別将来推計>

平成15年から平成25年の過去10年間の小学校区別年少人口変化をみると、旭ヶ丘小学校区・二上小学校区は90%以上の大幅な増加となっており、二上小は、平成25年度に一部校舎の増築を行っています。

平成26年から平成41年の将来の学校別児童推計をみると、旭ヶ丘小学校、二上小学校、志都美小学校、真美ヶ丘東小学校では、今後児童生徒数は大幅に減少の見込みとなっています。一方で、関屋小学校、鎌田小学校、三和小学校の将来児童数は大きく変動はしない見込みです。

中学校の将来の学校別児童推計をみると、香芝北中学校と香芝東中学校では、大幅な減少が見込まれていますが、香芝西中学校、香芝中学校は増加となっています。

図表 学校別将来児童推計（H26-H41）及び小学校区別年少人口増減率（H15-H25）

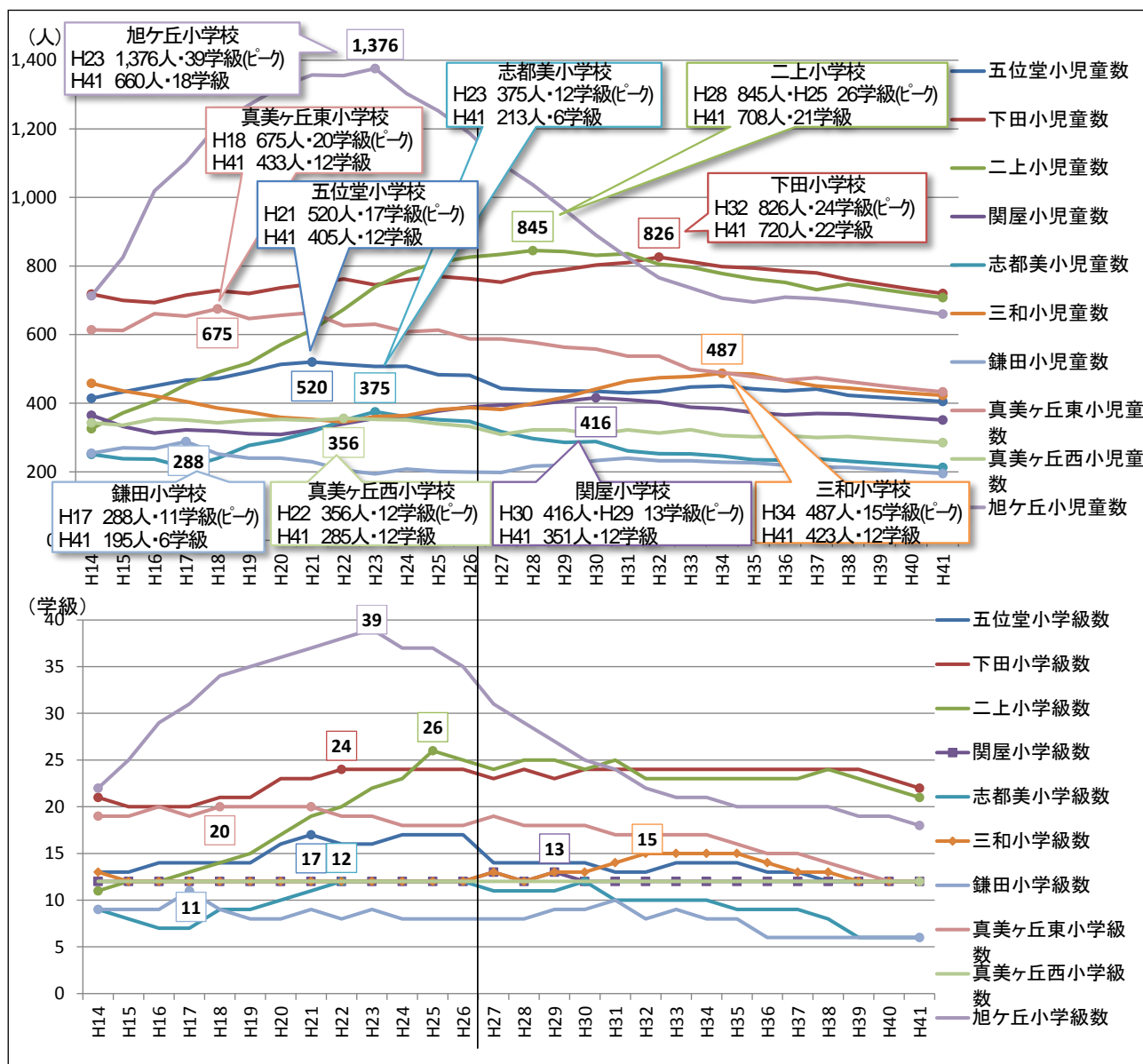


<学校別児童数及び単式学級数の推移>

小学校別に児童数及び単式学級数の推移をみると、児童数のピークを既に迎えている小学校は6校あり、特に平成7年に開設された旭ヶ丘小学校では今後急激に減少が大きくなり、平成31年には下田小学校、二上小学校を下回る見込みです。平成27年度以降児童数がピークとなる小学校は4校となっています。

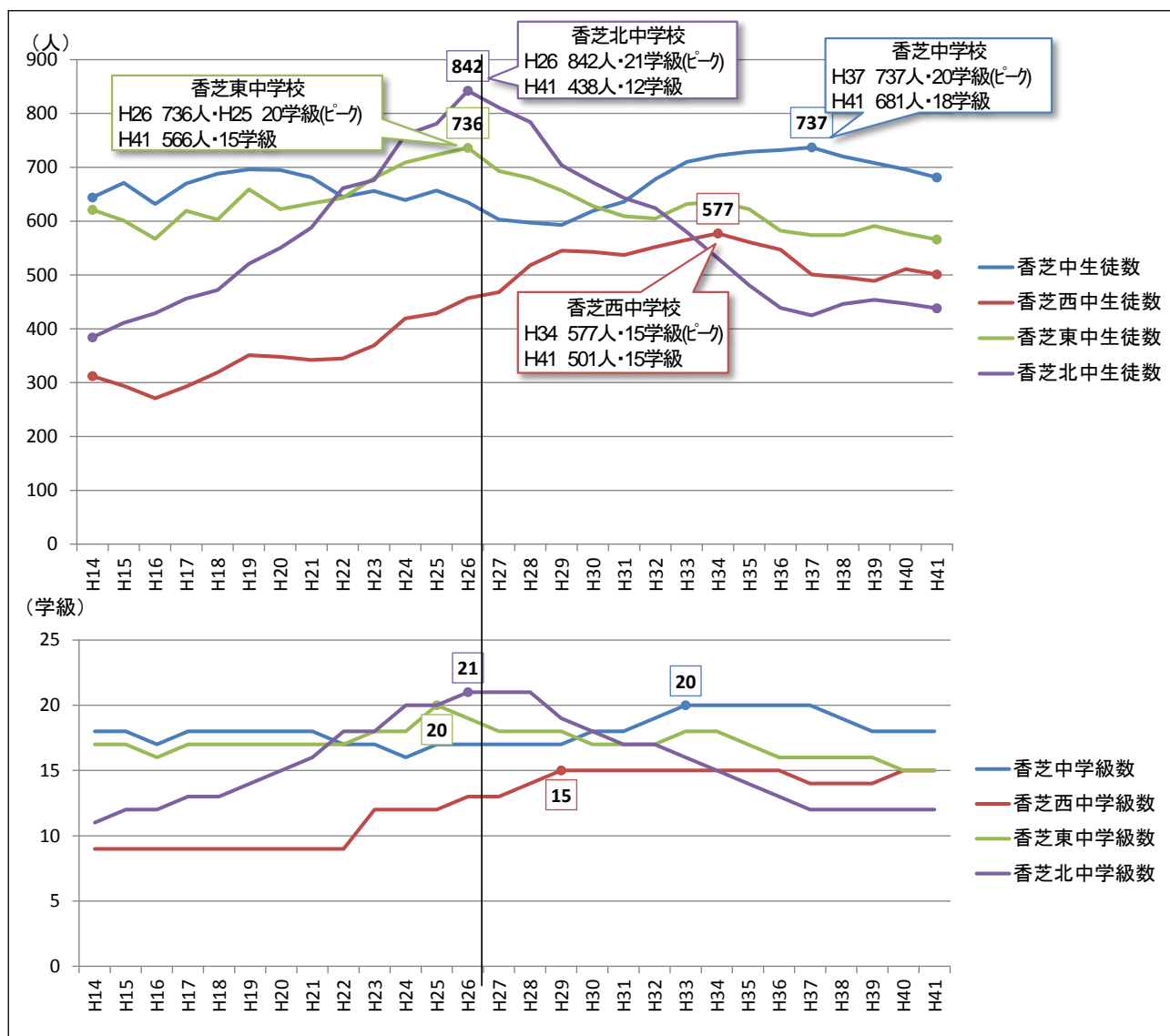
平成27年度以降学級数がピークとなる小学校は2校となっています。鎌田小学校、関屋小学校では、12学級程度であまり変動しない見込みです。下田小学校、二上小学校の大規模校2校は25学級程度で推移しますが、平成38年度頃には減少が始まる予測となっています。旭ヶ丘小学校では、平成41年度には平成23年度のピーク時39学級から半減し、18学級にまで減少する見込みです。鎌田小学校に加え、志都美小学校も小規模校になる予測となっています。

図表 小学校別児童数及び単式学級数推移



中学校別に生徒数及び単式学級数の推移をみると、平成 26 年度をピークに、香芝北中学校、香芝東中学校の生徒数は減少に転じています。特に平成 12 年度に開設された香芝北中学校の減少が大きく、平成 26 年度は一番生徒数の多い中学校となっていますが、生徒数は 48%と半分近く減少し、平成 34 年度には一番生徒数が少なくなる見込みです。

図表 中学校別生徒数及び単式学級数推移



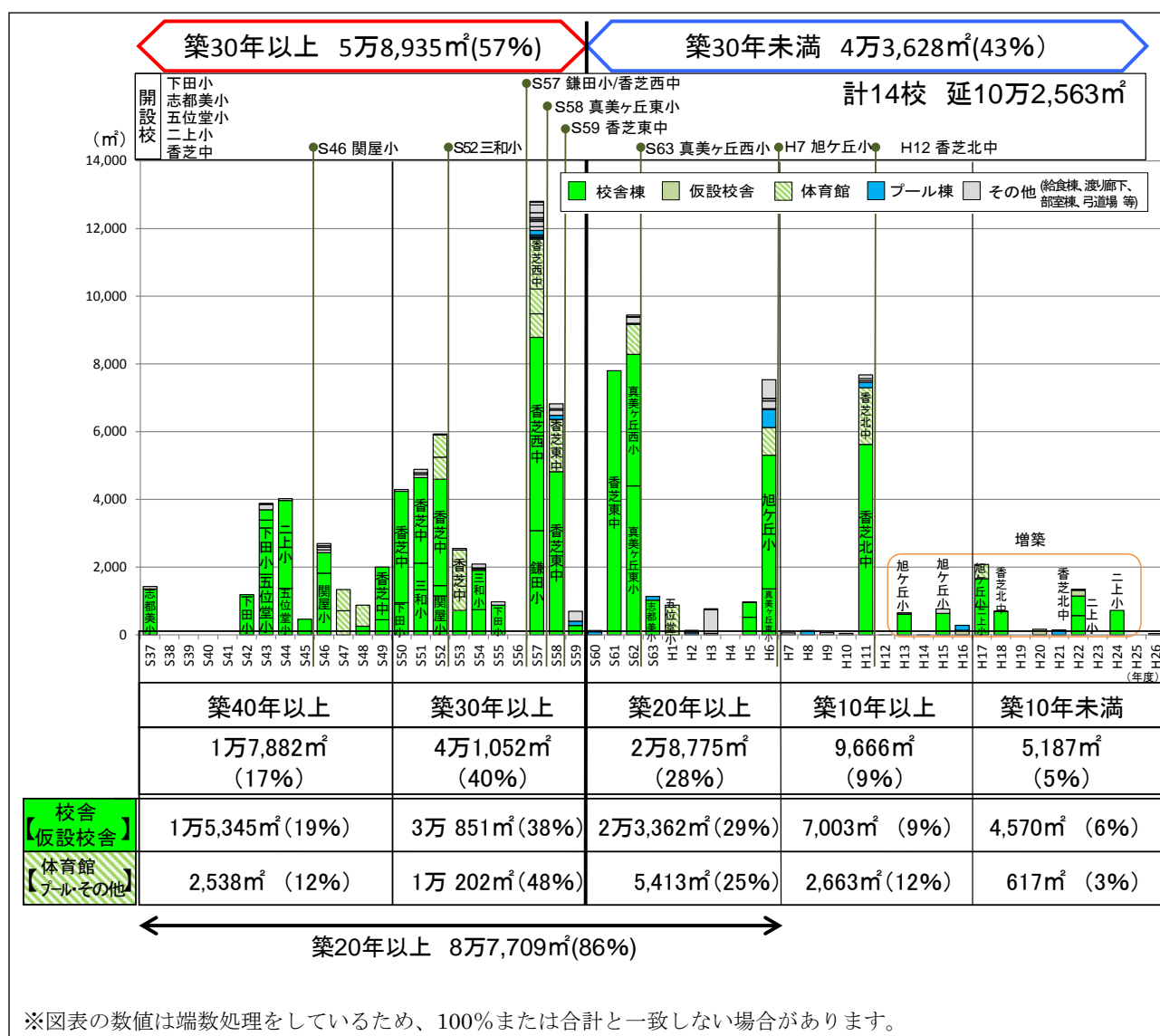
■ 施設の整備状況

学校施設の整備状況は、築30年以上の建物が約5.9万㎡と全体の約57%、築20年以上まで含めると約8.8万㎡（約86%）となっており、大半の施設が老朽化対策等を行う必要があります。

最も老朽化した校舎は、志都美小学校で築52年が経過しています。

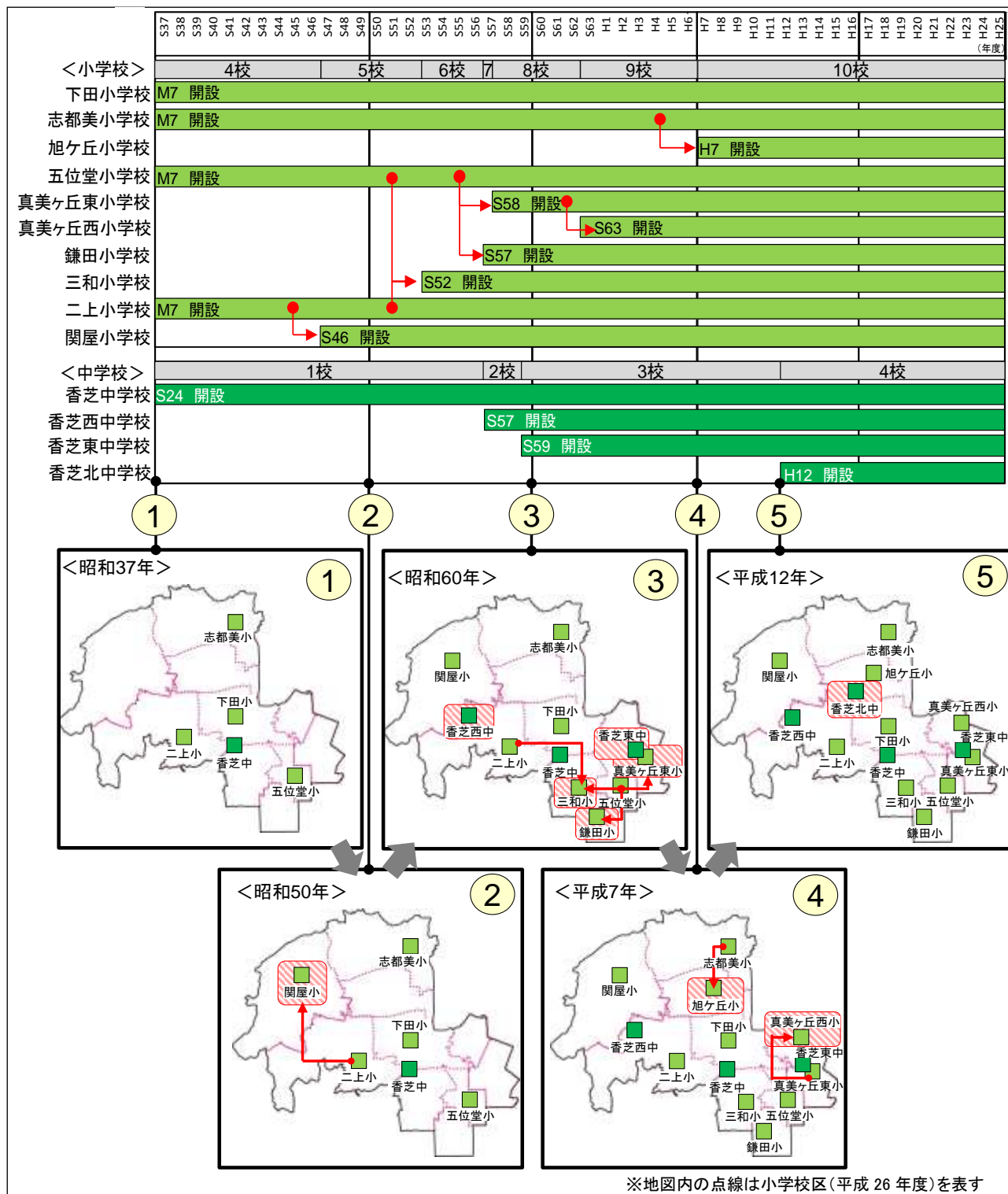
校舎棟、体育館・プール・その他棟別の整備状況では、校舎棟は約4.6万㎡（約57%）、体育館・プール・その他棟は約1.3万㎡（約59%）が築30年以上を経過しています。

図表 築年別整備状況



学校の設置状況の推移をみると、昭和37年度時点では小学校4校（下田小、志都美小、五位堂小、二上小）、中学校1校（香芝中学校）が開設されており、昭和46年度に二上小学校から分離し、関屋小学校が開設されました。昭和50～59年度（30～40年前）の間に小学校3校、中学校2校が集中して開設し、小学校8校、中学校3校に増加しました。その後、昭和63年度に真美ヶ丘西小学校、平成7年度に旭ヶ丘小学校、平成12年度に香芝北中学校が開設され、現在の小学校10校、中学校4校となりました。

図表 学校設置状況の推移

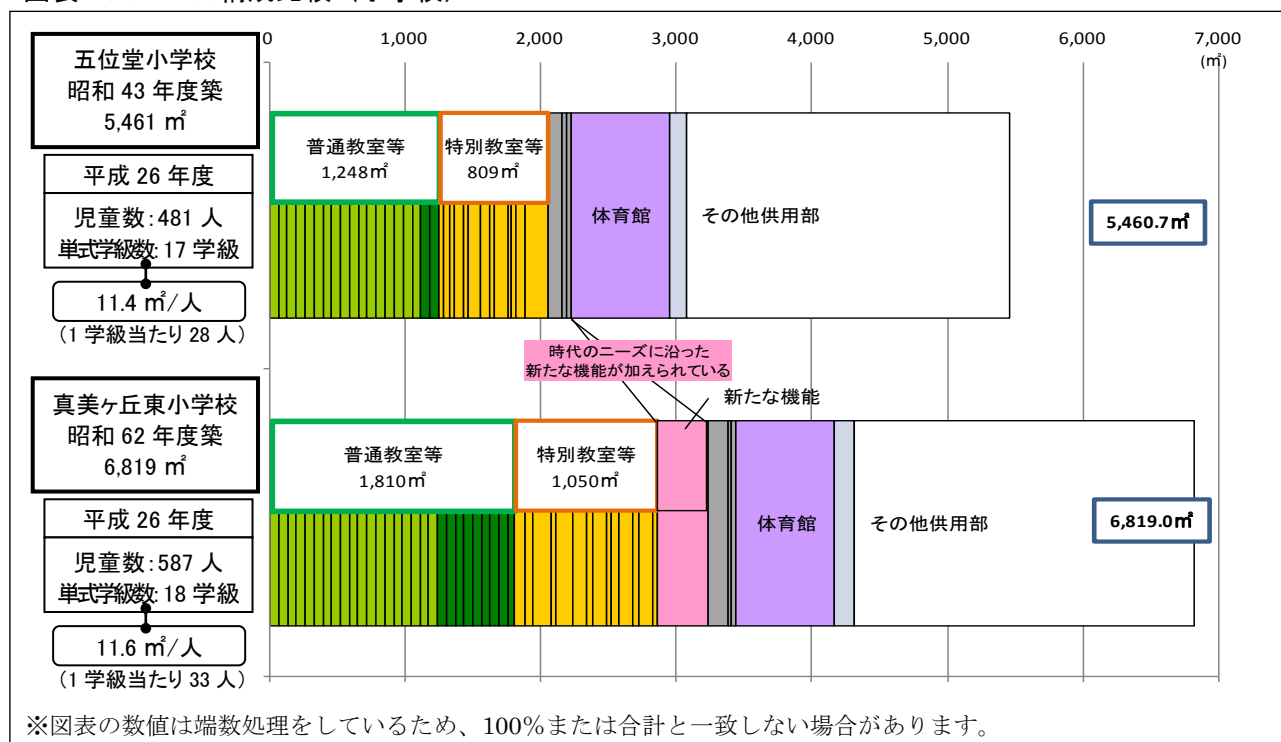


<スペース構成>

近年に建設した学校のスペース構成は、総合的な学習形態に対応するため、昭和30年代から50年代に整備された学校施設と比べると大きく変化しています。

昭和43年築の五位堂小学校と比べ、昭和62年築の真美ヶ丘東小学校では、普通教室の5倍以上の広さを持った多目的室など、これまでになかった新たな機能を追加していることが分かります。

図表 スペース構成比較（小学校）



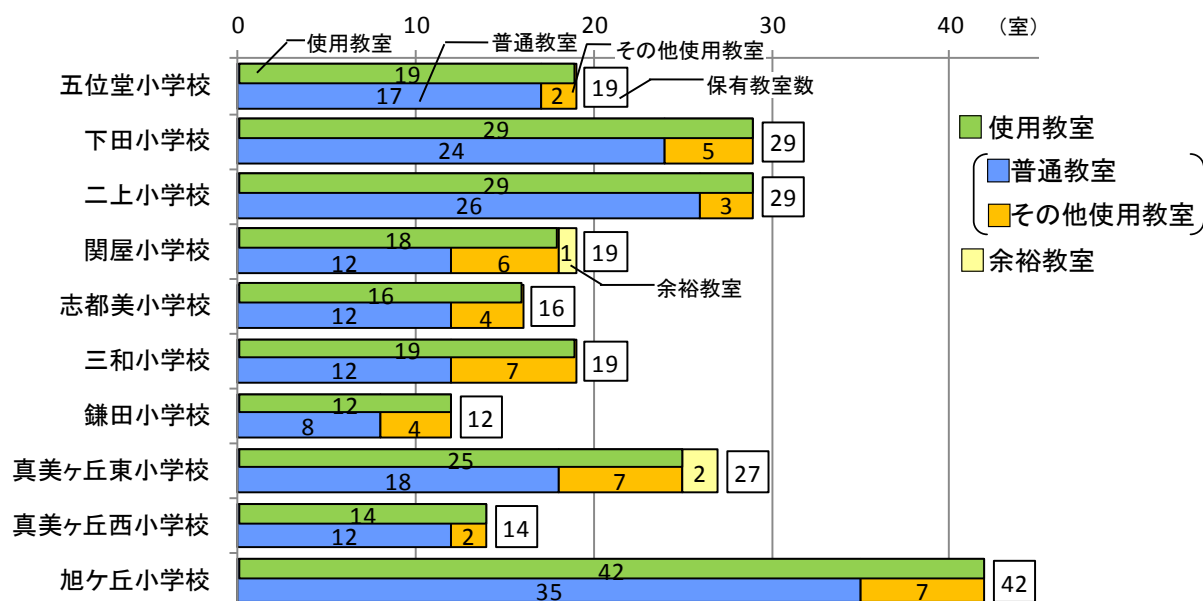
■ 教室の使用状況

＜小学校＞

小学校の教室の使用状況をみると、小学校全体では保有普通教室数は226室あり、そのうち使用教室数は223室、余裕教室は3室（約1%）となっています。使用教室の内訳をみると、176室（約78%）が普通教室、47室（約21%）が特別支援教室や少人数教室として使われています。

図表 小学校別余裕教室の活用状況

	保有普通 教室数	使用教室数				余裕教室数	
		普通教室	普通教室	その他使用教室	普通教室	その他使用教室	
五位堂小学校	19	19	17 (89%)	2 (11%)	0 (0%)	0 (0%)	
下田小学校	29	29	24 (83%)	5 (17%)	0 (0%)	0 (0%)	
二上小学校	29	29	26 (90%)	3 (10%)	0 (0%)	0 (0%)	
関屋小学校	19	18	12 (63%)	6 (32%)	1 (5%)	0 (0%)	
志都美小学校	16	16	12 (75%)	4 (25%)	0 (0%)	0 (0%)	
三和小学校	19	19	12 (63%)	7 (37%)	0 (0%)	0 (0%)	
鎌田小学校	12	12	8 (67%)	4 (33%)	0 (0%)	0 (0%)	
真美ヶ丘東小学校	27	25	18 (67%)	7 (26%)	2 (7%)	0 (0%)	
真美ヶ丘西小学校	14	14	12 (86%)	2 (14%)	0 (0%)	0 (0%)	
旭ヶ丘小学校	42	42	35 (83%)	7 (17%)	0 (0%)	0 (0%)	
小学校 計	226	223	176 (78%)	47 (21%)	3 (1%)	0 (0%)	



(その他使用教室)

特別支援教室、少人数教室、プレイルーム、民俗資料室、外国語教室、児童会室、教材室、更衣室、多目的室 等

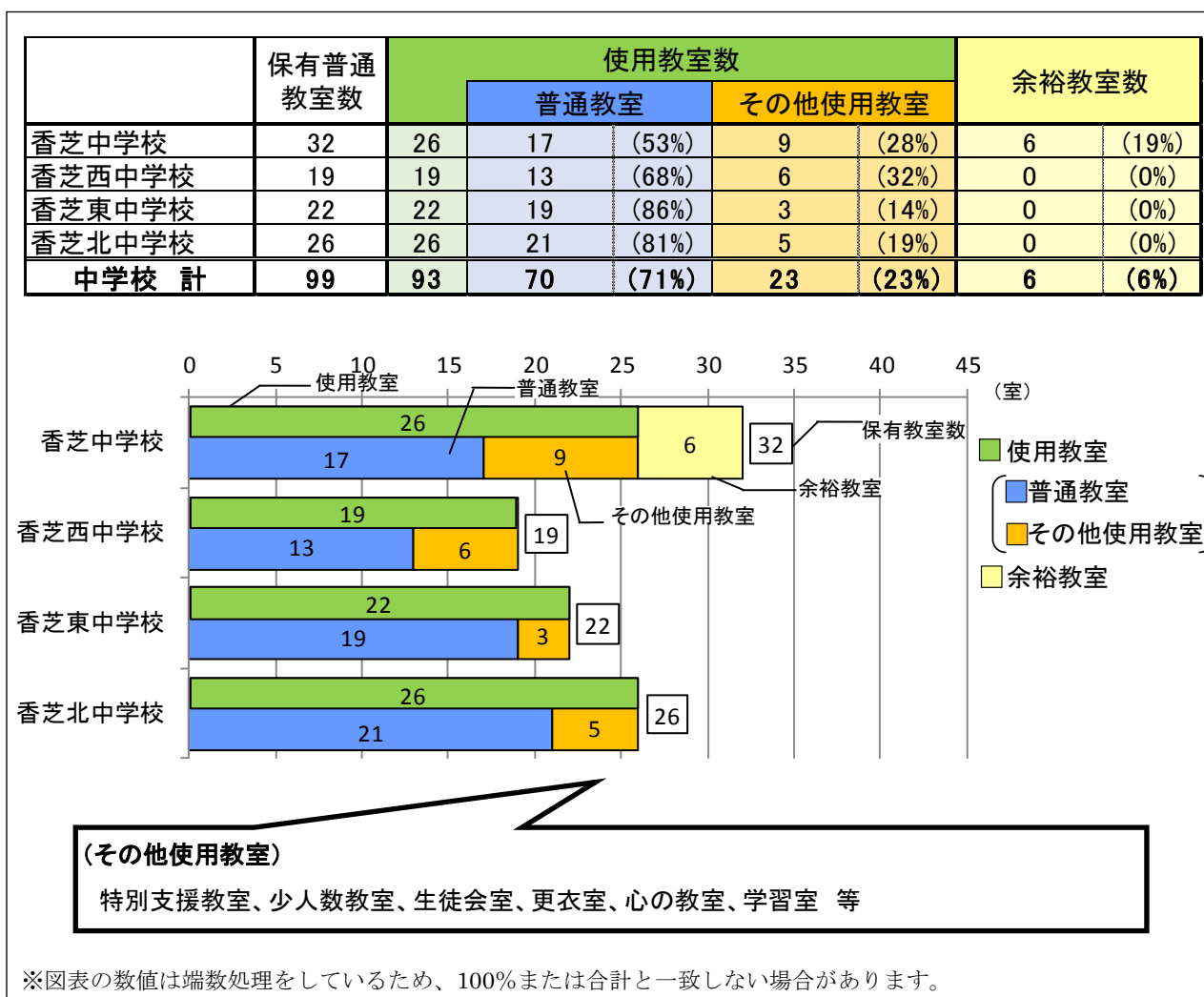
※図表の数値は端数処理をしているため、100%または合計と一致しない場合があります。

<中学校>

中学校の教室の使用状況をみると、中学校全体では保有普通教室数は99室あり、そのうち使用教室数は93室、余裕教室は6室（約6%）となっています。使用教室の内訳をみると、普通教室としての使用が70室（約71%）、その他の使用教室が23室（約23%）となっています。

香芝中学校では余裕教室が6室（約19%）あり、主に学習室として使われています。

図表 中学校別余裕教室の活用状況



③コスト状況

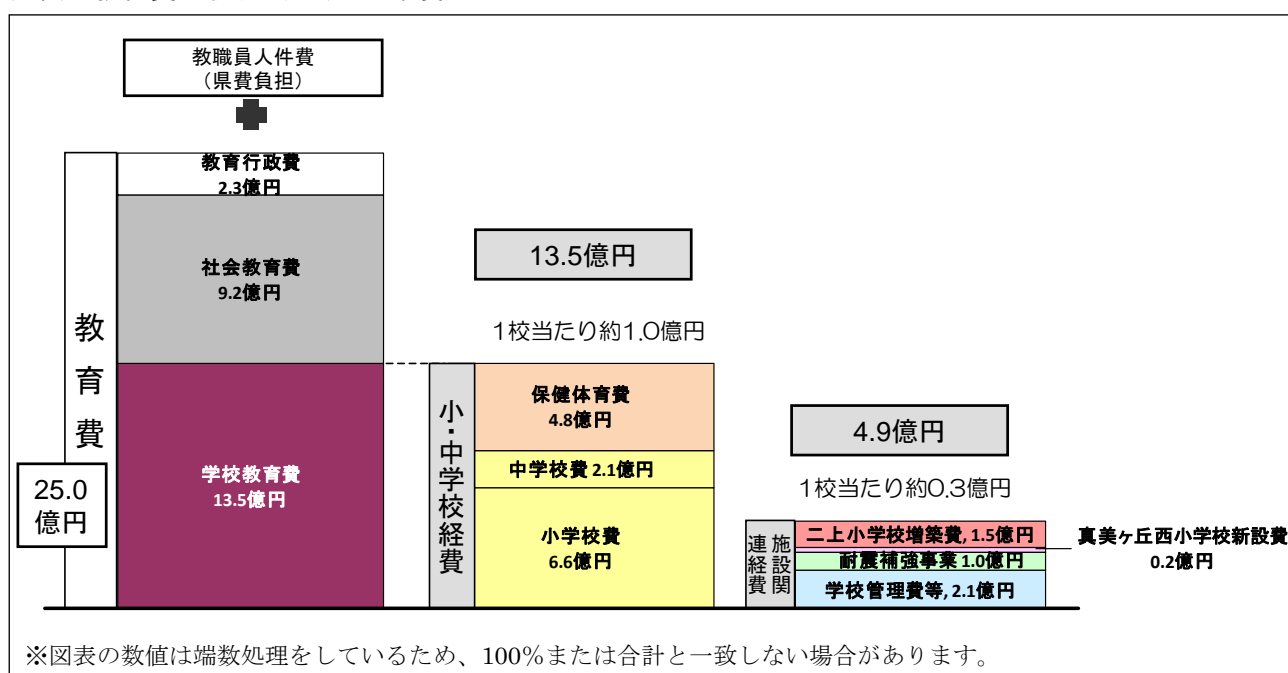
<教育費の状況（一般会計）>

平成25年度決算による教育費は、約25.0億円（一般会計歳出の約11%）です。内訳は、教育行政費約2.3億円、社会教育費9.2億円、学校教育費約13.5億円となっています。

小・中学校費のうち、光熱水費・修繕料・建物等管理委託料・学校建設費等の施設に関する「施設関連経費」は、約4.9億円（教育費の約36%）で、1校当たり約3千万円となっています。

施設関連経費としては、学校管理費（光熱水費・修繕料等）が約3.1億円、耐震補強事業費が約2.7億円、真美ヶ丘西小新設費0.2億円、二上小増築費1.5億円となっています。

図表 教育費の状況（平成25年度）



＜施設関連経費の状況＞

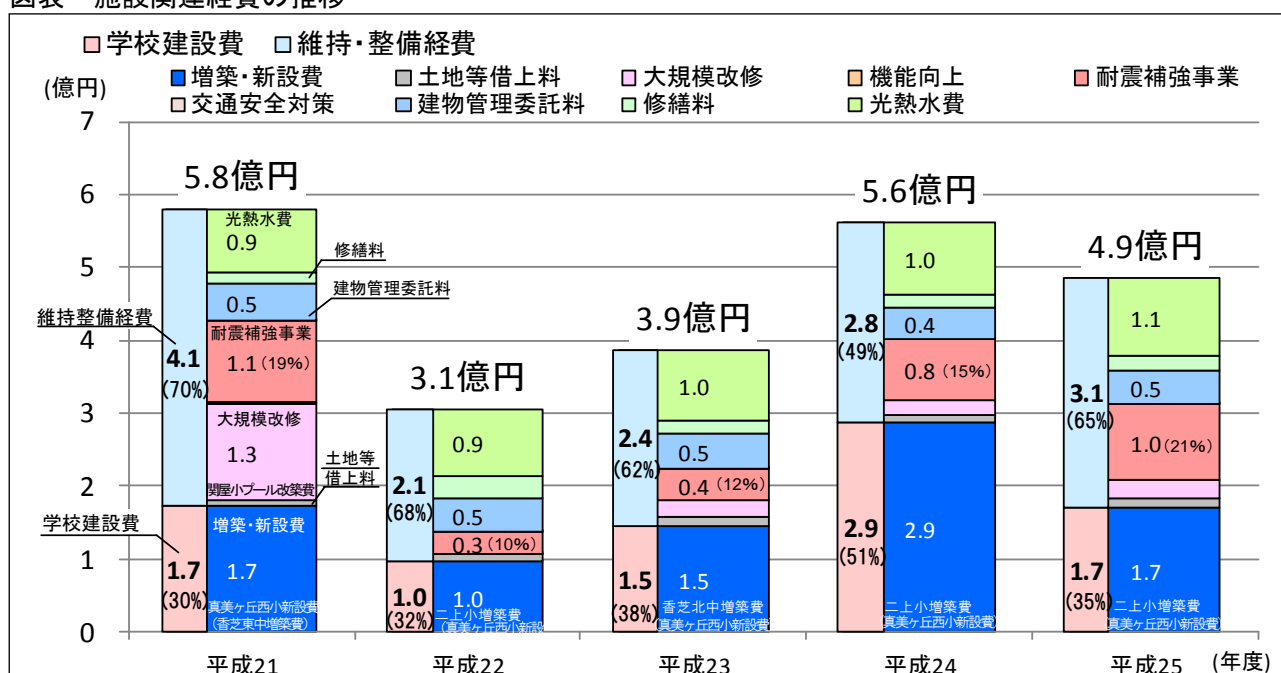
平成25年度の施設関連経費約4.9億円のうち学校建設費1.7億円は、二上小学校の増築費と、真美ヶ丘西小学校の新設費(公団立替施行による償還金及び利子)です。

平成21年度から平成25年度の推移をみると、施設にかかる経常的経費(光熱水費・修繕料・建物管理委託料等)は、毎年約1.5億円から約1.7億円とほぼ同程度で推移しています。

平成21年度から香芝市学校施設等耐震化推進計画(計画期間:平成21年度～平成27年度)が進められており、耐震補強工事が順次行われています。耐震補強事業にかかる金額は、平均して約15%程度を占めています。

校舎の増築・新設費は、平均して約37%程度を占めており、主に児童生徒増加に伴う校舎の増築費に使用されています。今後は児童生徒数が減少する見込みで、学校の新築や増築を行う可能性が低く、また、香芝市学校施設等耐震化推進計画によると、平成27年度には耐震化が完了する予定であるため、今後現状の経費を維持した場合には、これらの費用を老朽化した校舎の大規模改修や建替え等に充てる等の対応ができると考えられます。

図表 施設関連経費の推移



(円)

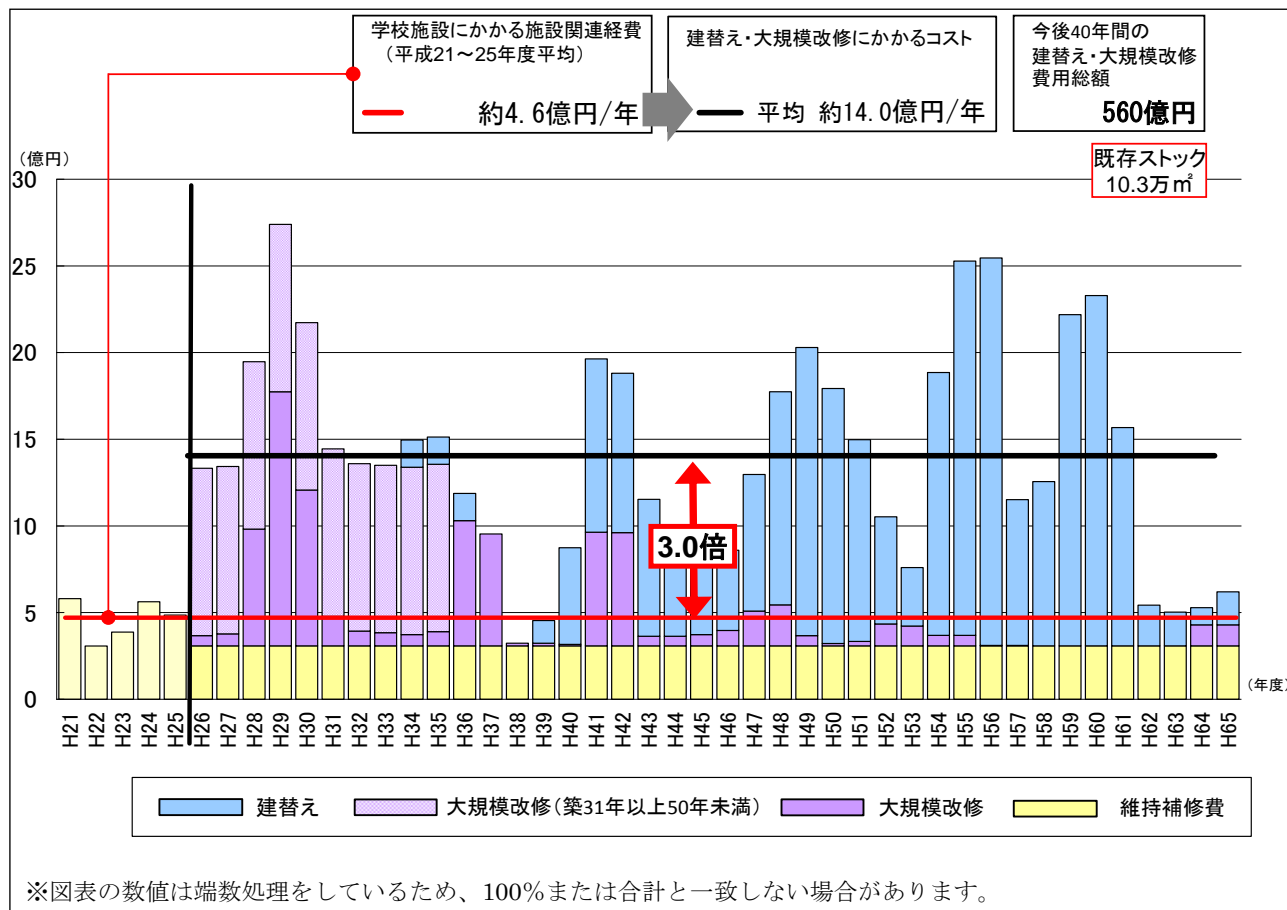
		平成21	平成22	平成23	平成24	平成25	
維持・整備経費	経常的経費	光熱水費	88,928,013	94,024,372	98,475,507	101,130,114	108,396,351
		修繕料	14,751,010	29,870,584	17,943,114	16,772,436	19,673,158
		建物管理委託料	50,684,891	46,273,971	46,641,223	43,267,963	46,811,785
		小計	154,363,914	170,168,927	163,059,844	161,170,513	174,881,294
	安全対策費	耐震補強事業	111,096,405	29,172,150	44,911,650	83,763,750	101,935,050
		交通安全対策	345,681	396,186	262,846	175,350	177,450
	機能向上	環境整備工事費、福祉環境整備に基づく改修工事費	2,590,350	0	0	0	0
	大規模改修	校舎大規模改造事業・校舎改修等	133,525,009	1,449,000	21,969,192	20,045,554	26,494,542
	校舎借上料		5,355,000	5,355,000	8,076,600	8,076,600	7,927,601
	用地借上料		1,270,200	3,235,200	3,850,200	3,876,000	3,876,000
学校建設費	校舎増築・新設費	173,103,770	98,080,865	146,214,970	286,714,057	171,657,310	
合計		581,650,329	307,857,328	388,345,302	563,821,824	486,949,247	

※図表の数値は端数処理をしているため、100%または合計と一致しない場合があります。

< 今後 40 年間にかかるコスト試算 (シミュレーション) >

今後 40 年間にかかるコストを試算すると、年平均約 14.0 億円のコストが必要になります。これは、平成 25 年度の施設関連経費約 4.6 億円と比べると、毎年度約 9.4 億円不足します。

図表 今後かかるコスト試算



<< 試算条件 >>

a) 前提

- 現状の施設規模・施設内容を維持することを前提としてコスト試算を行う。
- 施設の統廃合による施設数の増減、および増減築による建物面積の増減については考慮していない。

b) 条件

- 建築物の耐用年数は 60 年と仮定する。大規模改修は、建設後 30 年で行い、その後 30 年で建替える と仮定する。
- 建替え及び大規模改修費用は、年度ごとのばらつきを軽減させるために、
建替え : 3 年間
大規模改修 : 2 年間 に振り分けて計上する。
- 平成 25 年度以前に大規模改修の時期を迎えている施設のうち、築 31 年以上 50 年経過した施設については、最初の 10 年間 (平成 26 年度から平成 35 年度) で均等に大規模改修を実施する。

c) 単価

	建替え	大規模改修	維持補修費
学校教育系	33 万円/㎡	17 万円/㎡	3,000 円/㎡

④現状及び課題

- 小・中学校は 14 校中 10 校が築 30 年以上経過しており、そのうち 6 校が築 40 年以上経過している。
- 児童生徒数の推計をみると、今後急激な減少に転じ、平成 41 年度には平成 26 年度現在から約 19%減少となる。
- 学校別に児童生徒数、学級数の推移をみると、既に減少している学校、増加を続ける学校等大きく状況が異なる。特に比較的近年開設された旭ヶ丘小学校、香芝北中学校では、平成 41 年度までにピーク時から半分近く児童生徒数が減少する大きな変化がみられる。人口増加に合わせて増えてきた学校が今後供給過多となる見込み。
- 耐震化は平成 27 年度に完了する予定。
- 今後児童生徒数の減少に伴い、増加すると思われる余裕教室をどう扱っていくか検討が必要。
- 学校施設に今後 40 年間でかかるコストを試算すると、年平均約 14.0 億円であり、これは平成 21 年度から平成 25 年度の施設にかかる経費の約 3 倍となっている。

(7) 駐車場

①施設概要

香芝市では、自動車駐車場が2施設、自転車の駐車場が7施設、計9施設の駐車場を保有しています。

近鉄五位堂駅北自動車駐車場とJR志都美駅西自動車駐車場は市の直営、その他は指定管理者により運営されています。

図表 施設一覧

小学校区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)	備考
真美ヶ丘東	1 近鉄五位堂駅北自動車駐車場	瓦口2159、2160	-	-	-	
真美ヶ丘東	2 近鉄五位堂駅北自動車駐車場	瓦口2169	-	-	-	
真美ヶ丘東	3 近鉄五位堂駅北自転車駐車場(第1)	瓦口2140	2,375.3	平成3	S	
真美ヶ丘東	4 近鉄五位堂駅北自転車駐車場(第2)	瓦口2127	392.0	平成5	S	
下田	5 JR香芝駅自転車駐車場(第1)	下田西一丁目1番3号	1,454.0	平成16	S	
下田	6 JR香芝駅自転車駐車場(第2)	下田西一丁目293番地4	116.4	平成16	S	
下田	7 近鉄下田駅地下自転車駐車場	下田西四丁目186番地1	1,966.2	平成9	RC	
関屋	8 近鉄関屋駅自転車駐車場	関屋1581番地1	628.7	平成12	S	
志都美	9 JR志都美駅西自転車駐車場	上中160-3、161-2	305.52	平成22	S	
合計			7,238.13			

※昭和59：建築年度の赤字は築30年以上を示す

②コスト状況

駐車場の年間総コストは、7,884万円です。1施設当たり平均1,314万円です。

年間総コストのうち、維持管理費は321万円(4%)、事業運営費は852万円(11%)、指定管理料が4,660万円(59%)、減価償却費が2,050万円となっています。

図表 施設別 駐車場施設経費計算書 (平成24年度)

I. 現金収支を伴うもの

【コストの部】

(円)

		近鉄五位堂駅北自動車駐車場	近鉄五位堂駅北自転車駐車場(第1・第2)	JR香芝駅自転車駐車場(第1・第2)	近鉄下田駅地下自転車駐車場	近鉄関屋駅自転車駐車場	JR志都美駅西自転車駐車場	合計
維持管理費	燃料費・光熱水費	203,719	0	0	0	0	348,500	552,219
	修繕料・役務費	156,240	27,300	0	377,475	175,350	0	736,365
	建物管理委託料	0	0	0	0	0	0	0
	使用料・賃借料	591,987	0	8,300	0	279,900	882	881,069
	工事請負費	0	0	0	0	0	0	0
	備品購入費その他	765,000	207,900	69,300	0	0	0	1,042,200
	維持管理費計	1,716,946	235,200	77,600	377,475	455,250	349,382	3,211,853
事業費	人件費	6,501,600	0	0	0	0	1,330,799	7,832,399
	その他事業運営費	476,788	5,663	3,213	4,023	1,286	199,472	690,445
	事業運営費計	6,978,388	5,663	3,213	4,023	1,286	1,530,271	8,522,844
指定管理料	0	18,601,416	10,556,017	13,216,531	4,226,036	0	46,600,000	
現金収支を伴うコスト計	8,695,334	18,842,279	10,636,830	13,598,029	4,682,572	1,879,653	58,334,697	

【収益の部】

収入	使用料	10,098,500	44,994,250	11,865,400	9,474,150	3,115,800	355,800	79,903,900
	その他	0	0	0	0	0	3,000	3,000
収益計		10,098,500	44,994,250	11,865,400	9,474,150	3,115,800	358,800	79,906,900

II. 現金収支を伴わないもの

【コストの部】

コスト減価償却費	0	6,361,994	3,783,147	7,915,661	1,666,055	773,996	20,500,853
----------	---	-----------	-----------	-----------	-----------	---------	------------

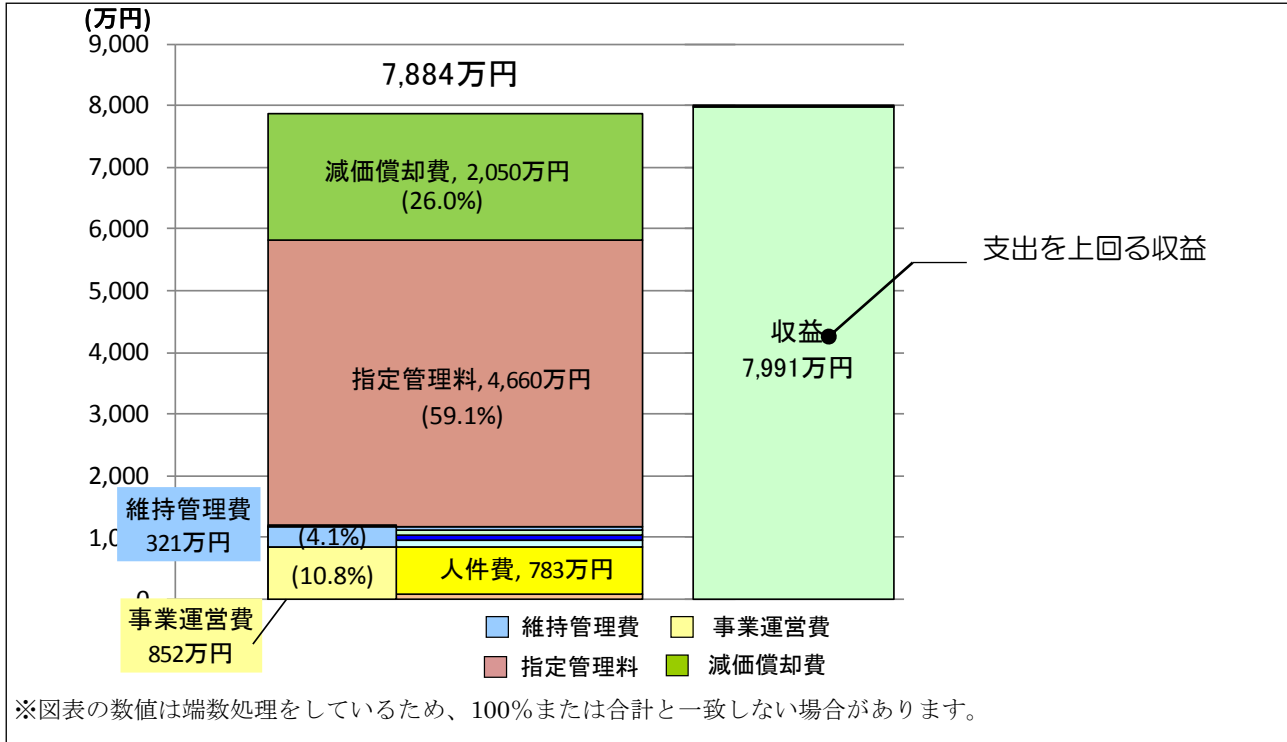
III. 総括

コストの部合計(総コスト)	8,695,334	25,204,273	14,419,977	21,513,690	6,348,627	2,653,649	78,835,550
収支差額	(1,403,166)	(19,789,977)	2,554,577	12,039,540	3,232,827	2,294,849	(1,071,350)

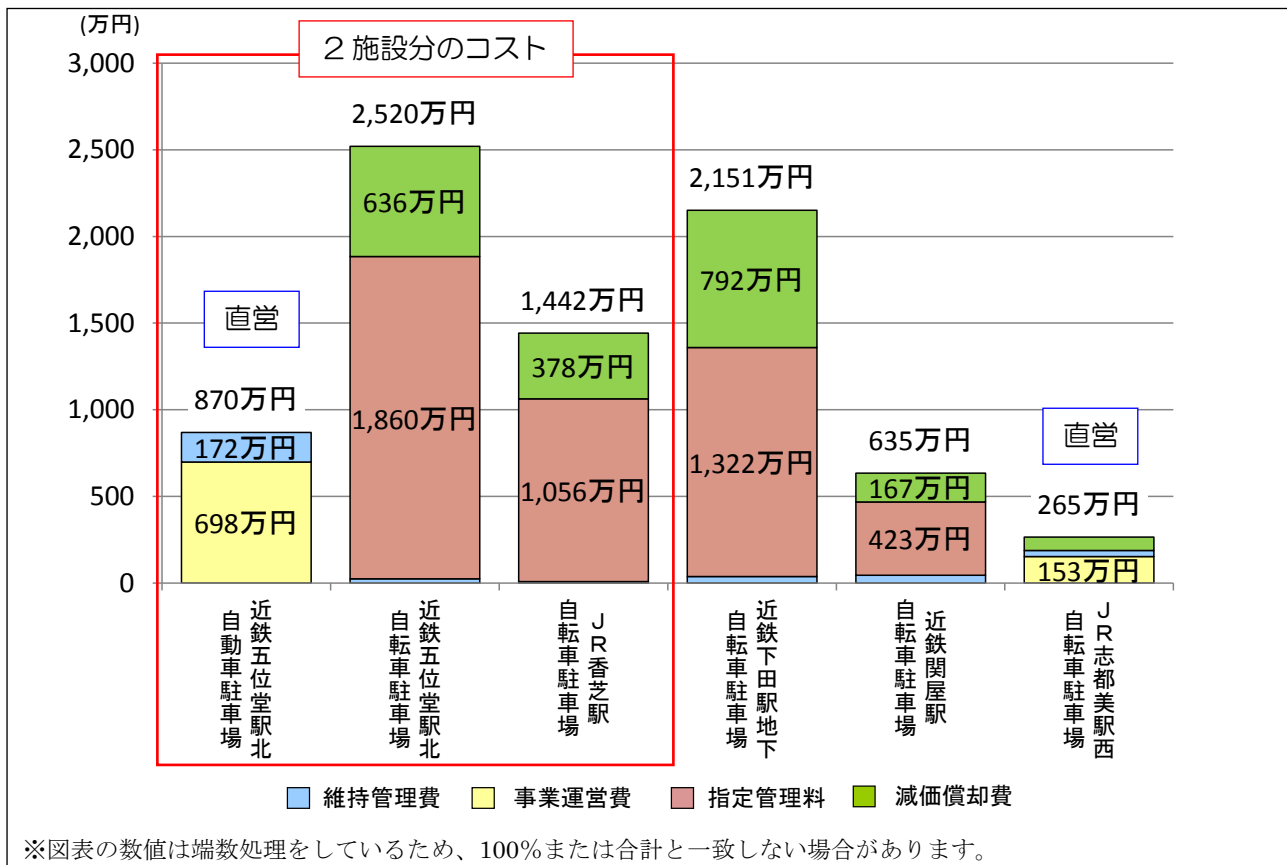
※近鉄五位堂駅北自動車駐車場は平成25年度データ。

駐車場の全施設総コストのうち、指定管理料が4,660万円で全体の約59%を占めています。
施設別総コストは、志都美駅西自転車駐車場の265万円から、近鉄下田駅地下自転車駐車場の2,151万円となっています。

図表 全施設総コスト（平成24年度）



図表 施設別総コスト（平成24年度）



(8) 旧公民館(シルバー人材センター)

①施設概要

香芝市では、旧公民館を利用して、シルバー人材センターが設置されています。
 シルバー人材センターは公益社団法人により運営されています。

図表 施設一覧

小学校区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる建 物)	備考
下田	1 旧公民館(シルバー人材センター)	下田西二丁目1番22号	431.3	昭和37	RC	

※昭和 59：建築年度の赤字は築 30 年以上を示す

②コスト状況

旧公民館(シルバー人材センター)の年間総コストは、196 万円です。

年間総コストのうち、維持管理費が 196 万円(100%)となっています。当該施設から年間 131 万円の収益があります。

図表 施設経費計算書 (平成 24 年度)

I. 現金収支を伴うもの

【コストの部】		(円)
	旧公民館(シルバー人材センター)	
維持管理費	燃料費・光熱水費	0
	修繕料・役務費	0
	建物管理委託料	0
	使用料・賃借料	1,962,461
	工事請負費	0
	備品購入費その他	0
	維持管理費計	1,962,461
事業費	人件費	0
	その他事業運営費	0
	事業運営費計	0
指定管理料	0	
現金収支を伴うコスト計		1,962,461

【収益の部】

収入	使用料	0
	その他	1,308,388
収益計		1,308,388

II. 現金収支を伴わないもの

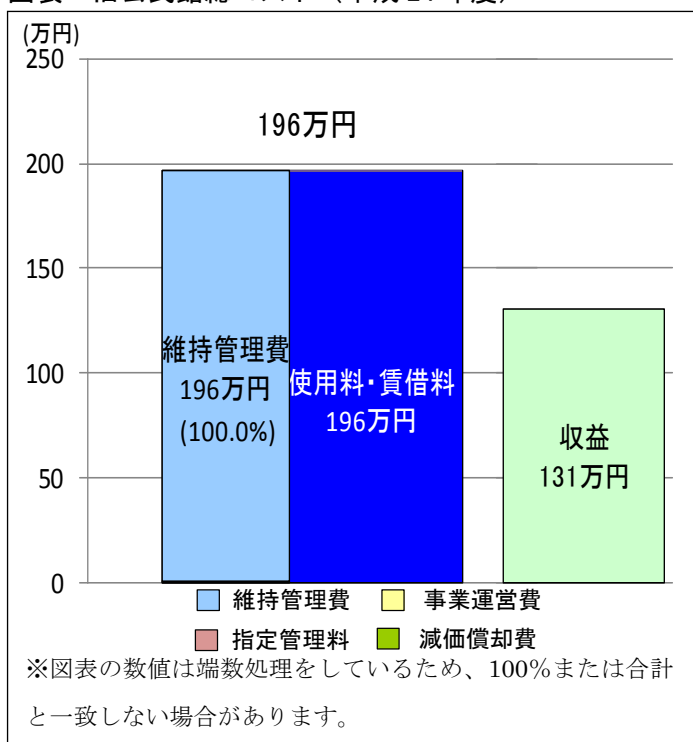
【コストの部】

コスト	減価償却費	0
-----	-------	---

III. 総括

コストの部合計(総コスト)	1,962,461
収支差額	654,073

図表 旧公民館総コスト (平成 24 年度)



③現状及び課題

- 現在旧公民館はシルバー人材センターが使用しているが、今後は青少年センターの敷地も含め、一体的な利用等の検討を行っていく必要がある。

(9) その他

図表 施設一覧

小学校区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる 建物)	備考
下田	1 庁舎	本町1397番地	8,662.14	昭和51	RC	耐震補強等改修工事 実施中 (平成26年9月29日～平成28年3月31日 まで)
下田	2 庁舎附属車庫	本町1397番地	144.0	平成13	S	
下田	3 現業員詰所	本町1397番地	78.7	昭和58	S	
下田	4 下田倉庫・物置	下田西二丁目2番23号	306.7	平成5	S	
下田	5 旧老人福祉センター	下田西一丁目10-39	946.5	昭和51	W	
下田	6 火葬場	下田東五丁目690番地	549.8	平成16	SRC	
三和	7 し尿中継基地	良福寺575番地1	72.6	昭和63	RC	
真美ヶ丘東	8 市営住宅	真美ヶ丘三丁目2番43号	2,167.2	平成17	RC	
真美ヶ丘西	9 収集センター	五ヶ所507番地	918.9	昭和58	RC	
旭ヶ丘	10 ストックヤード	旭ヶ丘一丁目1-1	275.8	平成11	S	
下田	11 消防団第1分団機庫	下田西一丁目1番23号	85.0	平成6	S	
志都美	12 消防団第2分団機庫	上中312番地1外	81.0	平成3	S	
二上	13 消防団第3分団機庫	畑四丁目571番1	90.5	平成7	S	
五位堂	14 消防団第4分団機庫	五位堂五丁目151番地1	68.2	平成6	S	
関屋	15 消防団第5分団機庫	関屋1302番地	78.0	平成6	S	
下田	16 災害備蓄倉庫・物置	本町1397番地	104.7	平成10	S	
下田	17 香芝市地域活動支援センターすみれの里	逢坂一丁目509番地の1	573.6	平成12	S	
五位堂	18 五位堂駅前第二土地区画整理事務所	狐井410	268.6	平成13	S	
五位堂	19 五位堂駅前第二土地区画整理事業施行地区内8街区1号公園	下田東三丁目(五位堂駅前第二土地区画整理事業施行地区内8街区1号公園)	37.9	平成17	RC	
五位堂	20 JR五位堂駅トイレ	五位堂五丁目50-1	6.8	平成18	S	
下田	21 今池親水公園	下田西三丁目238-1	234.0	平成12	W	
真美ヶ丘東	22 観正山近隣公園	真美ヶ丘三丁目4番	24.0	昭和60	RC	
鎌田	23 新池親水公園	鎌田515番1	19.0	平成17	S	
二上	24 郡ヶ池近隣公園	高山台三丁目14番12	40.0	平成4	RC	
旭ヶ丘	25 旭ヶ丘近隣公園	旭ヶ丘二丁目5番	34.0	平成4	S	
関屋	26 災害備蓄倉庫・物置(関屋学童保育所)	関屋北五丁目1-35	91.2	昭和60	S	
下田	27 香芝市陶芸教室	下田西二丁目9-17	90.3	平成6	S	
真美ヶ丘西	28 埋蔵文化財調査棟	真美ヶ丘五丁目4番	110.9	平成16	S	
志都美	29 JR志都美駅トイレ	上中146番	33.7	平成22	RC	
志都美	30 JR志都美駅エレベータ	上中146番	48.0	平成22	S	
下田	31 近鉄下田駅トイレ	下田西四丁目181番地5	14.20	平成23	S	
関屋	32 屯鶴峯トイレ	穴虫2646番地2	19.90	平成23	W	
合計			7,613.65			

※昭和 59：建築年度の赤字は築 30 年以上を示す